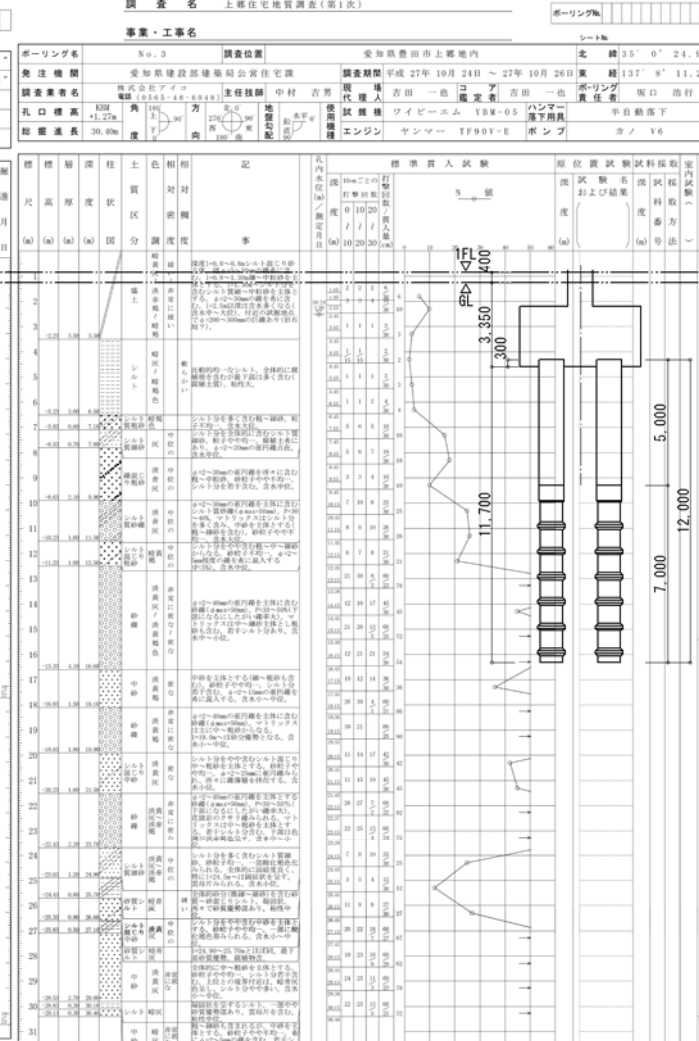
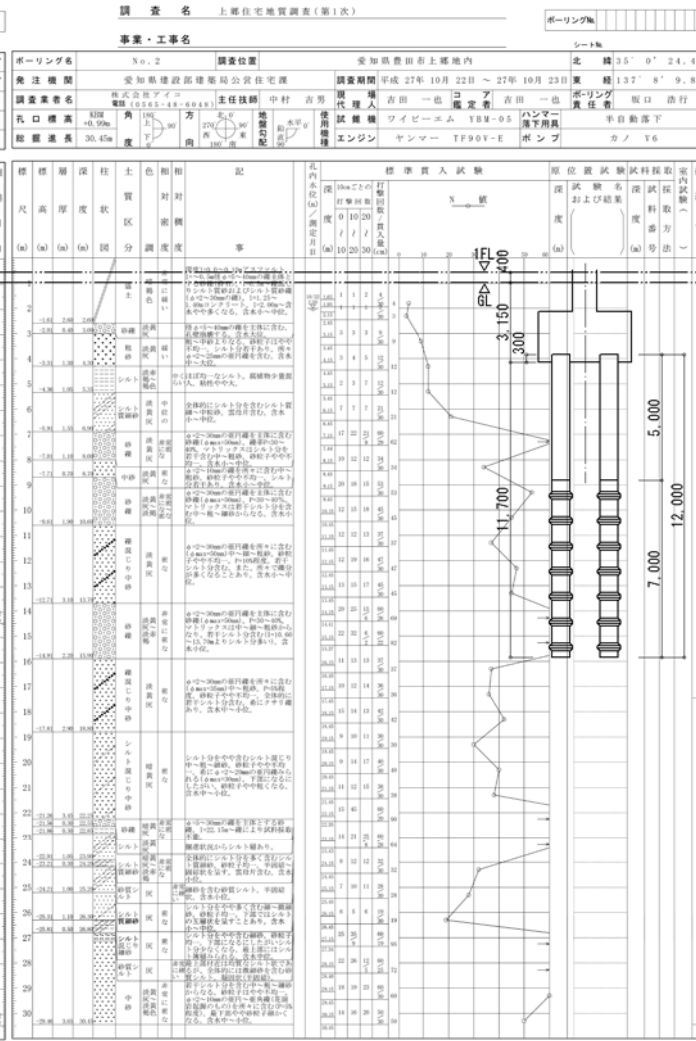
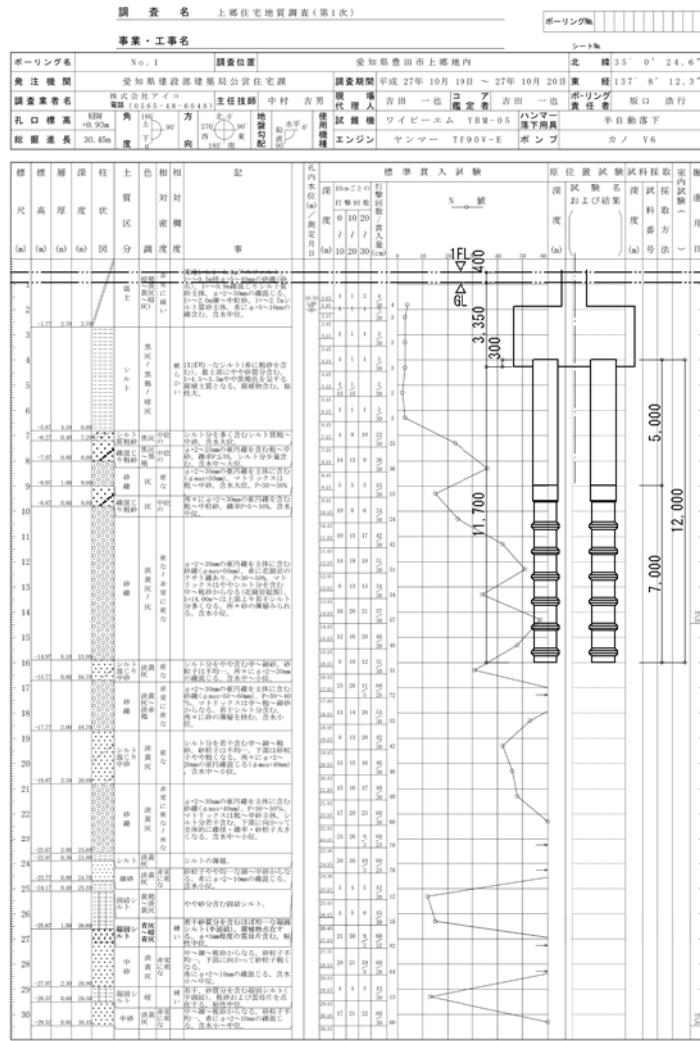


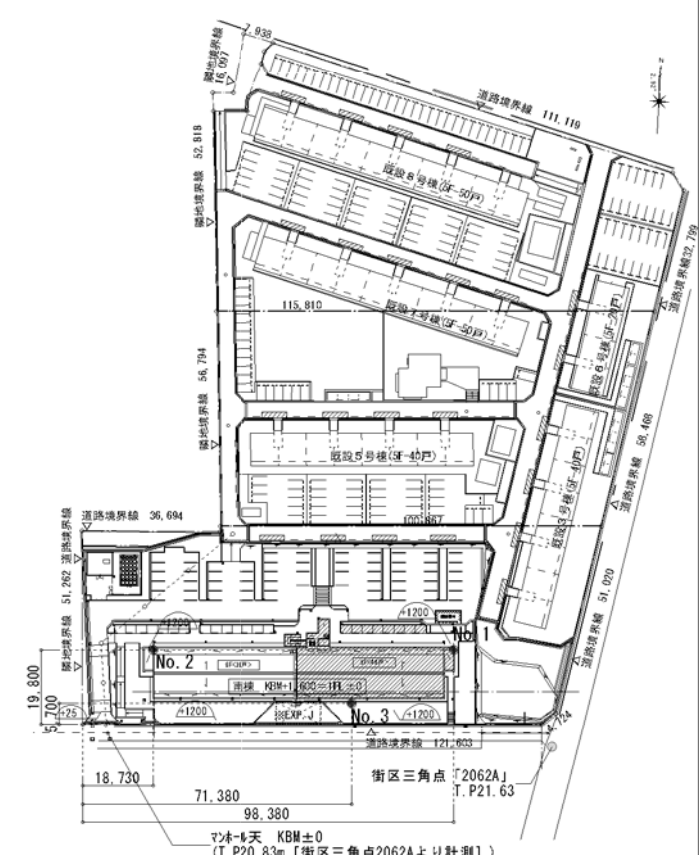
ボーリング柱状図

ボーリング柱状図

ボーリング柱状図



ボーリング柱状図 S=A1 : 1/150・A3 : 1/300



<註記>

1. KBM±0=T. P20.83
 2. GL=KBM+1200=1FL-400
 3. 各ボーリング柱状図削孔部既設地表面地盤高さ削孔長は下記のとおり
- No. 1
地盤高さ=T. P21.76m=KBM+0.93m
削孔長=30.45m
- No. 2
地盤高さ=T. P21.82m=KBM+0.99m
削孔長=30.45m
- No. 3
地盤高さ=T. P22.10m=KBM+1.27m
削孔長=30.40m

<凡例>

1. [影線] は、今回工事建物を示す。
2. [内数値] は、建物周囲計画地盤高さを示す。

一級建築士事務所 匠建設、愛知県知事登録 (い-24) 第11595号
一級建築士 92463号、構造設計一級建築士 7713号、伊藤 一人

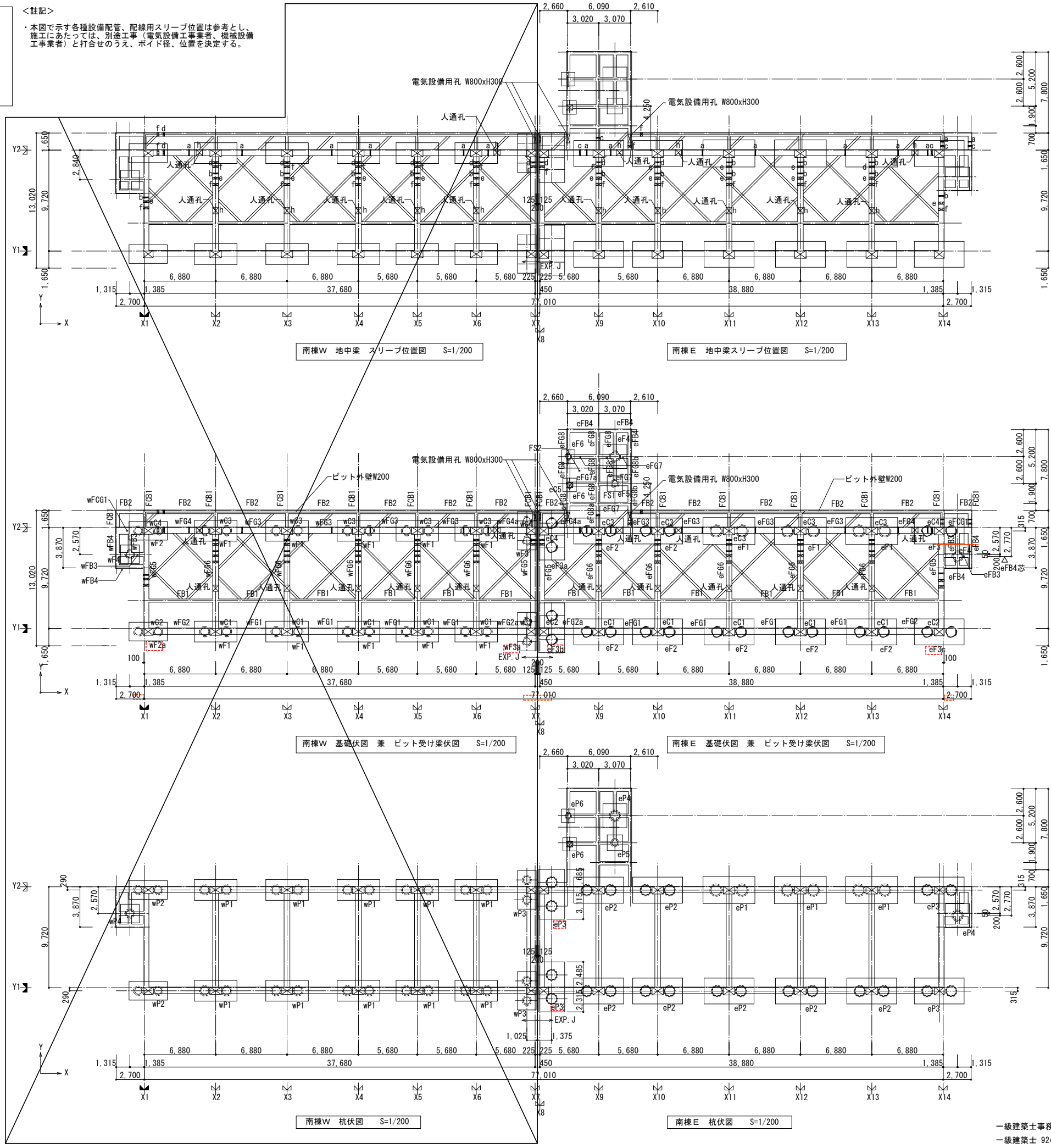
一級建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一級建築士事務所登録 愛知県 141627	上郷住宅建築工事 (第1工区)	図面番号 No. S-01
一級建築士登録番号307737号 安楽 広品	ボーリング柱状図、位置図	縮尺 A1 : 1/1000, 1/150 A3 : 1/2000, 1/300
検査 製図 設計 H28年3月	愛知県建設部建築局公営住宅課	



ボイド内径一覧
(単位: mm)

a : 75
b : 100
c : 125
d : 150
e : 175
f : 200
g : 250
h : 600

< 注記 >
・本図で示す各種設備配管、配線用スリーブ位置は参考とし、
施工にあたっては、別途工事(電気設備工事業者、機械設備
工事業者)と打合せのうえ、ボイド径、位置を決定する。



使用構造材料				
○ コンクリート				
使用箇所	種類	設計基準強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	備考
柱、梁、壁、床	6階柱~R階床・梁	普通	Fc = 27	18
	3階柱~6階床・梁	普通	Fc = 30	18
	1階柱~3階床・梁	普通	Fc = 33	18
	基礎、基礎梁、地階	普通	Fc = 33	18
土間コンクリート	普通	Fc = 18	15	
捨てコンクリート	普通	Fc = 18	15	
押えコンクリート	普通	Fc = 18	15	

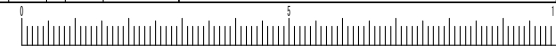
* コンクリートは、JIS 認定工場で製造されたレディーミクストコンクリートとする。
* セメントは、JIS R5210 の普通ポルトランドセメントを標準とする。
* 水セメント比は、50%以下とする。(住宅性能基準:等級3)
* 呼び強度は、設計基準強度 (Fc) + ΔF + 温度補正 (T) とする。(場所打ち杭コンクリートは温度補正値を除く。)
ΔF : 構造物コンクリートの強度と供試体の強度の差を考慮した割増し (3 N/mm²)
* 単位水量の最大値は、185 Kg/m³ とする。
* コンクリート中の空気量は、4.5%とする。(ただし減水剤を使用しない場合は空気量4~6%)
* 単位セメント量の最小値は、270 Kg/m³ (Fc=27N 以上 36N 以下は、290~450 Kg/m³)
* 最小かぶり厚さは、住宅性能表示基準の等級3「3-1(3)h①b(i)表(ろ)(イ)」とする。
* 試験杭実施か所、本数は、監督員協議のうえ決定とする。

○ 鉄筋			
種類	材料	径	備考
異形鉄筋	SD295A	D10~D16	
	SD345	D19~D25	
	SD390	D29~D32	
高強度せん断補強筋 (大臣認定品)	ウルボン SBDP1275/1420 リバーボン 1275 相当		柱:溶接スターラップ (大臣認定番号 MSR8-9009)

* 鉄筋は、JIS G3112 の規格品を標準とする。
* 継手は、D16 以下をすべて重ね継手とする。D19 以上はガス圧接または機械式継手とする。

- 注) 特記事項 (記入なき限り下記とする)
- Z1=Z0+400とする。
 - 基礎梁天端は Z0+150とする。
 - は土間コンクリートを示す。(ピット部天端 Z0-950) (Y2通~+1650、廊下下部)
 - は土間コンクリートを示す。(ピット部天端 Z0-1050) (住戸下部)
 - は人通り (600φ) を示す。
 - は電気設備用貫通孔 (W800xH300) を示す。

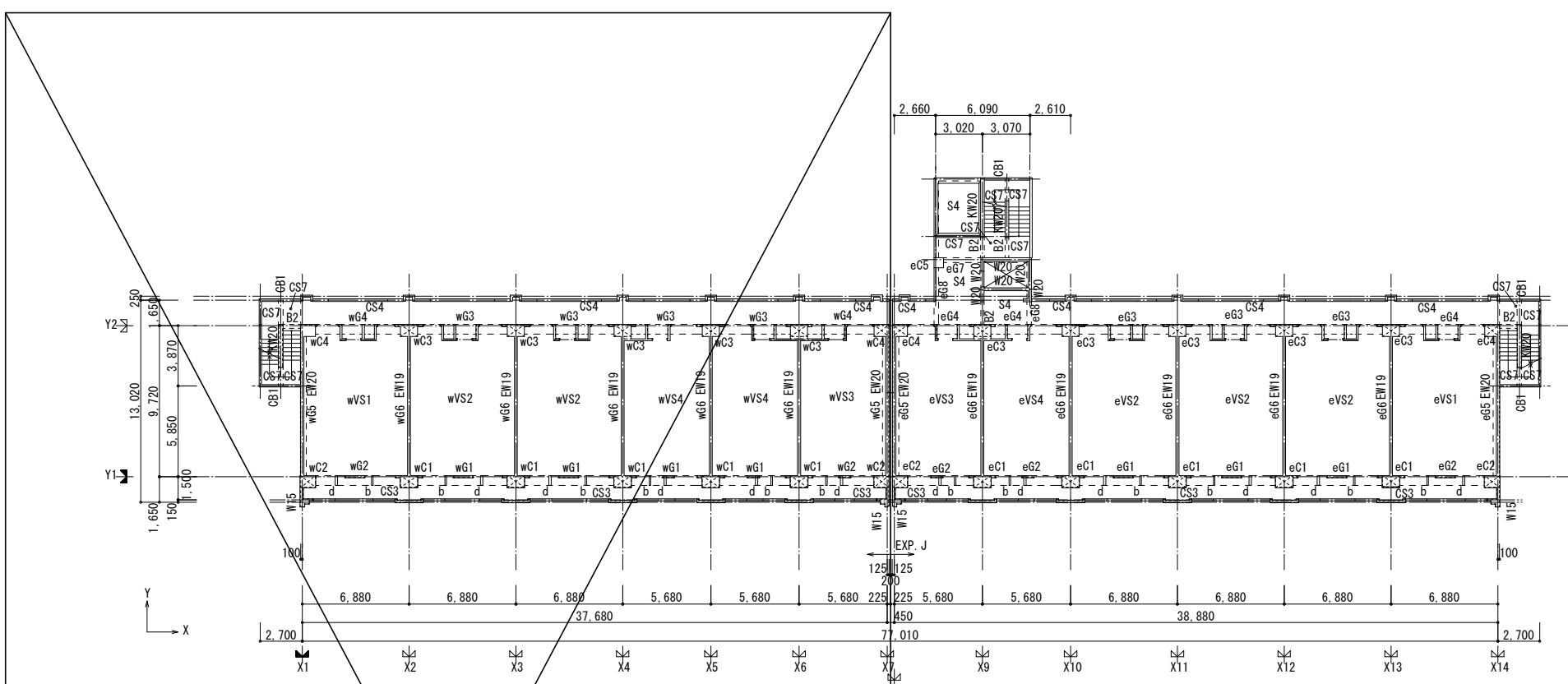
一級建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一級建築士事務所登録 愛知県 L11627 一級建築士登録 307737号 安東 広品	上郷住宅建築工事 (第1工区) 南棟W・E 伏図 (杭・基礎・スリーブ位置) 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	図面番号 No. S-02
一級建築士事務所 匠設計、愛知県事登録 (い-24) 第11595号 一級建築士 92468号、構造設計一級建築士 7713号、伊藤 一人	設計 H28年3月	愛知県建設部建築局公営住宅課



ポイド内径一覧
(単位: mm)

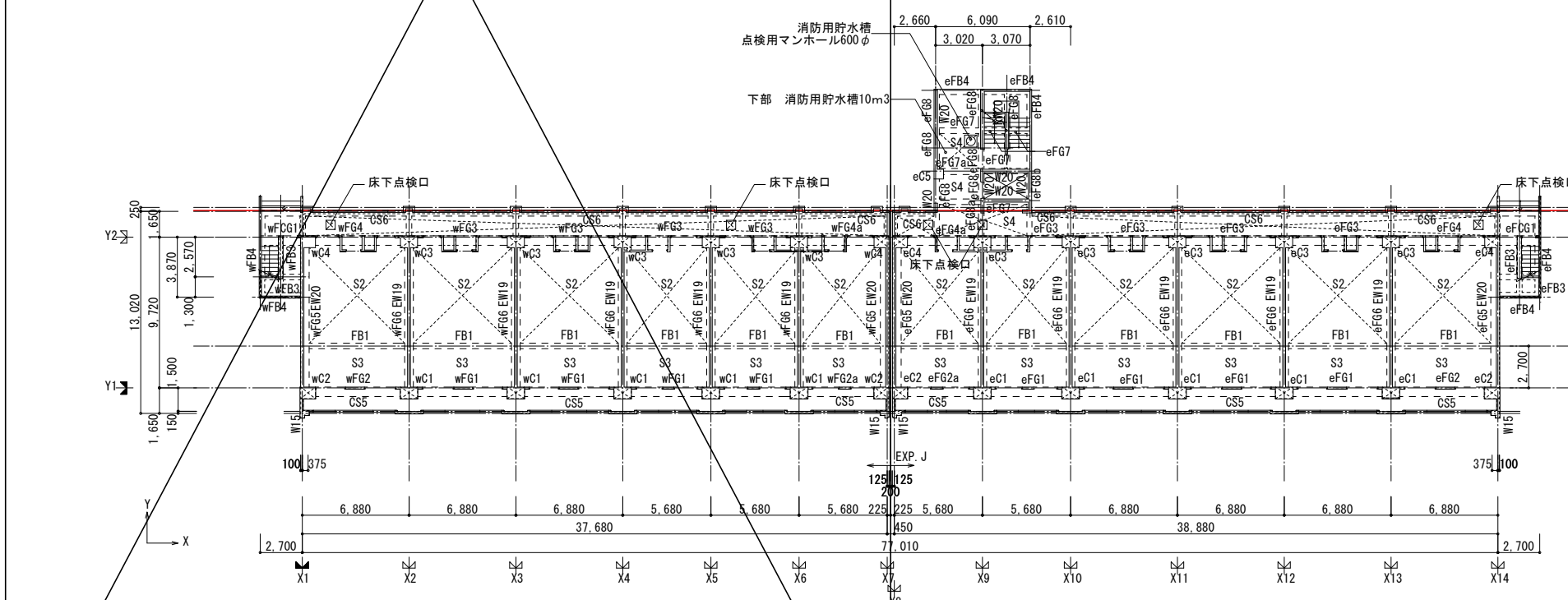
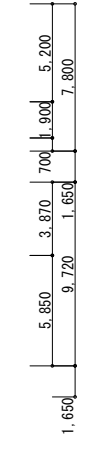
a	: 75
b	: 100
c	: 125
d	: 150
e	: 175
f	: 200
g	: 250
h	: 600

<註記>
・本図で示す各種設備配管、配線用スリーブ位置は参考とし、施工にあたっては、別途工事（電気設備工事業者、機械設備工事業者）と打合せのうえ、ポイド径、位置を決定する。



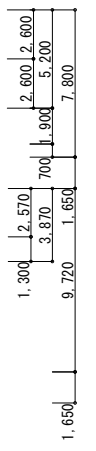
南棟W 2階柱壁梁床伏図 S=1/200

南棟E 2階柱壁梁床伏図 S=1/200



南棟W 1階柱壁梁床伏図 S=1/200

南棟E 1階柱壁梁床伏図 S=1/200

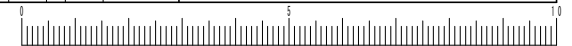


<註記>
・地中梁スリーブは、S-02号図による。

- <凡例>
- 下部ビット範囲を示す。
- 注) 特記事項 (記入なき限り下記とする)
- スラブ天端は Zn±0とする。
 - RFスラブ天端は意匠図による。
 - [] 内数値はスラブ天端レベル (Zn基準) を示す。
 - 斜線は、スラブ天端 Zn-100を示す。
 - ↑ はスラブの主筋方向を示す。
 - 梁天端は Zn±0とする。
wRG1~4, eRG1~4 梁天端レベルは Zn-200とする。
wRG5~6, eRG5~6 梁天端レベルは意匠図による。
 - () 内数値は梁天端レベル (Zn基準) を示す。
 - 壁は W12とする
 - 基準階階段室・EVホールのスラブ意匠図による。
 - はビット範囲を示す。
 - は床下点検口 (600x600) を示す。
 - は土間コンクリートを示す。(E1/スラブ、階段下部)
コンクリート t=120、鉄筋 タテ・ヨコ共 D10 = #200 シングル

一級建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一級建築士事務所登録 愛知県 L11627	上郷住宅建築工事 (第1工区)	図面番号
一級建築士登録 307737号 安東 広品	南棟W・E 伏図 (1階~2階)	No. S-03
検 図 製 図 設 計 H28年3月	縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	
愛知県建設部建築局公営住宅課		

一級建築士事務所 匠建設、愛知県知事登録 (L-24) 第11595号
一級建築士 92468号、構造設計一級建築士 7713号、伊藤 一人

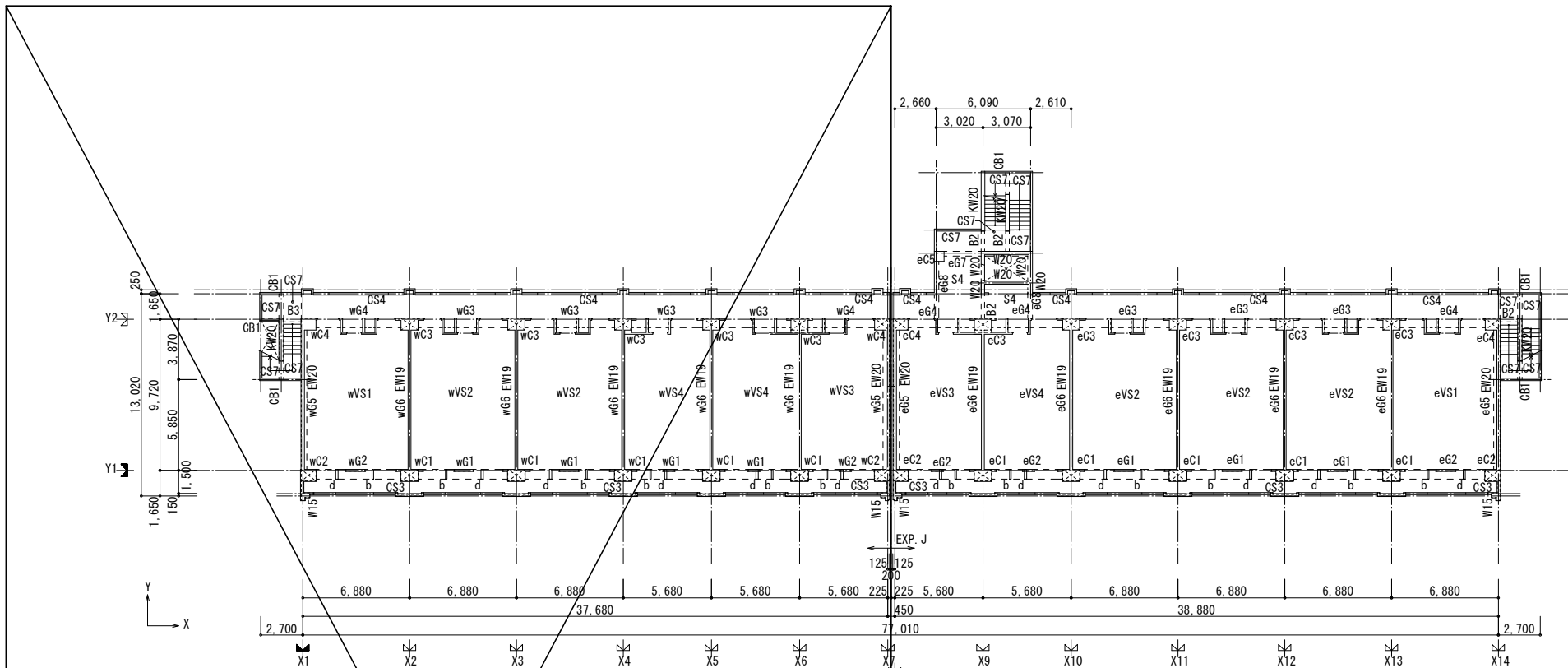


ポイド内径一覧
(単位: mm)

a	: 75
b	: 100
c	: 125
d	: 150
e	: 175
f	: 200
g	: 250
h	: 600

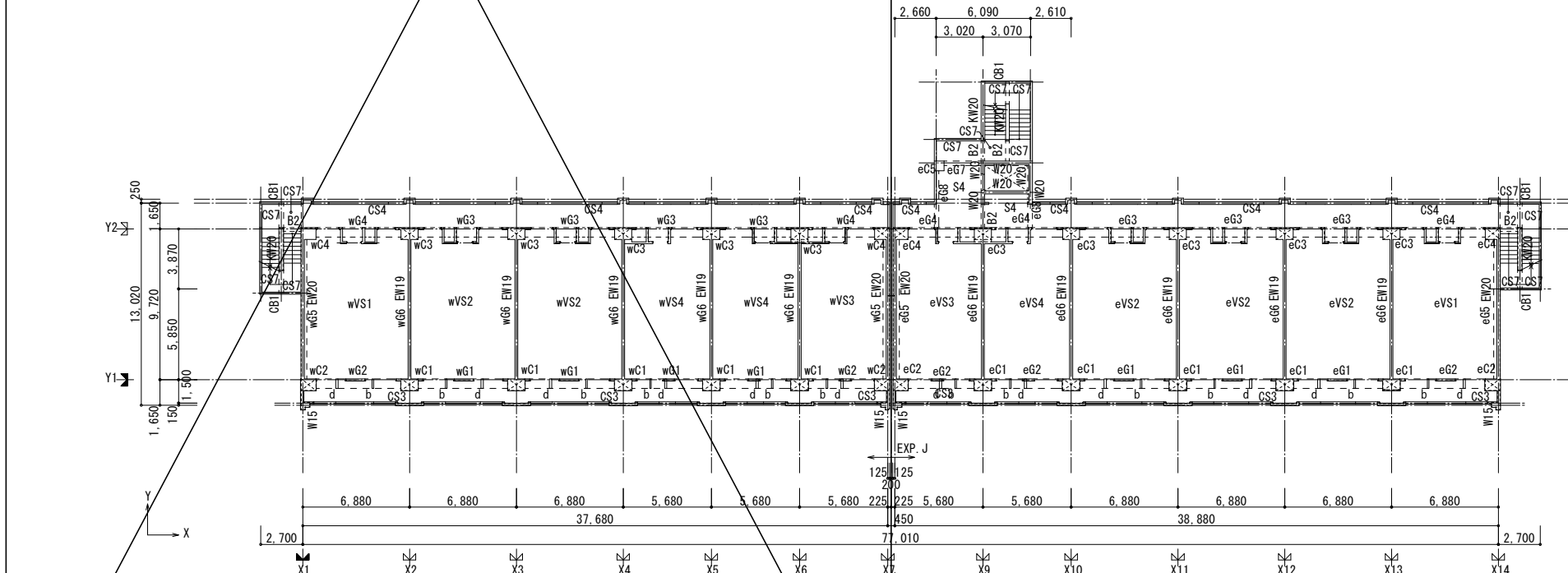
< 註記 >

・本図で示す各種設備配管、配線用スリーブ位置は参考とし、施工にあたっては、別途工事（電気設備工事業者、機械設備工事業者）と打合せのうえ、ポイド径、位置を決定する。



南棟W 6階柱壁梁床伏図 S=1/200


南棟E 6階柱壁梁床伏図 S=1/200



南棟W 3～5階柱壁梁床伏図 S=1/200

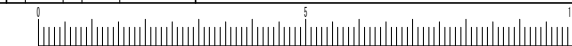
南棟E 3～5階柱壁梁床伏図 S=1/200

注) 特記事項 (記入なき限り下記とする)

1. スラブ天端は $Zn \pm 0$ とする。
2. RFスラブ天端は意匠図による。
3. [] 内数値はスラブ天端レベル (Zn 基準) を示す。
4.  は、スラブ天端 $Zn-100$ を示す。
5. ↑ はスラブの主筋方向を示す。
6. 梁天端は $Zn \pm 0$ とする。
wRG1~4, eRG1~4 梁天端レベルは $Zn-200$ とする。
wRG5~6, eRG5~6 梁天端レベルは意匠図による。
7. () 内数値は梁天端レベル (Zn 基準) を示す。
8. 壁は W12 とする
9. 基準階階段室・E Vホールのスラブレベルは意匠図による。

一級建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一級建築士事務所登録 愛知県 L11627	上郷住宅建築工事 (第1工区) 南棟W・E 伏図 (3階~6階)	図面番号 No. S-04
一級建築士登録 307737号 安東 広品	縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	
一級建築士事務所 匠設計、愛知県知事登録 (イ-24) 第11595号 一級建築士 92468号、構造設計一級建築士 7713号、伊藤 一人	製図 設計 H28年3月	愛知県建設部建築局公営住宅課

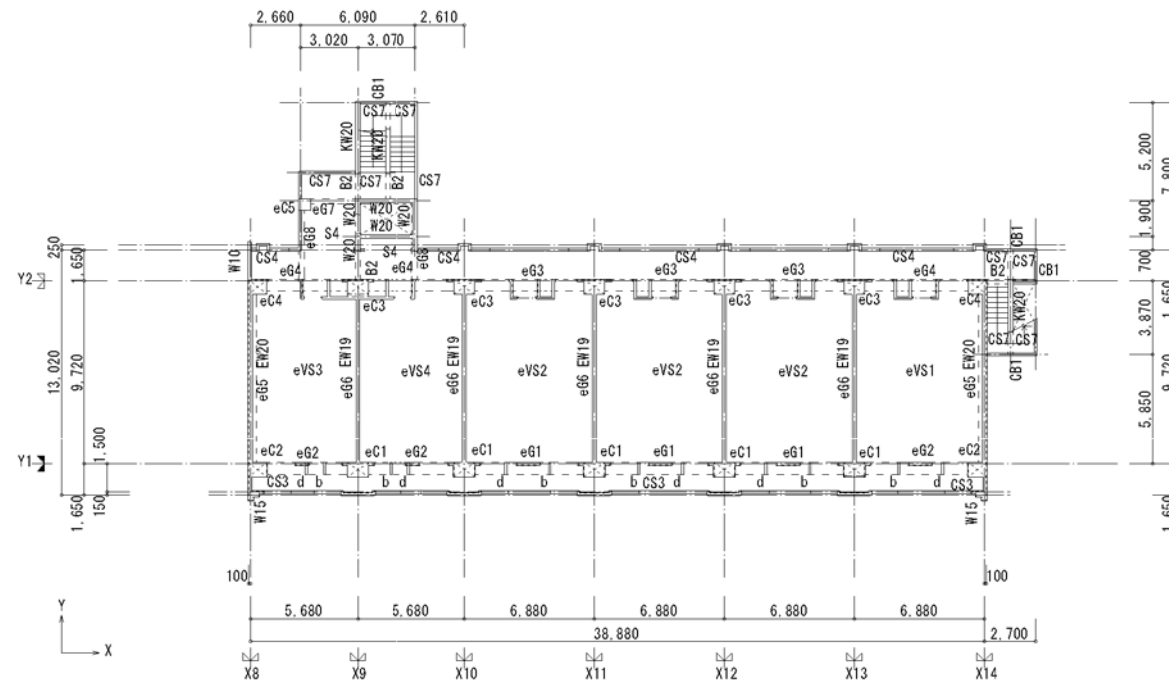
一級建築士事務所 匠設計、愛知県知事登録 (イ-24) 第11595号
一級建築士 92468号、構造設計一級建築士 7713号、伊藤 一人



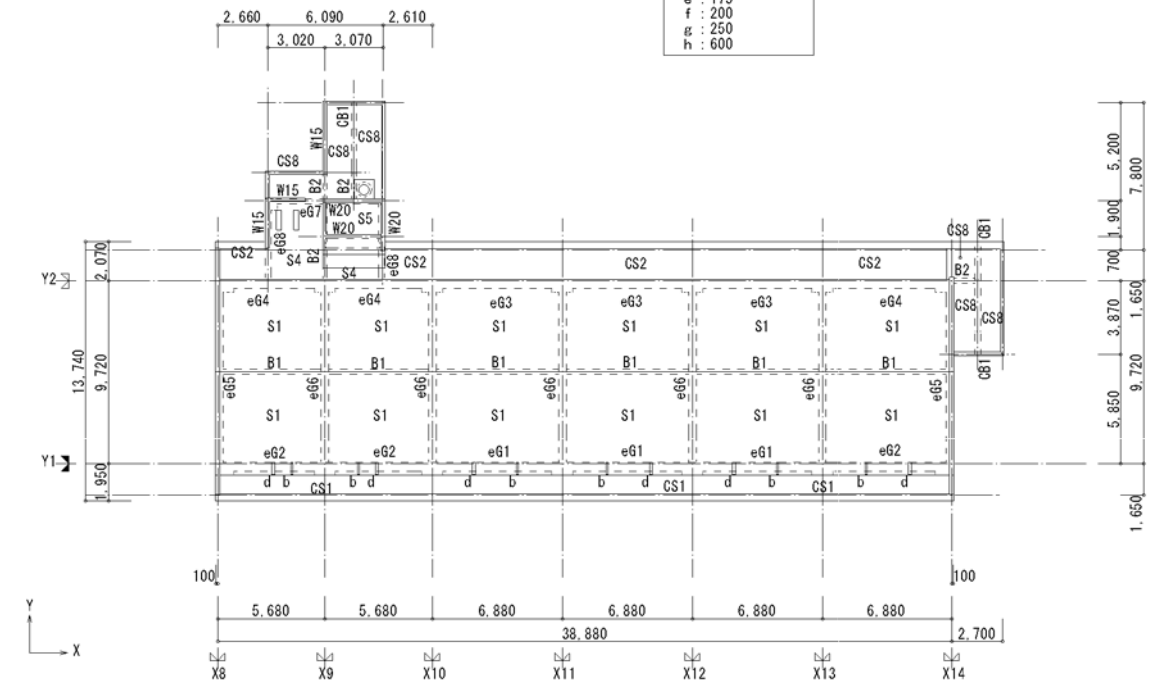
ポイド内径一覧
(単位: mm)
a: 75
b: 100
c: 125
d: 150
e: 175
f: 200
g: 250
h: 600

<註記>

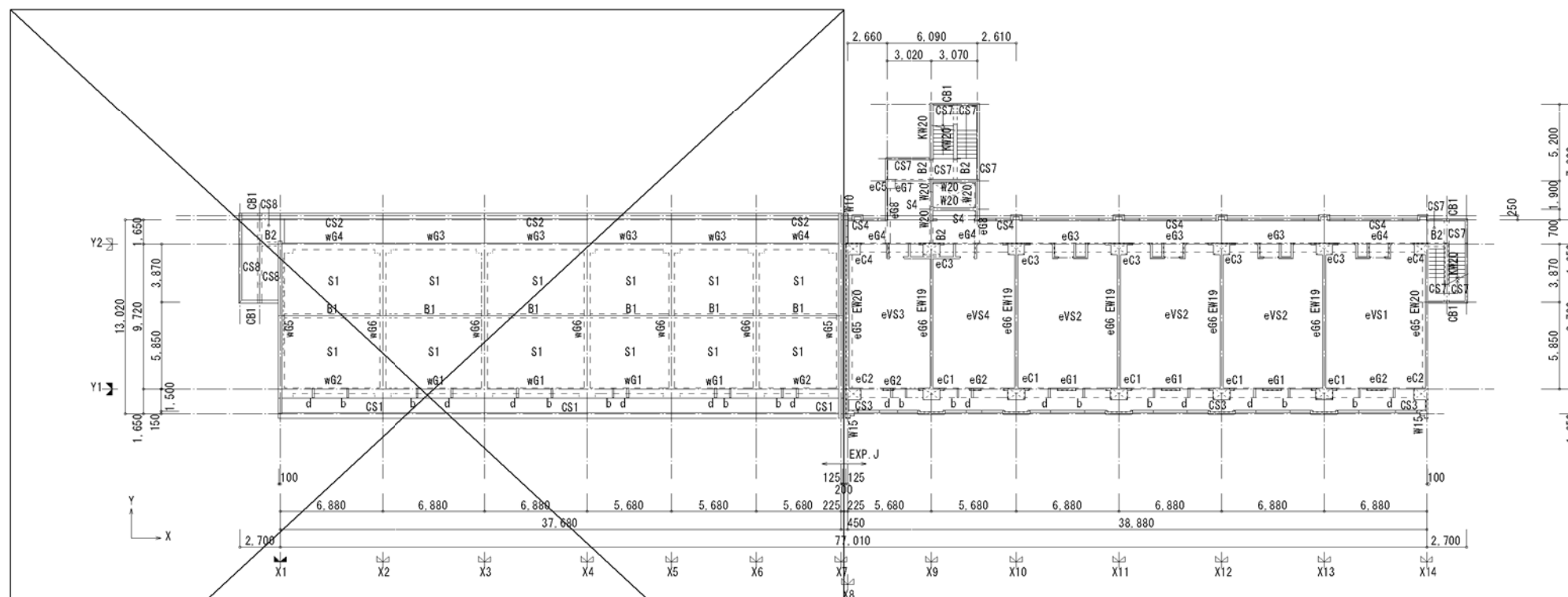
・本図で示す各種設備配管、配線用スリーブ位置は参考とし、施工にあたっては、別途工事(電気設備工事業者、機械設備工事業者)と打合せのうえ、ポイド径、位置を決定する。



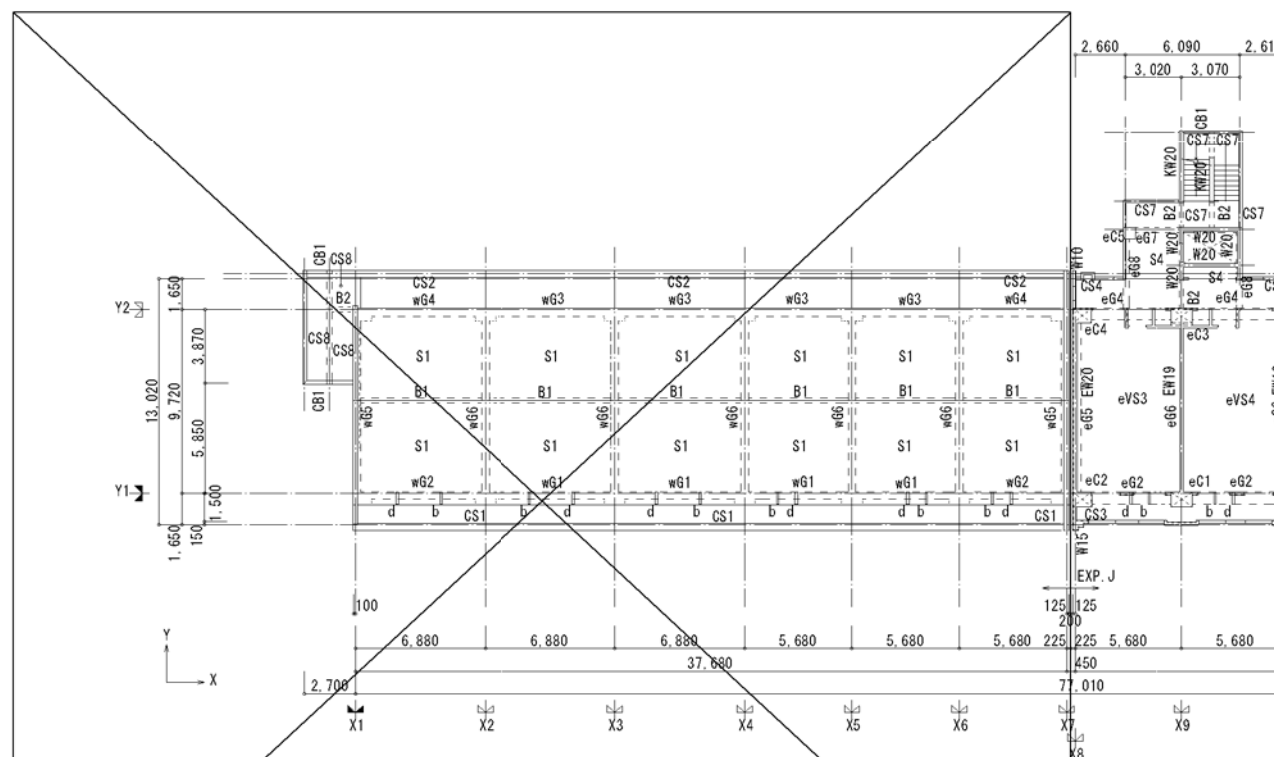
南棟E 8階柱梁床伏図 S=1/200



南棟E 8階柱梁床伏図 S=1/200



南棟E 7階柱梁床伏図 S=1/200



南棟W 7階柱梁床伏図 S=1/200

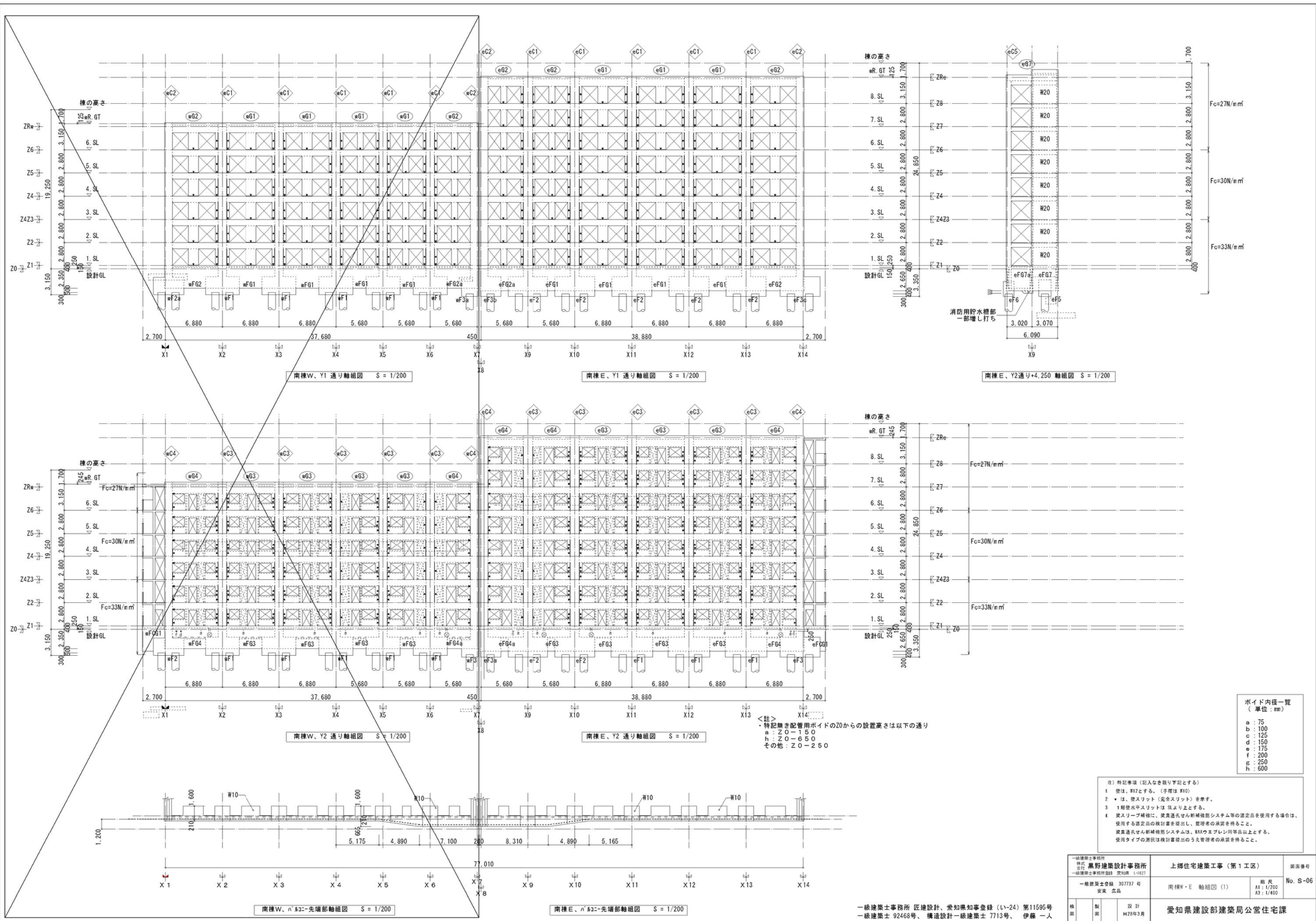
注) 特記事項(記入なき限り下記とする)

1. スラブ天端は $Z_n \pm 0$ とする。
2. RFスラブ天端は意匠図による。
3. [] 内数値はスラブ天端レベル (Z_n 基準) を示す。
4. [] は、スラブ天端 $Z_n - 100$ を示す。
5. | はスラブの主筋方向を示す。
6. 梁天端は $Z_n \pm 0$ とする。
wRG1~4, eRG1~4 梁天端レベルは $Z_n - 200$ とする。
wRG5~6, eRG5~6 梁天端レベルは意匠図による。
7. () 内数値は梁天端レベル (Z_n 基準) を示す。
8. 壁は W12 とする。
9. 基準階階段室・EVホールのスラブ意匠図による。

一級建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一級建築士事務所登録 愛知県 1-11627		上郷住宅建築工事(第1工区)		図面番号
一級建築士登録 307737号 安家 広品		南棟W R階柱梁床伏図 南棟E 7~R階柱梁床伏図	縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	No. S-05
一級建築士事務所 匠設計、愛知県事登録(い-24)第11595号 一級建築士 92468号、構造設計一級建築士 7713号、伊藤 一人		愛知県建設部建築局公営住宅課		

一級建築士事務所 匠設計、愛知県事登録(い-24)第11595号
一級建築士 92468号、構造設計一級建築士 7713号、伊藤 一人





南棟W、Y1 通り軸組図 S = 1/200

南棟E、Y1 通り軸組図 S = 1/200

南棟E、Y2通り+4.250 軸組図 S = 1/200

南棟W、Y2 通り軸組図 S = 1/200

南棟E、Y2 通り軸組図 S = 1/200

南棟W、A' 軸に先端部軸組図 S = 1/200

南棟E、A' 軸に先端部軸組図 S = 1/200

特記無き配管用ボイドのZ0からの設置高さは以下の通り
 a : Z0 - 150
 b : Z0 - 650
 その他 : Z0 - 250

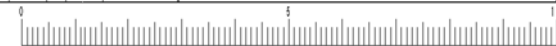
ボイド内径一覧
(単位: mm)

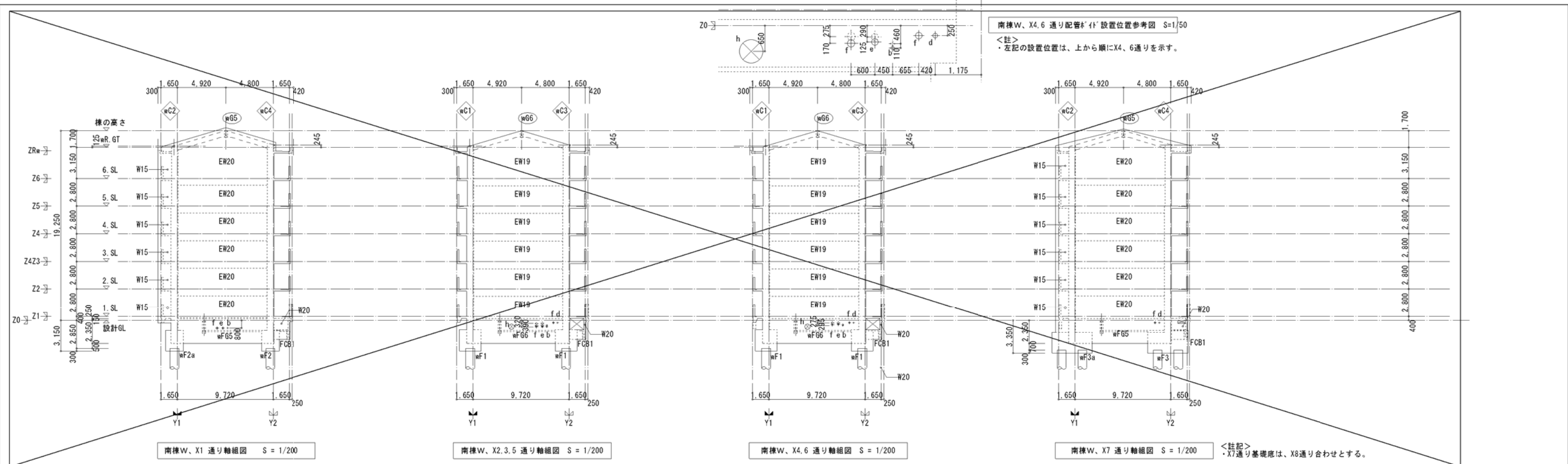
a	: 75
b	: 100
c	: 125
d	: 150
e	: 175
f	: 200
g	: 250
h	: 600

- 注) 特記事項 (記入なき限り下記とする)
- 壁は、R12とする。(手摺はR10)
 - は、壁スリット(完全スリット)を表す。
 - 1階壁水平スリットは、SLより上とする。
 - 梁スリーブ補強に、梁貫通せん断補強システム等の認定品を使用する場合は、使用する認定品の検討書を提出し、監理者の承認を得ること。梁貫通せん断補強システムは、MAXウエブレン同等品以上とする。使用タイプの選択は検討書提出のうえ管理者の承認を得ること。

一級建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一級建築士事務所登録 愛知県 11627		上郷住宅建築工事 (第1工区) 南棟W+E 軸組図 (1)		図面番号 No. S-06
一級建築士登録 307737号 安家 成広	概尺 A1: 1/200 A3: 1/400	愛知県建設部建築局公営住宅課		

一級建築士事務所 匠設計、愛知県知事登録 (い-24) 第11595号
 一級建築士 92468号、構造設計一級建築士 7713号、伊藤 一人





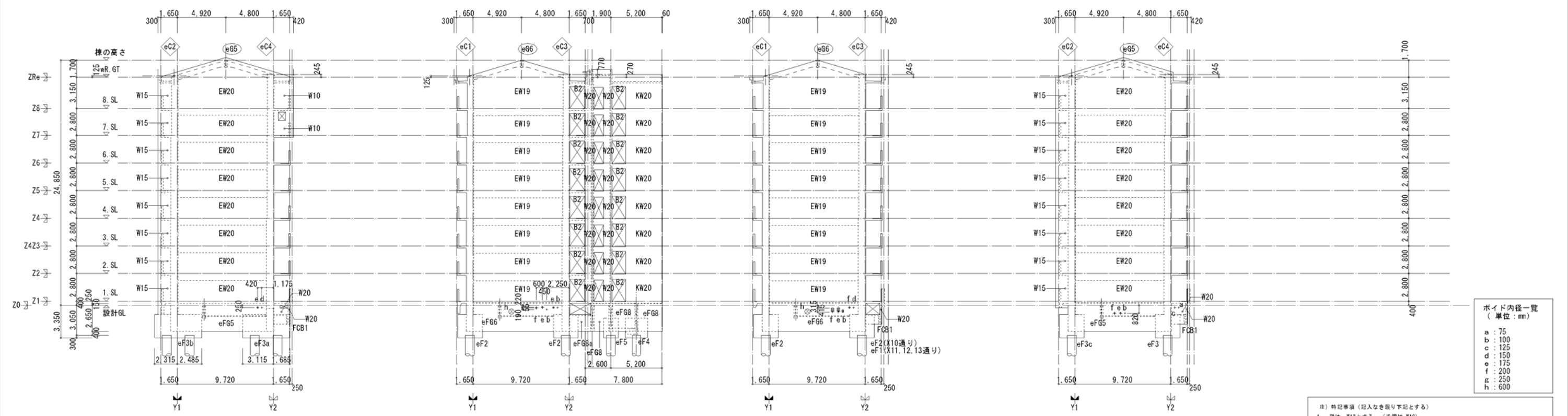
南棟W、X1 通り軸組図 S = 1/200

南棟W、X2.3.5 通り軸組図 S = 1/200

南棟W、X4.6 通り軸組図 S = 1/200

南棟W、X7 通り軸組図 S = 1/200

<註記>
・X7通り基礎底は、X8通り合わせとする。



南棟E、X8 通り軸組図 S = 1/200

南棟E、X9 通り軸組図 S = 1/200

南棟E、X10.11.12.13 通り軸組図 S = 1/200

南棟E、X14 通り軸組図 S = 1/200

南棟E、X10.11.12.13 通り配管付'設置位置参考図 S=1/50

<註>
・上記の設置位置は、上から順にX10、11、12、13通りを示す。

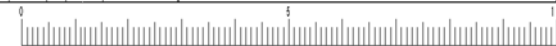
ポイド内径一覧
(単位: mm)

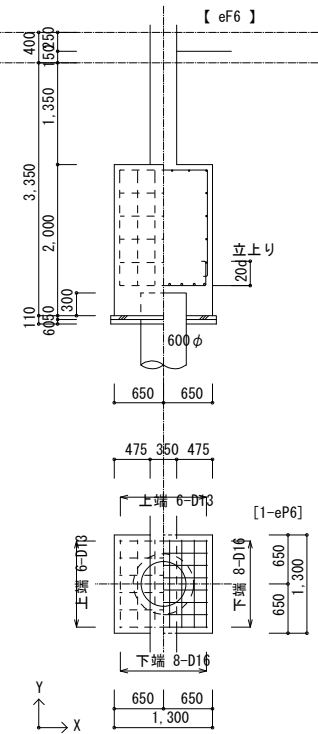
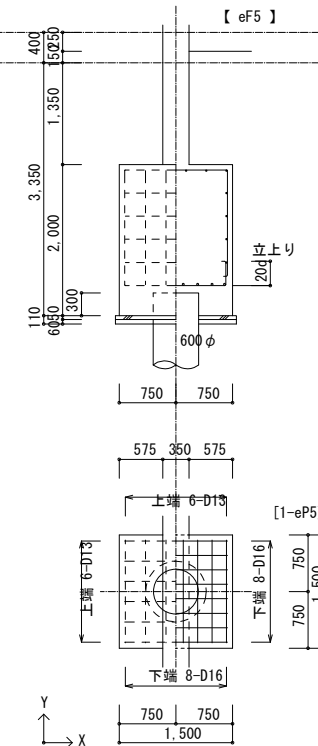
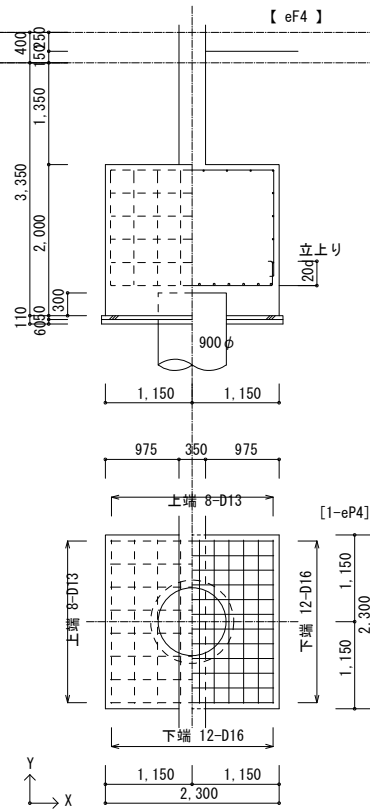
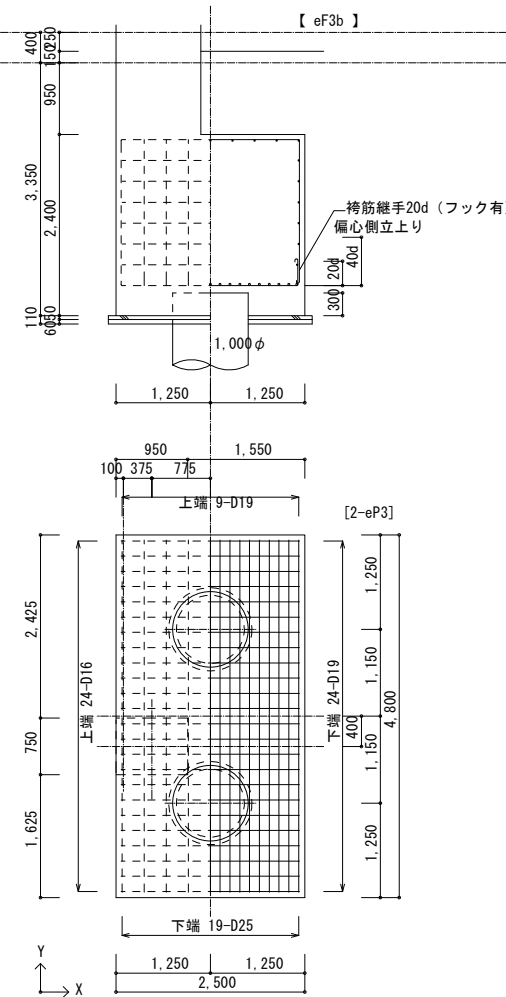
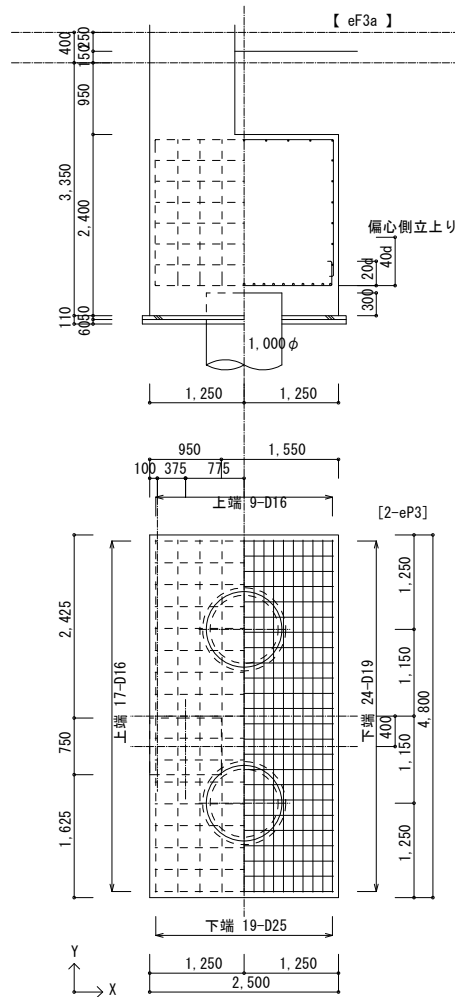
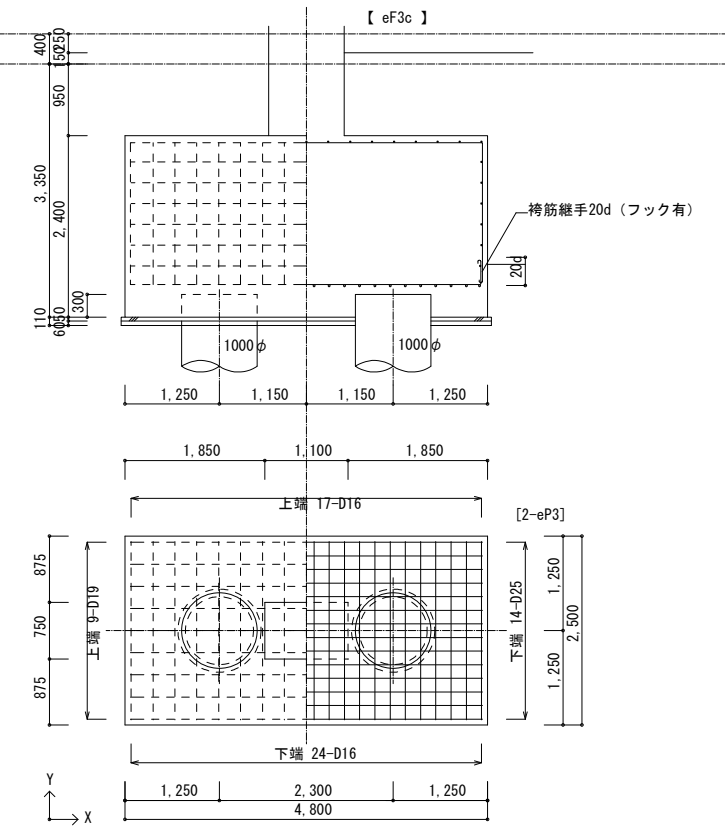
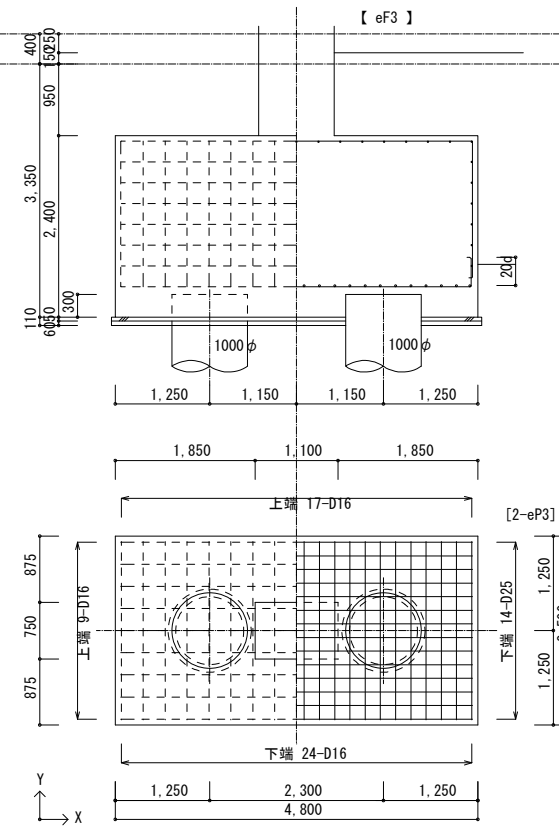
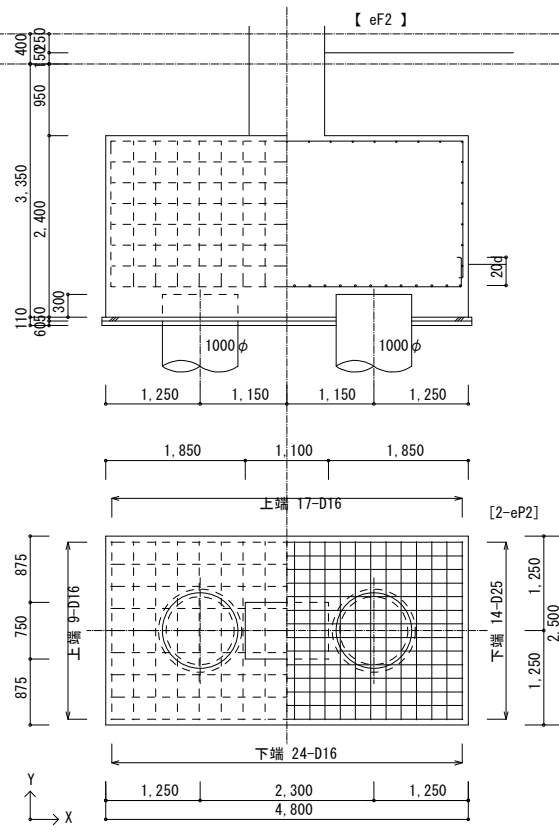
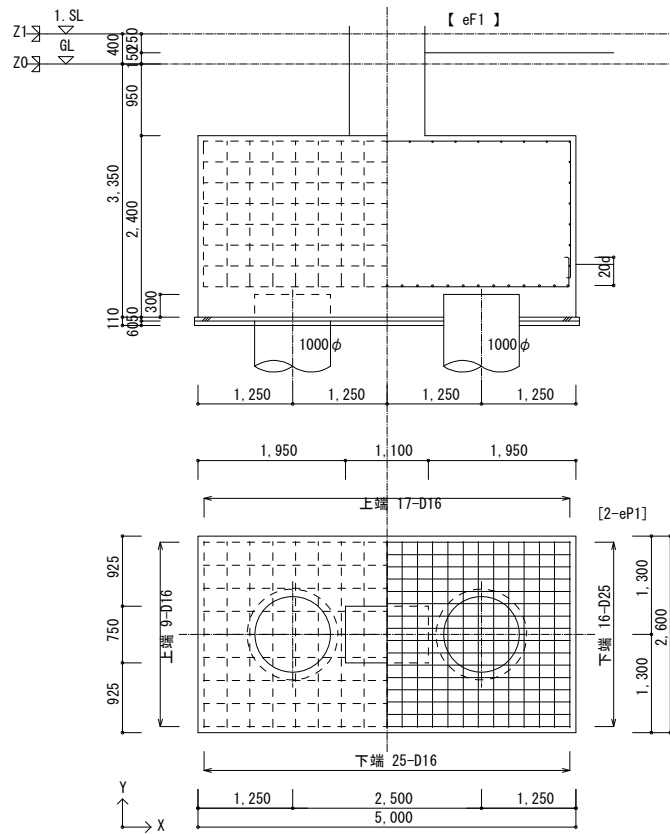
a	: 75
b	: 100
c	: 125
d	: 150
e	: 175
f	: 200
g	: 250
h	: 600

- (注) 特記事項 (記入なき限り下記とする)
- 壁は、W12とする。(手摺は W10)
 - ▼は、壁スリット (完全スリット) を示す。
 - 1階壁水平スリットは SLより上とする。
 - 梁スリット補強は、梁貫通せん断補強筋システム等の認定品を使用する場合は、使用する認定品の検討書を提出し、監理者の承認を得ること。梁貫通せん断補強筋システムは、MAXウェレシオン同等品以上とする。

一級建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一級建築士事務所登録 愛知県 41627		上郷住宅建築工事 (第1工区) 南棟W・E 軸組図 (2)		図面番号 No. S-07
一級建築士登録 307737号 安永 成広		縮尺 A1: 1/50, 1/200 A3: 1/100, 1/400		
検 査	製 図	設 計 H28年3月	愛知県建設部建築局公営住宅課	

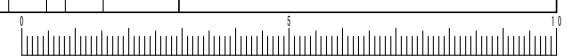
一級建築士事務所 匠設計、愛知県知事登録 (い-24) 第11595号
 一級建築士 92468号、構造設計一級建築士 7713号、伊藤 一人





一級建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一級建築士事務所登録 愛知県 L11627	上郷住宅建築工事 (第1工区) 南棟E 基礎リスト	図面番号 No. S-08
一級建築士登録 307737号 安東 広品	縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	

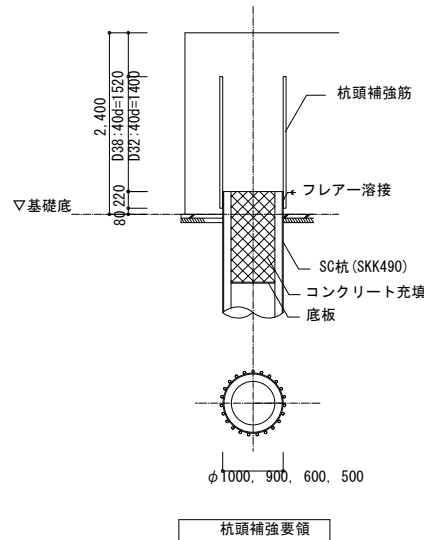
一級建築士事務所 匠設計、愛知県知事登録 (L-24) 第11595号
 一級建築士 92468号、構造設計一級建築士 7713号、伊藤 一人



※ 巾止め筋は D10 @1000 とする。

符号	eFG1		eFG2			eFG2a			eFG3		eFG4			eFG4a		
	端部	中央	X13端	中央	X14端	X8端	中央	X9端	端部	中央	X13端	中央	X14端	X8端	中央	X9端
断面																
巾×成	550 x 2800		550 x 2800			650 x 2800			550 x 2800		550 x 2800			650 x 2800		
上端筋	5/1-D32	5/1-D32	5/3-D32	5/5-D32	5/5-D32	6/3-D32	6/3-D32	6/3-D32	5/1-D32	5/1-D32	5/3-D32	5/5-D32	5/5-D32	6/4-D32	6/4-D32	6/4-D32
下端筋	5/1-D32	5/1-D32	5/3-D32	5/5-D32	5/5-D32	6-D32	6-D32	6-D32	5/1-D32	5/1-D32	5/3-D32	5/5-D32	5/5-D32	6-D32	6-D32	6-D32
STP	2-D13 @200		2-D13 @100			2-D13 @100			2-D13 @200		2-D13 @100			2-D13 @100		
腹筋	16-D10		16-D10			16-D10			16-D10		16-D10			16-D10		

符号	eFG5		eFG6		eFG7, eFG8	eFG7a		eFG8a	eFG8b	eFCG1	FB1	eFB2	FB3	eFB4	FCB1
	端部	中央	端部	中央	全域	左端・中央	右端	全域	全域	全域	全域	全域	全域	全域	全域
断面															
巾×成	550 x 2800		550 x 2800		350 x 2800	400 x 2800		350 x 1500	300 x 2800	550 x 2800	350 x 1500	350 x 800	350 x 2800	300 x 2800	350 x 800
上端筋	5-D32	5-D32	5-D32	5-D32	3/2-D25	3/2-D25	3/2-D25	3/2-D25	3/2-D25	5/2-D32	3-D22	3-D22	3-D25	3-D22	4/2-D22
下端筋	5-D32	5-D32	5-D32	5-D32	3/3-D25	3/3-D25	3/3-D25	3/3-D25	3/3-D25	3-D32	3-D22	3-D22	3-D25	3-D22	3-D22
STP	2-D13 @200		2-D13 @200		2-D13 @200	2-D13 @200		2-D13 @150	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @150
腹筋	16-D10		16-D10		16-D10	16-D10		8-D10	16-D10	16-D10	8-D10	2-D10	16-D10	16-D10	2-D10



杭仕様

杭符号	使用箇所	杭種		杭径	杭長	杭頭補強筋	長期支持力 (kN/P)	杭本数	工法
eP1	eF1	上杭	SKK490 (105N) t=12.0	HSC105	φ1000	12 m	23-D38 (WSD390)	4200	プレローリング拡底根固め工法 (大臣認定工法 Hyper-MEGA工法、又は同等性能以上の認定工法)
		下杭		JP-NPH105 (B種)	φ1200-1000	5 + 7 = 12 m			
eP2	eF2	上杭	SKK490 (105N) t=12.0	HSC105	φ1000	12 m	23-D38 (WSD390)	3600	
		下杭		JP-NPH105 (B種)	φ1100-900-1000	5 + 7 = 12 m			
eP3	eF3, eF3a, eF3b, eF3c	上杭	SKK490 (105N) t=14.0	HSC105	φ1000	12 m	23-D38 (WSD390)	3600	
		下杭		JP-NPH105 (C種)	φ1100-900-1000	5 + 7 = 12 m			
eP4	eF4	上杭	SKK490 (105N) t=9.0	HSC105	φ900	12 m	18-D32 (WSD390)	3600	
		下杭		JP-NPH105 (A種)	φ1100-900	5 + 7 = 12 m			
eP5	eF5	上杭	SKK490 (105N) t=9.0	HSC105	φ600	12 m	12-D32 (WSD390)	2000	
		下杭		JP-NPH105 (A種)	φ800-600	5 + 7 = 12 m			
eP6	eF6	上杭	SKK490 (105N) t=9.0	HSC105	φ500	12 m	10-D32 (WSD390)	1500	
		下杭		JP-NPH105 (B種)	φ650-500	5 + 7 = 12 m			

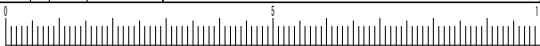
RC柱 リスト (1) S = 1/50		※ 1階～4階柱の帯筋は溶接閉鎖形とする。 ※ 帯筋 [呼び径U12.6] は、フルボーン SBF01275/1420 (溶接閉鎖型) を示す。					※ 柱・梁接合部内の帯筋は D13 #100 とする。 ※ ダイアゴナルフープは D10 #500 とする。				
階	符号	eC1	eC2	eC3	eC4	eC5					
7階	断面										
	Dx x Dy	1100 x 650	950 x 650	1100 x 650	950 x 650	600 x 600					
	主筋	X方向 5-D25 Y方向 2-D25 + 4-D19	10 (8)	4-D25 2-D25 + 3-D19	8 (6)	5-D25 2-D25 + 4-D19	10 (8)	4-D25 2-D25 + 3-D19	8 (6)	4-D22 4-D22	12
HOOP	X Y	D13 #100 2 2	D13 #100 2 2	D13 #100 2 2	D13 #100 2 2	D13 #100 2 2					
6階	断面										
	Dx x Dy	1100 x 700	950 x 700	1100 x 700	950 x 700	600 x 600					
	主筋	X方向 6-D25 Y方向 2-D25 + 4-D19	12 (8)	5-D25 2-D25 + 3-D19	10 (6)	6-D25 2-D25 + 4-D19	12 (8)	5-D25 2-D25 + 3-D19	10 (6)	4-D22 4-D22	12
HOOP	X Y	D13 #100 2 2	D13 #100 2 2	D13 #100 3 2	D13 #100 2 2	D13 #100 2 2					
5階	断面										
	Dx x Dy	1100 x 700	950 x 700	1100 x 700	950 x 700	600 x 600					
	主筋	X方向 6-D25 Y方向 2-D25 + 4-D19	12 (8)	6-D25 2-D25 + 3-D19	12 (6)	6-D25 2-D25 + 4-D19	12 (8)	6-D25 2-D25 + 3-D19	12 (6)	4-D22 4-D22	12
HOOP	X Y	D13 #100 4 2	D13 #100 2 2	D13 #100 4 2	D13 #100 2 2	D13 #100 2 2					
4階	断面										
	Dx x Dy	1100 x 700	950 x 700	1100 x 700	950 x 700	600 x 600					
	主筋	X方向 6-D25 Y方向 2-D25 + 4-D19	12 (8)	6-D25 2-D25 + 3-D19	12 (6)	6-D25 2-D25 + 4-D19	12 (8)	6-D25 2-D25 + 3-D19	12 (6)	4-D22 4-D22	12
HOOP	X Y	D13 #100 5 2	D13 #100 2 2	D13 #100 5 2	D13 #100 2 2	D13 #100 2 2					
3階	断面										
	Dx x Dy	1100 x 750	950 x 750	1100 x 750	950 x 750	600 x 600					
	主筋	X方向 6-D25 Y方向 2-D25 + 4-D19	12 (8)	6-D25 2-D25 + 3-D19	12 (6)	6-D25 2-D25 + 4-D19	12 (8)	6/2-D25 4-D25 + 3-D19	16 (6)	4-D22 4-D22	12
HOOP	X Y	D13 #100 5 2	D13 #100 2 2	D13 #100 5 2	D13 #100 2 2	D13 #100 2 2					
2階	断面										
	Dx x Dy	1100 x 750	950 x 750	1100 x 750	950 x 750	600 x 600					
	主筋	X方向 6-D25 Y方向 2-D25 + 4-D19	12 (8)	6/2-D25 4-D25 + 3-D19	16 (6)	6-D25 2-D25 + 4-D19	12 (8)	6/2-D25 4-D25 + 4-D19	16 (6)	4-D22 4-D22	12
HOOP	X Y	D13 #100 6 2	D13 #100 3 2	D13 #100 6 2	D13 #100 3 2	D13 #100 3 2					
1階	断面										
	Dx x Dy	1100 x 750	950 x 750	1100 x 750	950 x 750	600 x 600					
	主筋	柱頭 X方向 6/2-D25 Y方向 4-D25 + 4-D19	16 (8)	6/2-D25 4-D25 + 3-D19	16 (6)	6/2-D25 4-D25 + 4-D19	16 (8)	6/2-D25 4-D25 + 4-D19	16 (6)	4-D22 4-D22	12
柱脚 X方向											
柱脚 Y方向											
HOOP	X Y	*U12.6 #100 4 2	D13 #100 4 2	*U12.6 #100 4 2	D13 #100 4 2	D13 #100 2 2					

RC柱 リスト (2) S = 1/50		※ 柱・梁接合部内の帯筋は D13 #100 とする。									
階	符号	eC1	eC2	eC3	eC4	eC5					
8階	断面										
	Dx x Dy	1100 x 650	950 x 650	1100 x 650	950 x 650	600 x 600					
	主筋	X方向 4-D25 Y方向 2-D25 + 4-D19	8 (8)	4-D25 2-D25 + 3-D19	8 (6)	4-D25 2-D25 + 4-D19	8 (8)	4-D25 2-D25 + 3-D19	8 (6)	4-D22 4-D22	12
HOOP	X Y	D13 #100 2 2	D13 #100 2 2	D13 #100 2 2	D13 #100 2 2	D13 #100 2 2					

一級建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一級建築士事務所登録 愛知県 L11027	上郷住宅建築工事 (第1工区)	図面番号
一級建築士登録 307737号 安東 広品	南棟E 柱リスト	No. S-10

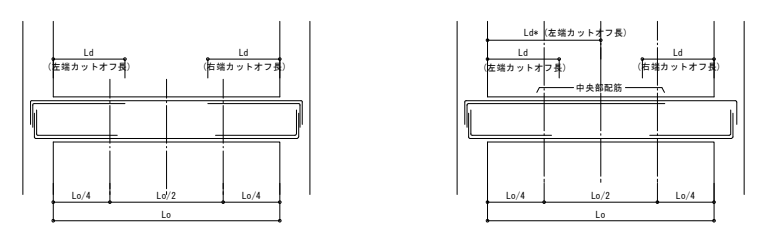
一級建築士事務所 匠設計、愛知県知事登録 (イ-24) 第11595号
一級建築士 92468号、構造設計一級建築士 7713号、伊藤 一人

検 製 設 計
図 図 図 図
H28年3月



RC大梁 リスト (1) S = 1/50		※ 中止め筋は D10 @1000 とする。 ※ 中空スラブ周辺の梁となる梁は、ねじれ補強要領を参照して補強する。										
階	符号	eG1		eG2		eG3		eG4		eG5	eG6	eG7, eG8
		位置	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	全域	全域
8階	断面											
	幅×成	450 x 750	450 x 750	450 x 750	450 x 750	450 x 750	450 x 750	400 x 700	190 x 700	300 x 500		
	上端筋	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	3-D25	2-D19	3-D22	
	下端筋	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	3-D25	2-D19	3-D22	
	S T P	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	
腹筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	4-D10			
7階	断面											
	幅×成	450 x 750	450 x 750	450 x 750	450 x 750	450 x 750	450 x 750	400 x 700	190 x 700	300 x 500		
	上端筋	4/2-D29 (Ld22)	4/2-D29 (Ld22)	4/2-D29 (Ld22)	4/2-D29 (Ld22)	4/2-D29 (Ld22)	4/2-D29 (Ld22)	4/2-D29 (Ld22)	3-D25	2-D19	3-D22	
	下端筋	4/2-D29 (Ld20)	4/2-D29 (Ld20)	4/2-D29 (Ld20)	4/2-D29 (Ld20)	4/2-D29 (Ld20)	4/2-D29 (Ld20)	4/2-D29 (Ld20)	3-D25	2-D19	3-D22	
	S T P	2-D13 @100	3-D13 @100	3-D13 @100	3-D13 @100	3-D13 @100	3-D13 @100	4-D13 @100	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	
腹筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	4-D10			
6階	断面											
	幅×成	500 x 750	500 x 750	500 x 750	500 x 750	500 x 750	500 x 750	400 x 700	190 x 700	300 x 500		
	上端筋	5/3-D29 (Ld22)	5/1-D29	5/2-D29 (Ld22)	5-D29	5/3-D29 (Ld22)	5/1-D29	5/2-D29 (Ld22)	5-D29	3-D25	2-D19	3-D22
	下端筋	5/3-D29 (Ld20)	5/1-D29	5/2-D29 (Ld20)	5-D29	5/3-D29 (Ld20)	5/1-D29	5/2-D29 (Ld20)	5-D29	3-D25	2-D19	3-D22
	S T P	3-D13 @100	3-D13 @100	3-D13 @100	3-D13 @100	3-D13 @100	3-D13 @100	4-D13 @100	5-D29	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200
腹筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	4-D10			
5階	断面											
	幅×成	550 x 750	550 x 750	550 x 750	550 x 750	550 x 750	550 x 750	400 x 700	190 x 700	300 x 500		
	上端筋	5/3-D32 (Ld24)	5/1-D32	5/2-D32 (Ld24)	5-D32	5/3-D32 (Ld24)	5/1-D32	5/2-D32 (Ld24)	5-D32	3-D25	2-D19	3-D22
	下端筋	5/3-D32 (Ld20)	5/1-D32	5/2-D32 (Ld20)	5-D32	5/3-D32 (Ld20)	5/1-D32	5/2-D32 (Ld20)	5-D32	3-D25	2-D19	3-D22
	S T P	3-D13 @100	4-D13 @100	4-D13 @100	5-D32	4-D13 @100	4-D13 @100	5-D13 @100	5-D32	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200
腹筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	4-D10			
4階	断面											
	幅×成	600 x 750	600 x 750	600 x 750	600 x 750	600 x 750	600 x 750	400 x 700	190 x 700	300 x 500		
	上端筋	6/3-D32 (Ld24)	6/1-D32	6/2-D32 (Ld24)	6-D32	6/3-D32 (Ld24)	6/1-D32	6/2-D32 (Ld24)	6-D32	3-D25	2-D19	3-D22
	下端筋	6/3-D32 (Ld20)	6/1-D32	6/2-D32 (Ld20)	6-D32	6/3-D32 (Ld20)	6/1-D32	6/2-D32 (Ld20)	6-D32	3-D25	2-D19	3-D22
	S T P	4-D13 @100	5-D13 @100	5-D13 @100	6-D32	4-D13 @100	4-D13 @100	5-D13 @100	6-D32	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200
腹筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	4-D10			
3階	断面											
	幅×成	600 x 750	600 x 750	600 x 750	600 x 750	600 x 750	600 x 750	400 x 700	190 x 700	300 x 500		
	上端筋	6/3-D32 (Ld22)	6/1-D32	6/2-D32 (Ld22)	6-D32	6/3-D32 (Ld22)	6/1-D32	6/2-D32 (Ld22)	6-D32	3-D25	2-D19	3-D22
	下端筋	6/3-D32 (Ld20)	6/1-D32	6/2-D32 (Ld20)	6-D32	6/3-D32 (Ld20)	6/1-D32	6/2-D32 (Ld20)	6-D32	3-D25	2-D19	3-D22
	S T P	4-D13 @100	5-D13 @100	5-D13 @100	6-D32	4-D13 @100	4-D13 @100	5-D13 @100	6-D32	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200
腹筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	4-D10			
2階	断面											
	幅×成	600 x 750	600 x 750	600 x 750	600 x 750	600 x 750	600 x 750	400 x 700	190 x 700	300 x 500		
	上端筋	6/2-D32 (Ld22)	6-D32	6/2-D32 (Ld22)	6-D32	6/2-D32 (Ld22)	6-D32	6/2-D32 (Ld22)	6-D32	3-D25	2-D19	3-D22
	下端筋	6/2-D32 (Ld20)	6-D32	6/2-D32 (Ld20)	6-D32	6/2-D32 (Ld20)	6-D32	6/2-D32 (Ld20)	6-D32	3-D25	2-D19	3-D22
	S T P	4-D13 @100	5-D13 @100	5-D13 @100	6-D32	4-D13 @100	4-D13 @100	5-D13 @100	6-D32	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200
腹筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	4-D10			

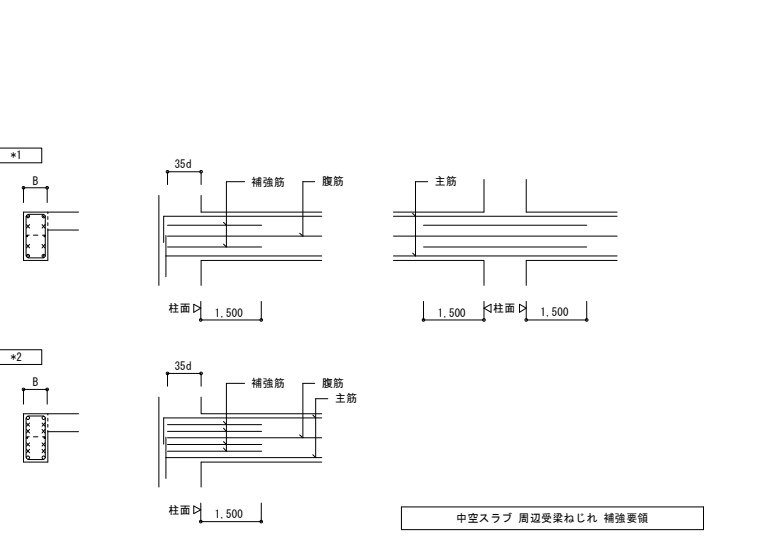
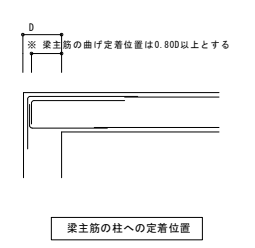
RC大梁 リスト (2) S = 1/50		※ 中止め筋は D10 @1000 とする。										
階	符号	eG1		eG2		eG3		eG4		eG5	eG6	eG7, eG8
		位置	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	全域	全域
R階	断面											
	幅×成	400 x 900	400 x 900	400 x 900	400 x 900	400 x 900	400 x 900	400 x 900	400 x 500	400 x 500	300 x 500	
	上端筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	3-D25	3-D25	3-D22
	下端筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	3-D25	3-D25	3-D22
	S T P	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200
腹筋	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10				



符号	カットオフ長さ(Ld)
Ld20	2000
Ld22	2200
Ld24	2400

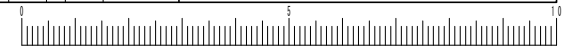
※カットオフ長が Ld/2 を超えて両端が異なる場合は、通して配筋する。

※鉄筋のカットオフ長が Ld* の場合で、その本数が中央部と同一の場合は鉄筋は連続して配筋する。



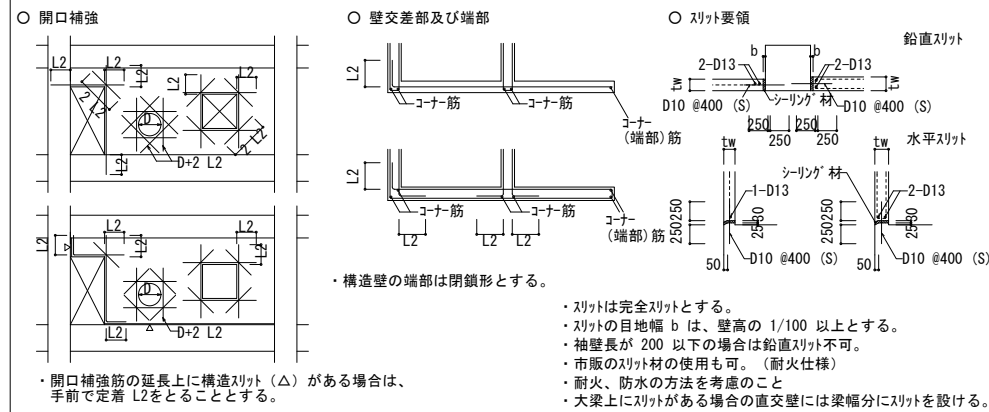
B x D	大梁リスト参照	備考
腹筋	大梁リスト参照	
補強筋	*1 4-D13	2段
	*2 8-D13	4段

(注) 1. 補強位置は中空スラブ伏図を参照。
2. ねじれ補強筋の定着は柱内に35dもしくは通し筋とする。



壁 リスト S = 1/50

* 巾止筋は D10@1000 以内とする。 [凡例] S = シングル、W = ダブル、T = チドリ



符号	W10	W12	W15	W18	W20	KW20
断面						
開口補強						開口補強筋は壁端部筋を表す
縦筋	D10 @200 (S)	D10 @200 (S)	D13 @150 (T)	2-D10 @200 (W)	2-D10 @150 (W)	2-D13 @150 (W)
横筋	D10 @200 (S)	D10 @200 (S)	D10 @200 (T)	2-D10 @200 (W)	2-D10 @150 (W)	2-D13 @200 (W)
開口補強	縦筋 1-D13 L2=520 横筋 1-D13 L2=520 斜筋 1-D13 L2=520	縦筋 1-D13 L2=520 横筋 1-D13 L2=520 斜筋 1-D13 L2=520	縦筋 1-D13 L2=520 横筋 1-D13 L2=520 斜筋 1-D13 L2=520	縦筋 2-D13 L2=520 横筋 2-D13 L2=520 斜筋 2-D13 L2=520	縦筋 2-D13 L2=520 横筋 2-D13 L2=520 斜筋 2-D13 L2=520	縦筋 2-D19 L2=760 横筋 2-D19 L2=760 斜筋 2-D19 L2=760
コーナー筋	1-D13	1-D13	1-D13	2-D16	2-D19	2-D19

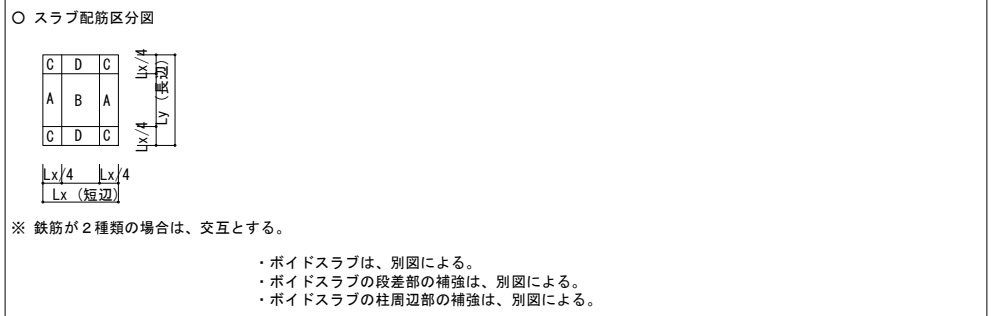
符号	EW19	EW20
断面		
開口補強		
縦筋	2-D10 @150 (W)	2-D10 @150 (W)
横筋	2-D10 @200 (W)	2-D10 @150 (W)
開口補強	縦筋 2-D16 L2=640 横筋 2-D16 L2=640 斜筋 2-D13 L2=520	縦筋 2-D16 L2=640 横筋 2-D16 L2=640 斜筋 2-D13 L2=520
コーナー筋	2-D16	2-D16

RC小梁 リスト S = 1/50

符号	B1		B2	B3	CB1	
	端部	中央	全域	全域	内端・中央	先端
断面						
巾×成	350 x 650		200 x 500	200 x 500	200 x 500	200 x 350
上端筋	4-D22	3-D22	2-D19	2-D19	2/2-D19	2-D19
下端筋	4-D22	4-D22	2-D19	2-D19	2-D19	2-D19
S T P	2-D10 @200		2-D10 @100	2-D10 @100	2-D10 @100	
腹筋	2-D10					

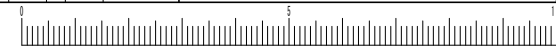
RC床版 リスト

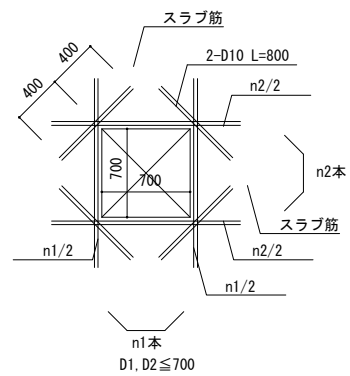
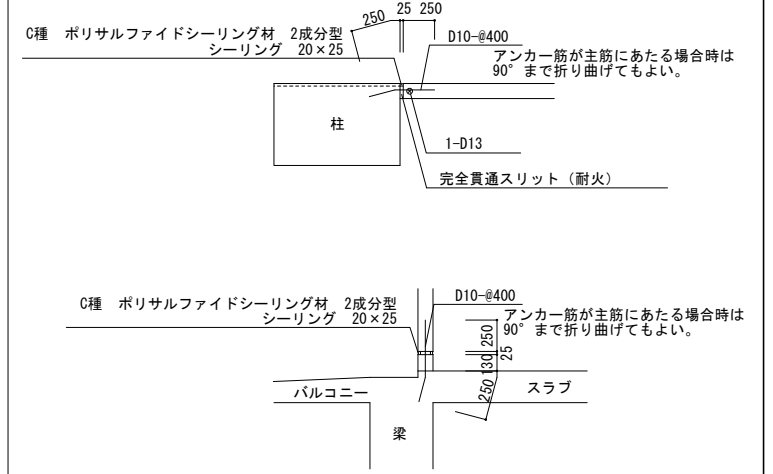
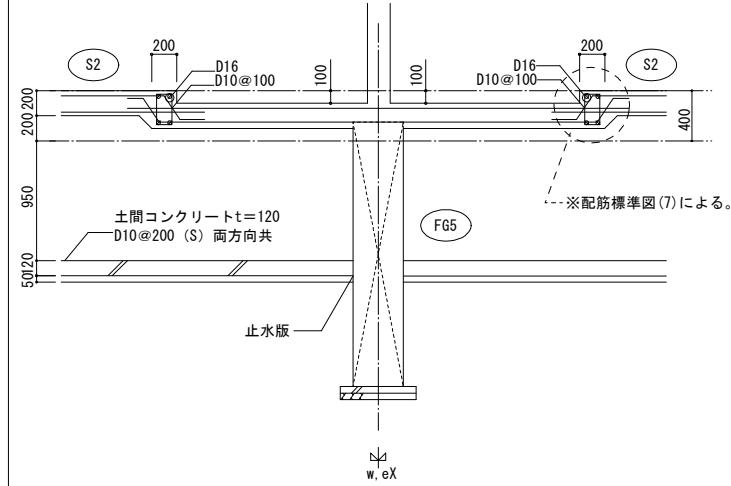
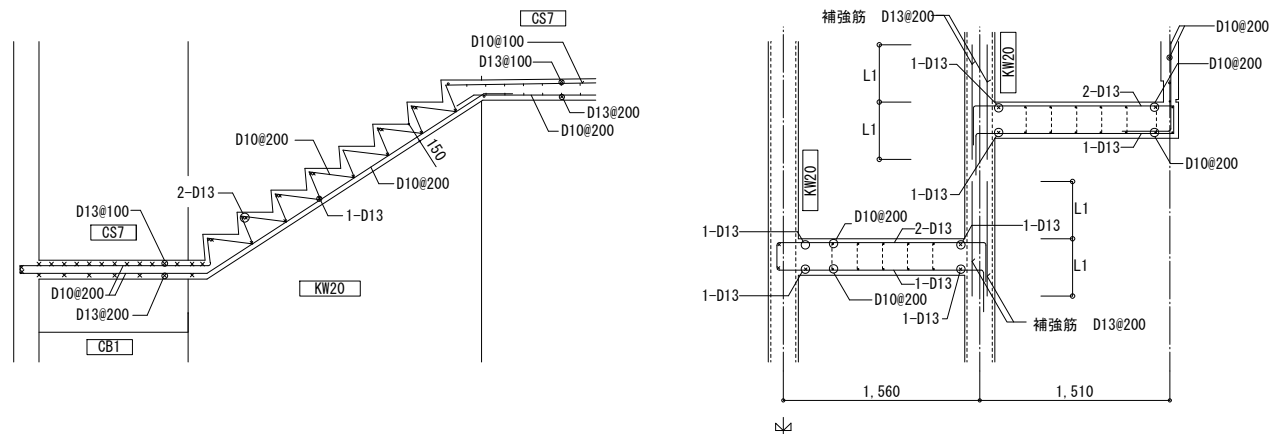
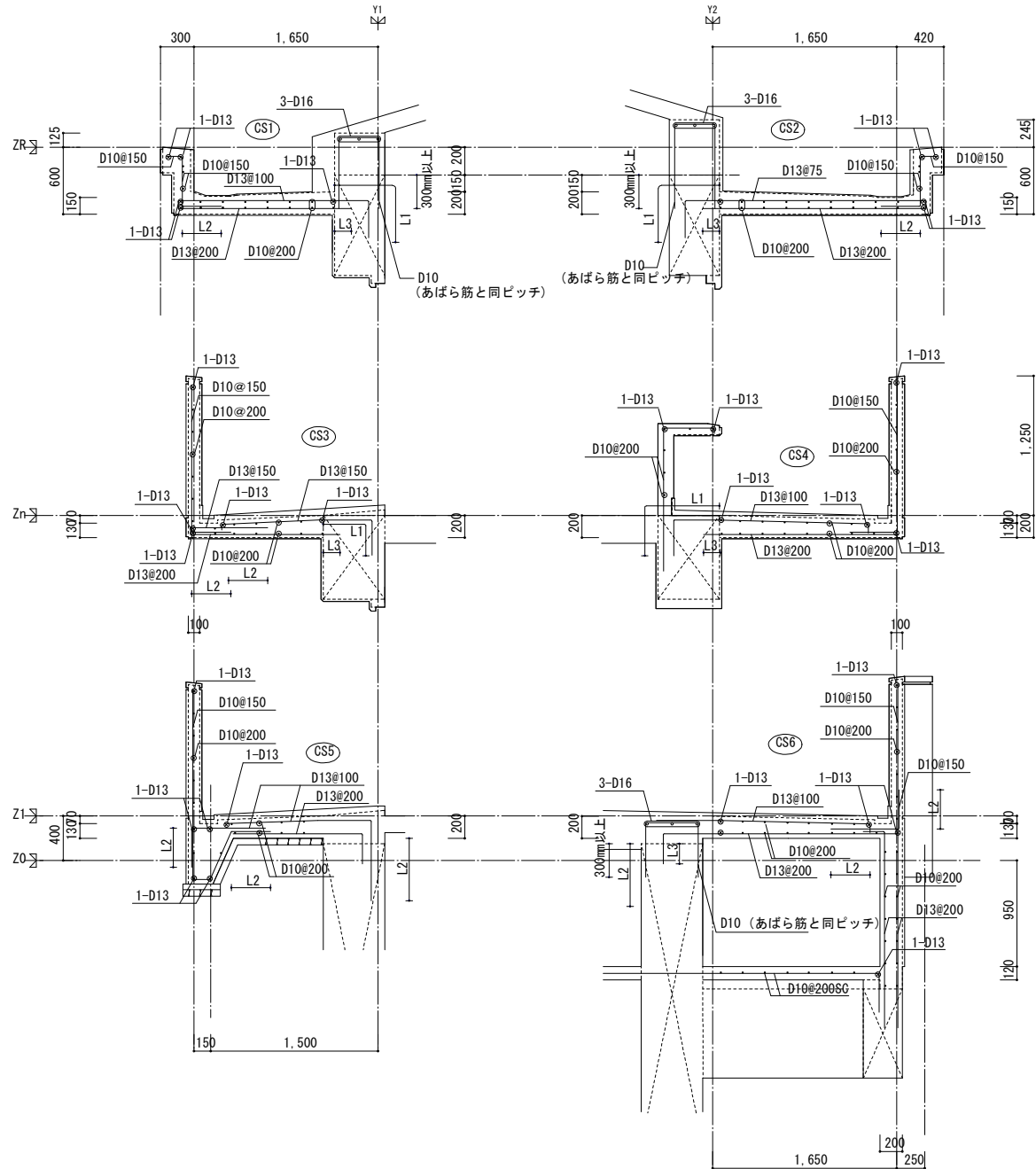
※ 鉄筋が2種類の場合は、交互とする。



符号	版厚	拘束条件	位置	短辺方向		長辺方向		備考
				端部 (A, C)	中央 (B, D)	端部 (D, C)	中央 (B, A)	
S1	150	4辺固定	上端	D13 @200	←	D10, D13 @200	←	
			下端	D10, D13 @200	←	D10, D13 @200	←	
S2	180	4辺固定	上端	D13 @200	←	D13 @200	←	
			下端	D10, D13 @200	←	D10, D13 @200	←	
S3	150	4辺固定	上端	D10, D13 @200	←	D10 @200	←	
			下端	D10 @200	←	D10 @200	←	
S4	150	4辺固定	上端	D13 @200	←	D13 @200	←	
			下端	D10 @200	←	D10 @200	←	
CS1	200~150	片持ち	上端	D13 @100	←	D10 @200	←	
			下端	D13 @200	←	D10 @200	←	
CS2	200~150	片持ち	上端	D13 @75	←	D10 @200	←	
			下端	D13 @200	←	D10 @200	←	
CS3	200~165 (130)	片持ち	上端	D13 @150	←	D10 @200	←	
			下端	D13 @200	←	D10 @200	←	
CS4	200~165 (130)	片持ち	上端	D13 @100	←	D10 @200	←	
			下端	D13 @200	←	D10 @200	←	
CS5	200~165 (130)	片持ち	上端	D13 @100	←	D10 @200	←	
			下端	D13 @200	←	D10 @200	←	
CS6	200~165 (130)	片持ち	上端	D13 @100	←	D10 @200	←	
			下端	D13 @100	←	D10 @200	←	
CS7	200~150	片持ち	上端	D13 @100	←	D10 @200	←	
			下端	D13 @200	←	D10 @200	←	
CS8	150	片持ち	上端	D13 @100	←	D10 @200	←	
			下端	D13 @200	←	D10 @200	←	
FS1	300	4辺固定	上端	D13 @200	←	D13 @200	←	
			下端	D13 @200	←	D13 @200	←	

一級建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一級建築士事務所登録 愛知県 L11627	上郷住宅建築工事 (第1工区) 南棟W・E 小梁・床版・壁リスト	図面番号 No. S-12
一級建築士登録 307737号 安東 広品	南棟W・E 小梁・床版・壁リスト 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	図面番号 No. S-12
一級建築士事務所 匠設計、愛知県知事登録 (イ-24) 第11595号 一級建築士 92468号、構造設計一級建築士 7713号、伊藤 一人	愛知県建設部建築局公営住宅課	

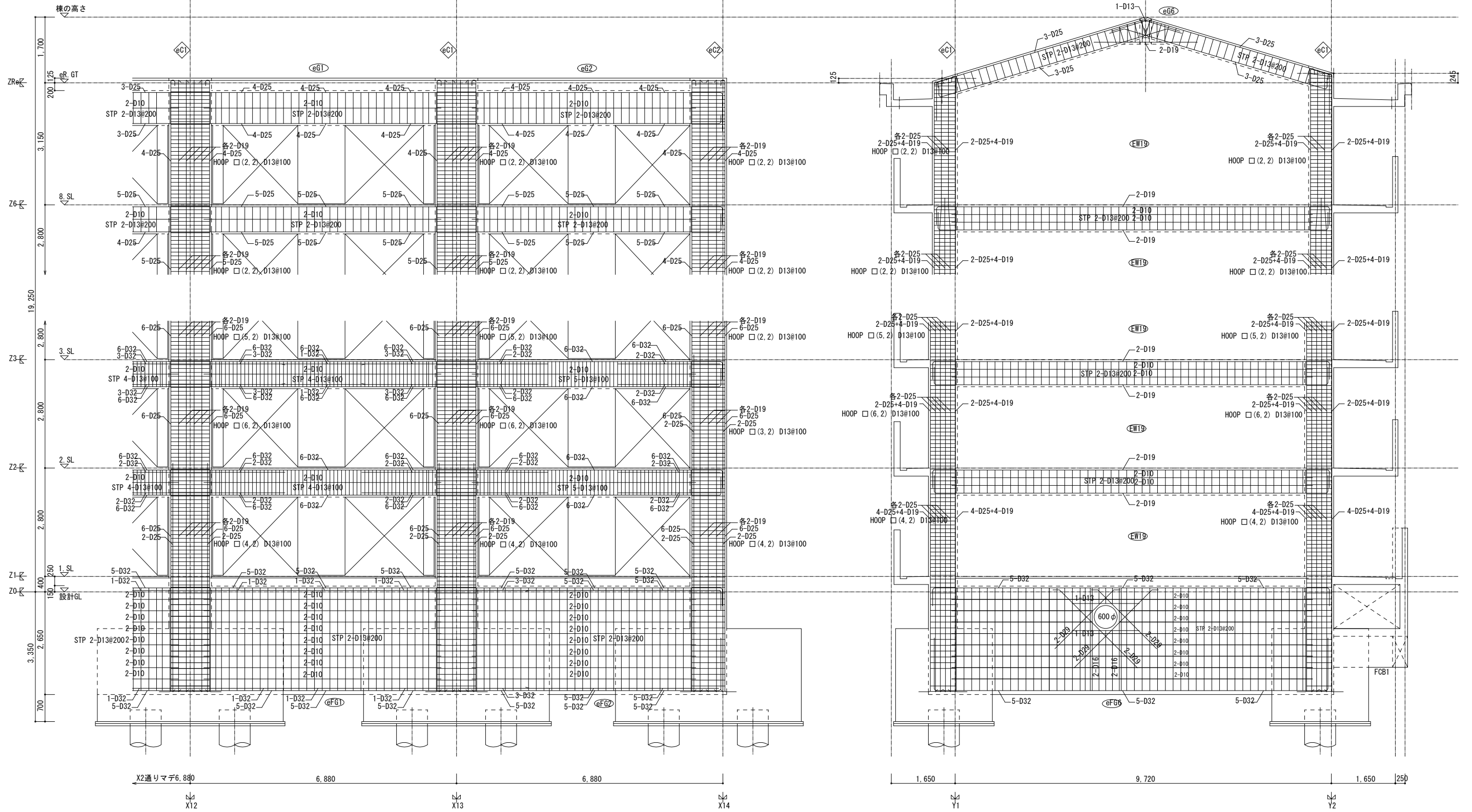




スリーブ記号	径	梁符号	梁幅B	梁成D	配筋種別
b	100φ	eG1, G2	400 450	900 750	H1 (RF) H1 (8F)
b	100φ	eG1, G2	450~500 550	750	H3 (6~7F) H6 (5F)
b	100φ	eG1, G2	600	750	H7 (2~4F)
d	150φ	eG1, G2	400 450	900 750	H1 (RF) H1 (8F)
d	150φ	eG1, G2	450~500 550	750	H3 (6~7F) H6 (5F)
d	150φ	eG1, G2	600	750	H7 (2~4F)
基礎梁 a, b	75・100φ	eFG3, FG4, FG4a eFG5, FG6	550	2,800	H11 H10
基礎梁 c, d	125・150φ	eFG3, FG4, FG4a eFG5, FG6	550	2,800	H11 H10
基礎梁 e, f	175・200φ	eFG5, FG6	550	2,800	H10
人通孔 h	600φ	eFG3 eFG4, FG4a	550	2,800	H16 H17
人通孔 h	600φ	eFG5	550	2,800	H15

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	配筋図
符号	A	B	C	D	縦筋B・上下鉄筋Dは、あばら筋とする
H1	4x2-D16	2x2-D13	2x2-D13	1x2-D13	
H2	4x2-D19	2x2-D13	2x2-D13	2x2-D13	
H3	4x2-D22	2x3-D13	2x2-D13	2x3-D13	
H5	4x2-D25	2x4-D13	2x2-D13	2x4-D13	
H6	8x2-D25	2x4-D13	2x2-D13	2x4-D13	
H7	8x2-D25	2x5-D13	2x2-D13	2x5-D13	
H10	4x2-D16	2x2-D13	2x2-D13	1x2-D13	
H11	4x2-D19	2x2-D13	2x2-D13	2x2-D13	
H15	4x2-D19	4x2-D13	2x2-D13	4x2-D13	
H16	4x2-D25	4x2-D13	2x2-D13	4x2-D13	
H17	8x2-D25	4x2-D13	2x2-D13	4x2-D13	

実際の施工にあたってはスリーブの位置、径、本数、補強方法について別途設備業者などと事前に入念な打ち合わせをいたうえて、位置を検討し施工に際しては、監督員と協議を行い、承認を得ること。補強方法は計算書を監督員に提出し、承諾を得た上で既成品の使用は可能とする。

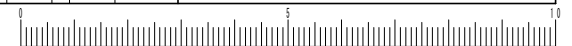


Y1 通り 配筋詳細図 S = 1/50

X13 通り 配筋詳細図 S = 1/50

一級建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一級建築士事務所登録 愛知県 L11627		上郷住宅建築工事 (第1工区)		図面番号 No. S-14
一級建築士登録 307737号 安東 広品		架構配筋図		縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100
概図	設計 H28年3月	愛知県建設部建築局公営住宅課		

一級建築士事務所 匠建設、愛知県知事登録 (L-24) 第11595号
 一級建築士 92468号、構造設計一級建築士 7713号、伊藤 一人



中空スラブ標準仕様書

1. 適用範囲

- 本仕様は鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造の建築物の中空スラブ工法に適用する。
- 本設計図面は鋼製フィンディングパイプ使用（以下パイプ）を前提として設計されたものであり、他のパイプに適用することはできない。
- 各項に対して別図などで詳細指示がある場合は、それに従うこと。

2. 使用部材

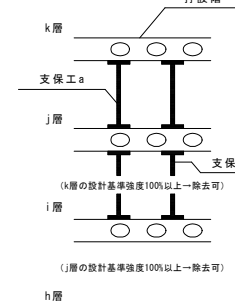
部材名称	材質	規格および材質
パイプ	亜鉛めっき鋼板	JIS-G3302 SGCC(相当品)
		JIS-G3313 SECC(相当品)

3. 中空スラブの施工

中空スラブの施工は下記に示す内容に準ずること。

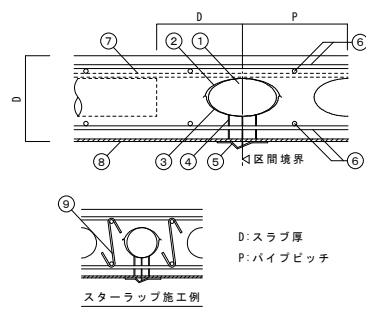
- 日本建築学会「鉄筋コンクリート構造計算規程・同解説」
 - 日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 鉄筋コンクリート工事」
 - (社)公共建築協会「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」
- 監理者の許可無くパイプ割付を変更しないこと。

4. 仮設支保工



- 支保工の盛り替えは、行わないこと。
- 支保工の存置期間は、設計基準強度の100%以上のコンクリートの圧縮強度が得られたことが確認されるまでとするか、構造計算により十分な安全が確認されるまでとする。
(コンクリート打設後、4週以上が望ましい。)
- 多層の場合は、支保工二層分打設層のスラブを受ける様に、打設層スラブ(k層)が上記の(2)を確認出来たうえで、支保工bを除去できる。
(k層の設計基準強度100%以上一層去可)
- スラブ下の支保工を早期取り外しすると、有害なたわみの原因となるので留意すること。
- 上記以外については、JASS5（日本建築学会）に従う。
- 上記記載なき支保工計画については、監理者の承諾を得ること。

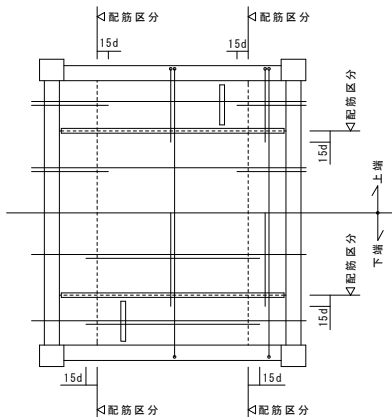
5. 中空スラブ標準構成図



符号	名称
1	パイプ
2	番線
3	受金物
4	受合
5	ウェッジ
6	スラブ筋
7	スペーサー筋
8	型枠
9	スターラップ(巾止め筋)

*左図は構成図例を示す。従って、詳細構成、パイプ寸法、鉄筋かぶり、スペーサー筋有無、スターラップの有無等は、別途スラブリスト、中空スラブ断面図等を参照のこと。

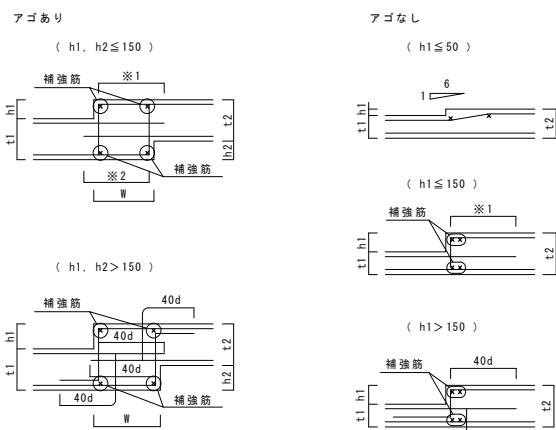
6. 配筋要領図・余長



7. 段差部配筋要領図

コンクリート強度により継手、定着長を変更する場合は、監理者の指示に従うこと。

(a) 相互定着形式



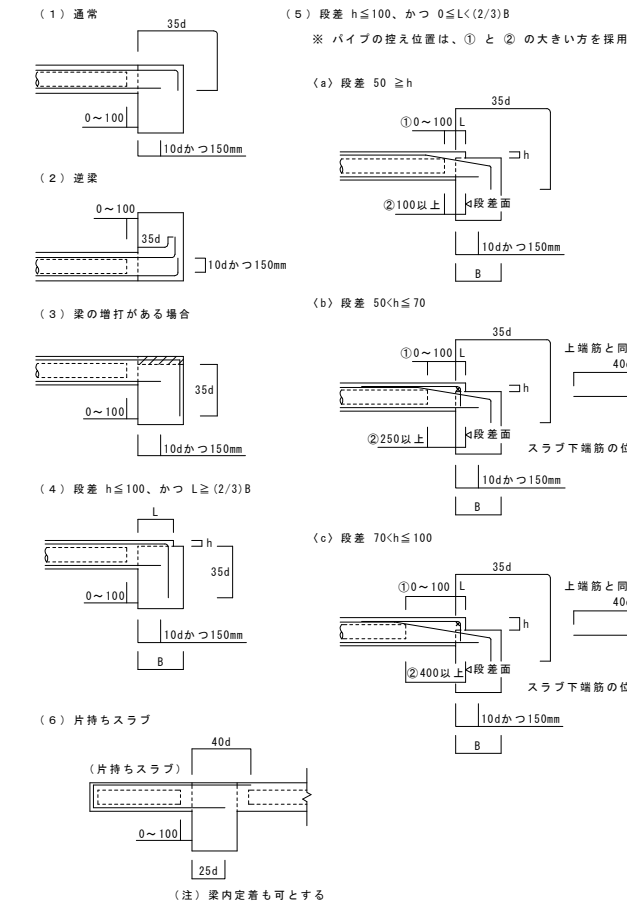
(b) スターラップ形式



- d は鉄筋の呼び径とする。
- 補強筋までは各々のスラブ配筋を行う。
- 定着長さは鉄筋交点からの長さとする。
- *1 印の継手長さは40dかつ5h1以上とする。
- *2 印の継手長さは40dかつ5h2以上とする。
- * W = t2 + h2 を原則とする。
- 各部 h寸法、W寸法は設計図による。

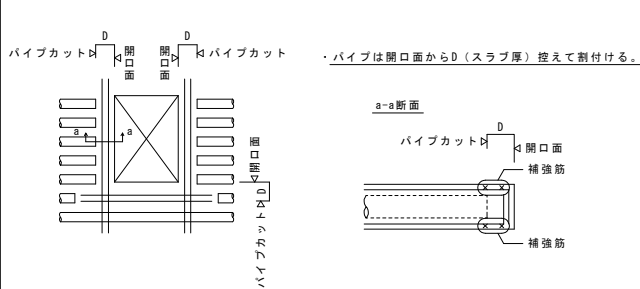
8. 大梁定着配筋要領

コンクリート強度により定着長を変更する場合は、監理者の指示に従うこと。
※ h>100の場合は、監理者の指示に従うこと。

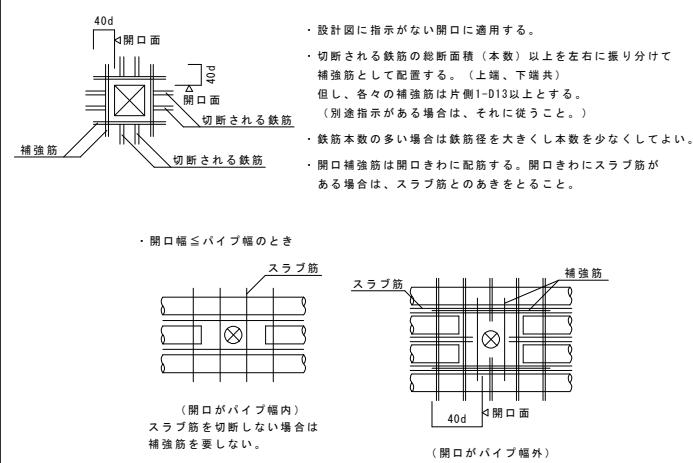


9. 開口割付・補強要領

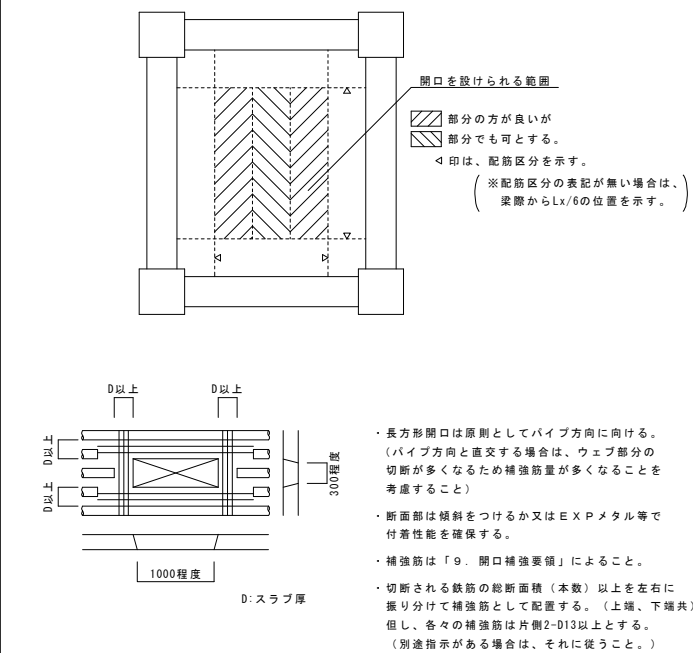
割付要領



補強要領

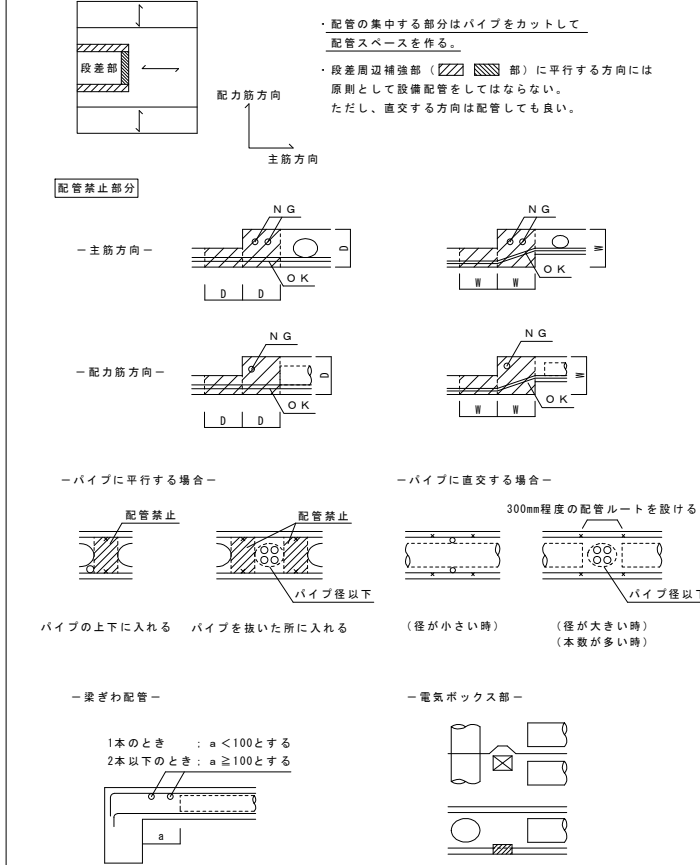


10. 仮設開口



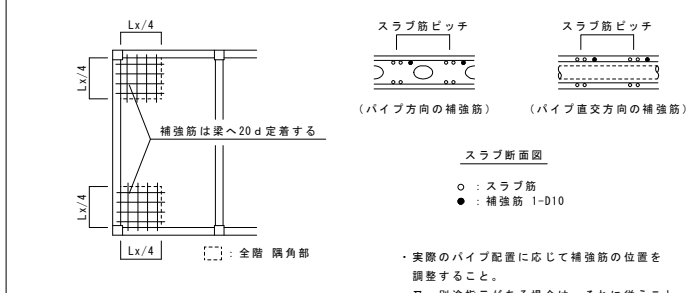
- 長方形開口は原則としてパイプ方向に向ける。
- (パイプ方向と直交する場合は、ウェブ部分の切断が多くなるため補強筋量が多くなることを考慮すること)
- 断面部は傾斜をつけるか又はEXPメタル等で付着性能を確保する。
- 補強筋は「9. 開口補強要領」によること。
- 切断される鉄筋の総断面積(本数)以上を左右に振り分けて補強筋として配置する。(上端、下端共)但し、各々の補強筋は片側2-D13以上とする。(別途指示がある場合は、それに従うこと。)

11. 中空スラブ内設備配管



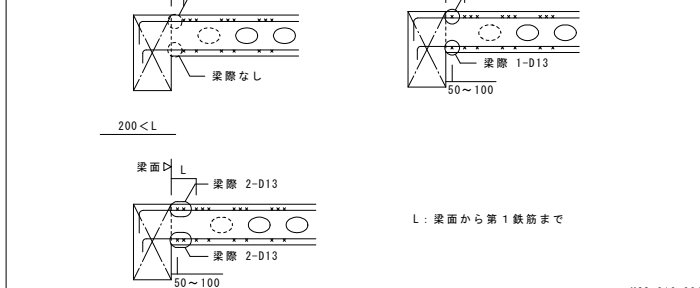
(電気ボックスとスラブ筋が干渉する場合) スラブ筋位置を微調整し切断しないようにするか、切断した場合は切断分を重ね継ぎ手として補強を設けること。但し、監理者の承諾により、1/6勾配にて折り曲げ可とする。

12. 隅角部の補強筋要領

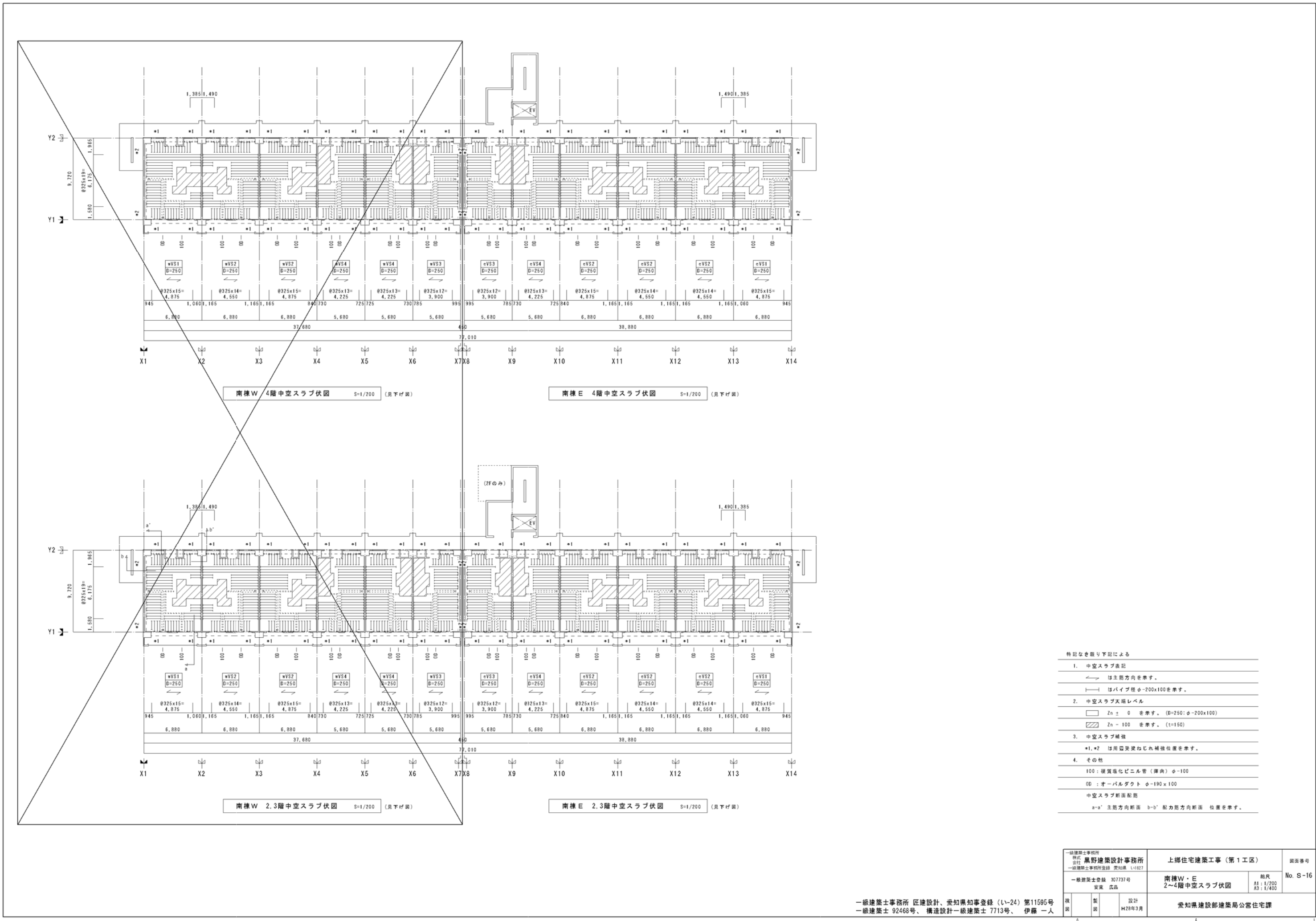


実際のパイプ配置に応じて補強筋の位置を調整すること。又、別途指示がある場合は、それに従うこと。

13. 梁際の中空スラブ配筋要領



一級建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一級建築士事務所登録 愛知県 L11627	上郷住宅建築工事(第1工区) 南棟W・E 中空スラブ標準仕様書	図面番号 No. S-15
一級建築士登録 307737号 安東 広品	縮尺 A1:一 A3:二	
一級建築士事務所 匠設計、愛知県知事登録(い-24)第11595号 一級建築士 92468号、構造設計一級建築士 7713号、伊藤 一人	設計 H28年3月	愛知県建設部建築局公営住宅課



南棟W 4階中空スラブ伏図 S=1/200 (見下付図)

南棟E 4階中空スラブ伏図 S=1/200 (見下付図)

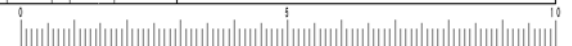
南棟W 2,3階中空スラブ伏図 S=1/200 (見下付図)

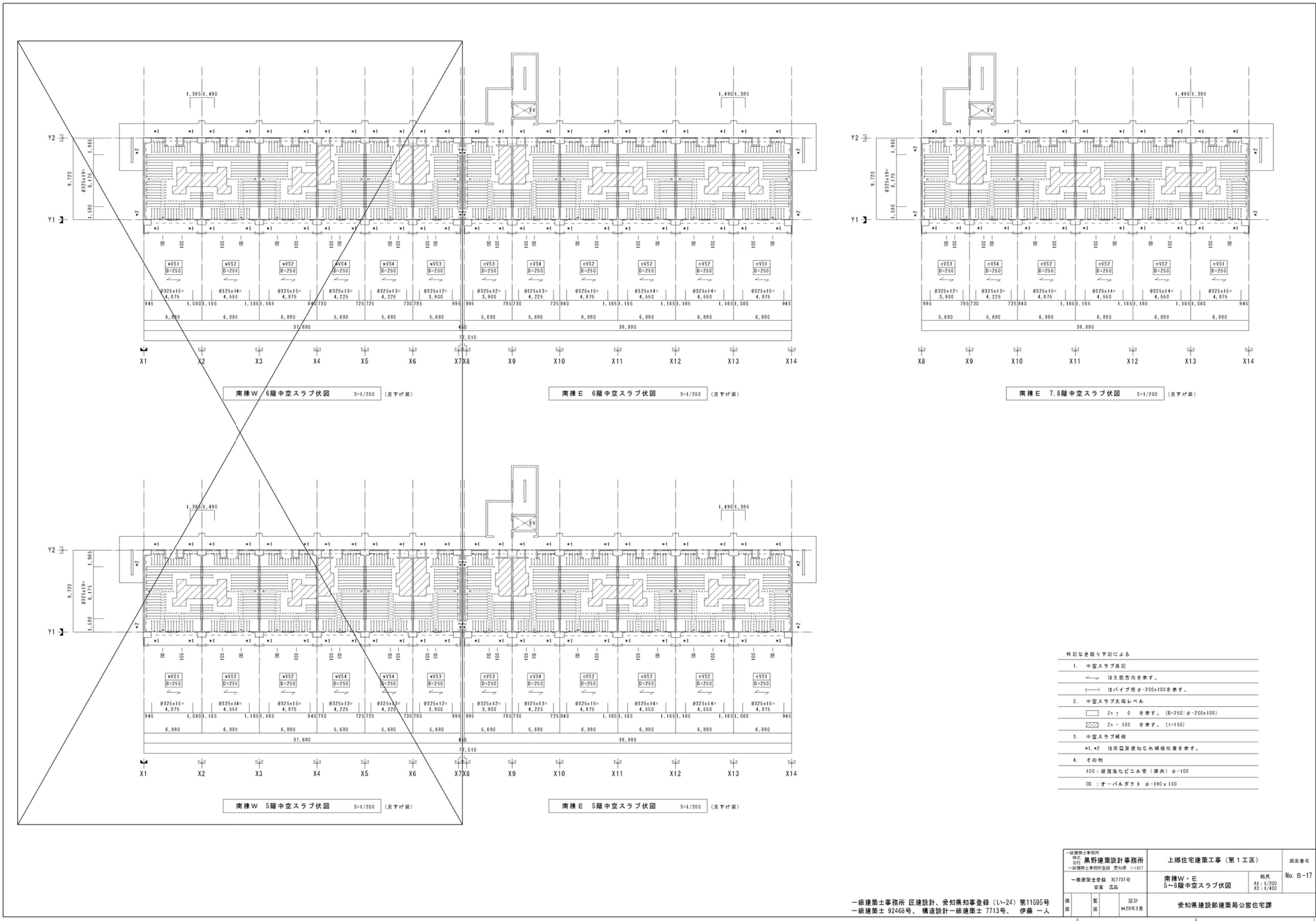
南棟E 2,3階中空スラブ伏図 S=1/200 (見下付図)

- 特記なき限り下記による
- 中空スラブ表記
 - は主筋方向を示す。
 - ← はパイプ径φ-200x100を示す。
 - 中空スラブ天端レベル
 - Zn ± 0 を示す。(D=250:φ-200x100)
 - ▨ Zn - 100 を示す。(t=150)
 - 中空スラブ補強
 - *1, *2 は用器梁架ねじれ補強位置を示す。
 - その他
 - 100 : 硬質塩化ビニル管 (厚肉) φ-100
 - OD : オーバルダクト φ-190x100
 - 中空スラブ断面配筋
 - a-a' : 主筋方向断面 b-b' : 配力筋方向断面 位置を示す。

一級建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一級建築士事務所登録 愛知県 L11627	上郷住宅建築工事 (第1工区) 南棟W・E 2~4階中空スラブ伏図	図面番号 No. S-16 縮尺 A1 : 1/200 A3 : 1/400
一級建築士登録 307737号 安楽 広品	設計 H28年3月	愛知県建設部建築局公営住宅課

一級建築士事務所 匠建設、愛知県知事登録 (い-24) 第11595号
 一級建築士 92468号、構造設計一級建築士 7713号、伊藤 一人





南棟W 6階中空スラブ伏図 S=1/200 (見下付図)

南棟E 6階中空スラブ伏図 S=1/200 (見下付図)

南棟E 7.8階中空スラブ伏図 S=1/200 (見下付図)

南棟W 5階中空スラブ伏図 S=1/200 (見下付図)

南棟E 5階中空スラブ伏図 S=1/200 (見下付図)

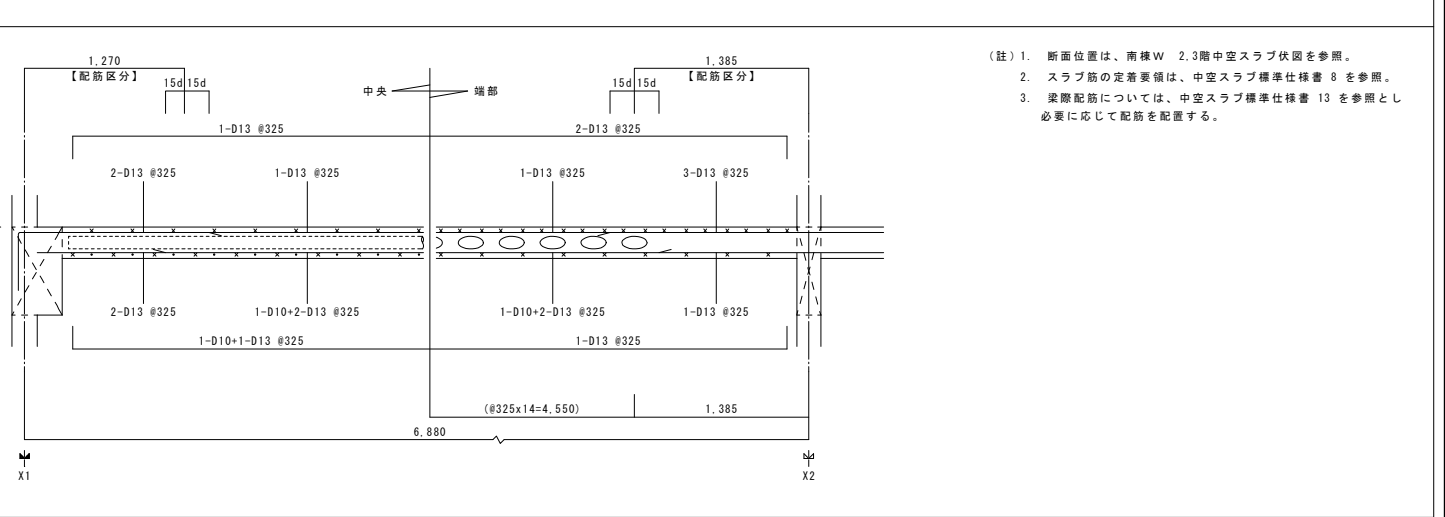
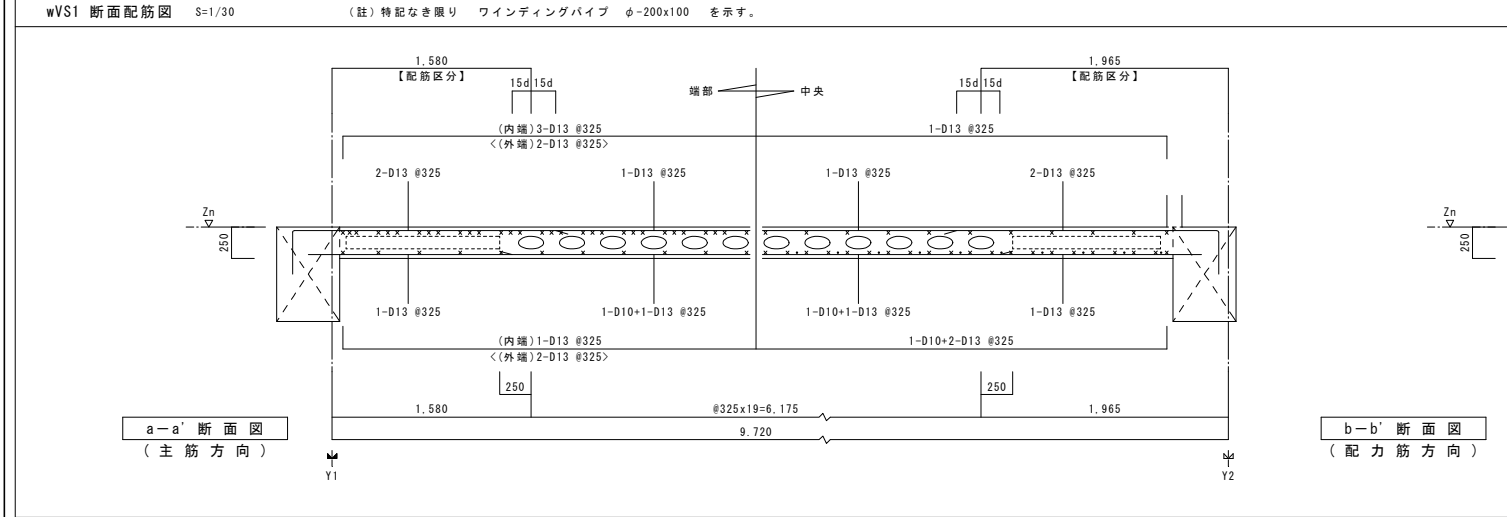
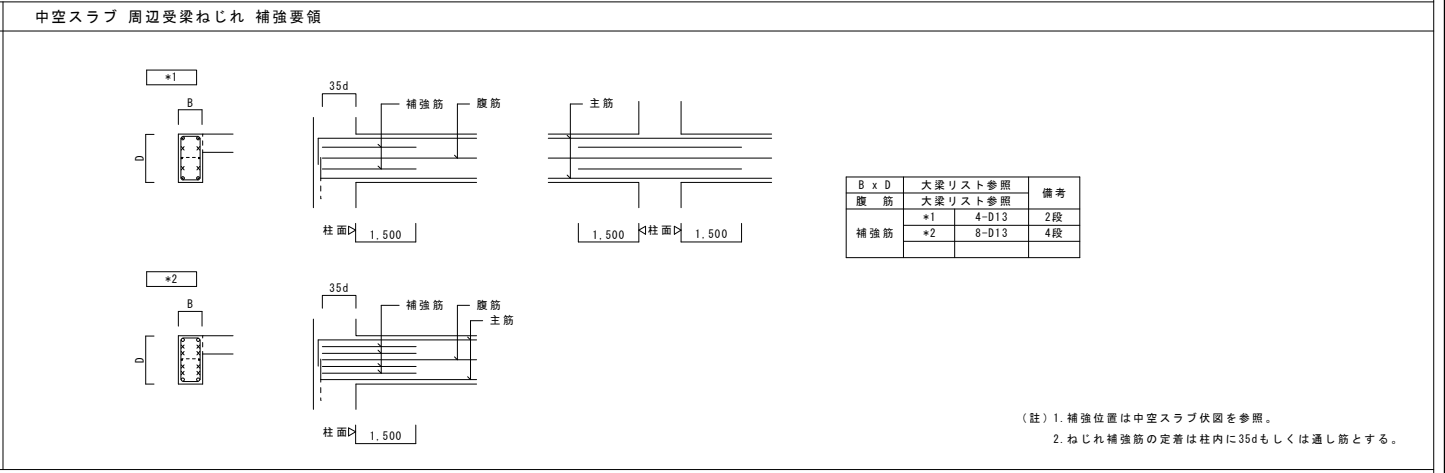
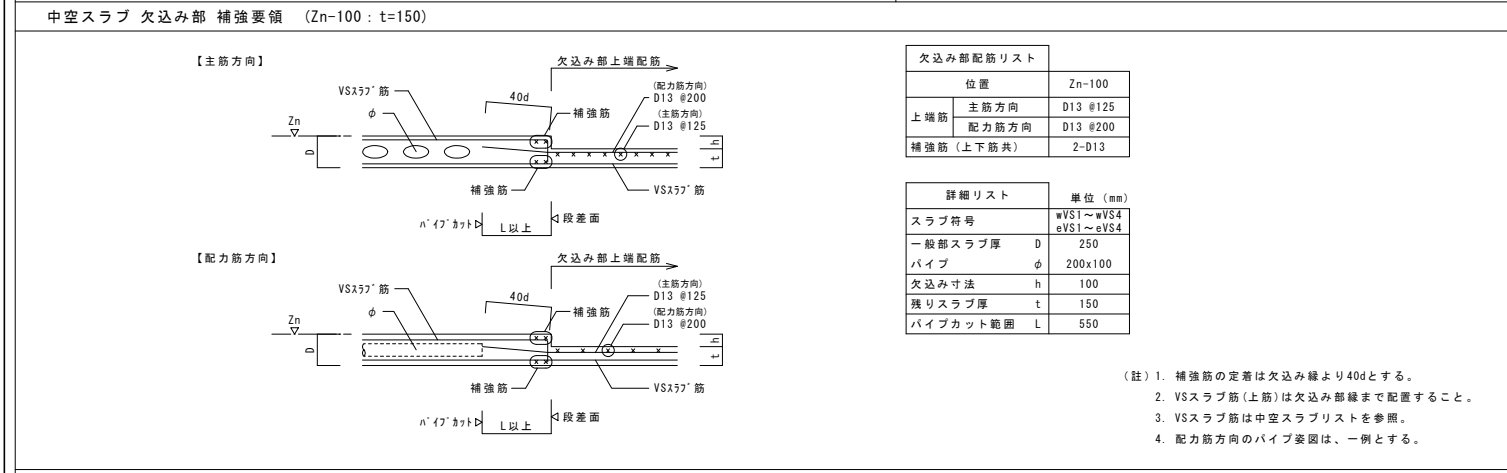
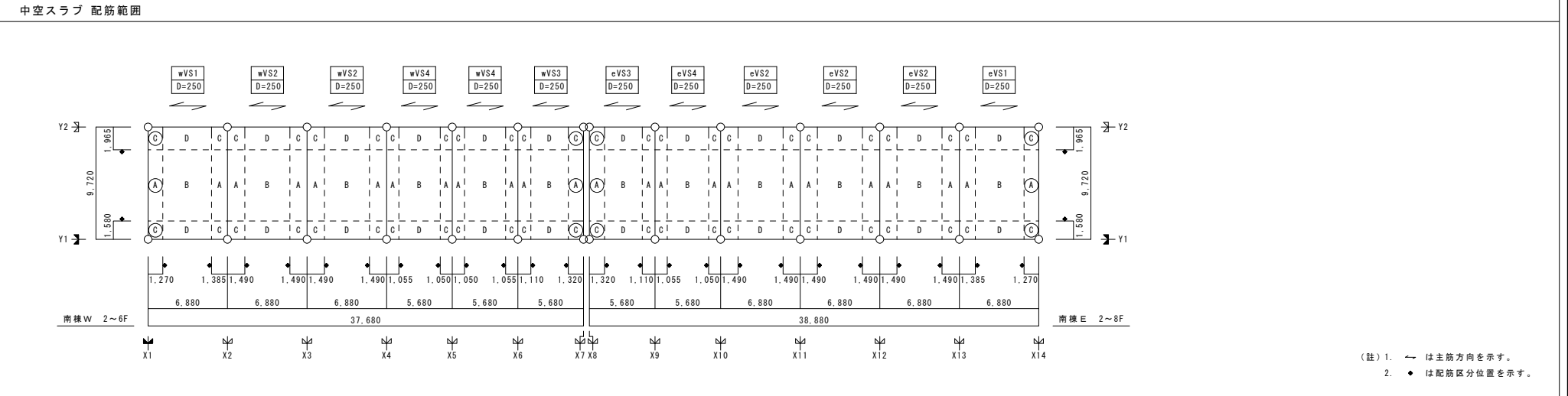
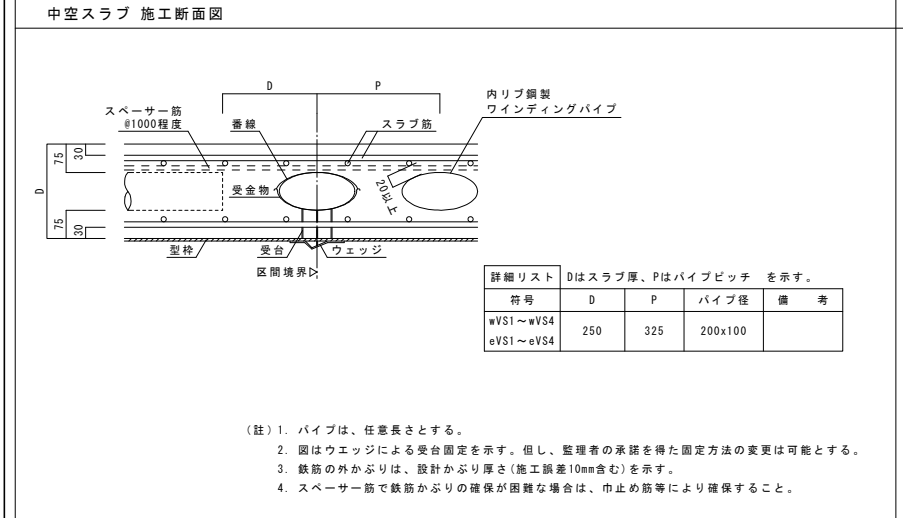
- 特記なき限り下記による
- 中空スラブ表記
 - は主筋方向を示す。
 - ← はパイプ径φ-200x100を示す。
 - 中空スラブ天面レベル
 - Zn ± 0 を示す。(D=250:φ-200x100)
 - ▨ Zn - 100 を示す。(t=150)
 - 中空スラブ補強
 - *1, *2 は用器受架ねじれ補強位置を示す。
 - その他
 - 100 : 硬質塩化ビニル管(厚肉)φ-100
 - OD : オーバルダクトφ-190x100

一級建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一級建築士事務所登録 愛知県 L-1627	上郷住宅建築工事(第1工区) 南棟W・E 5~8階中空スラブ伏図	図面番号 No. S-17 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400
一級建築士登録 307737号 安楽 広品	愛知県建設部建築局公営住宅課	
校 図 製 図 設 計 H28年3月		

一級建築士事務所 匠建設、愛知県知事登録(い-24) 第11595号
 一級建築士 92468号、構造設計一級建築士 7713号、伊藤 一人



中空スラブ リスト S=1/30		(注) 1. スラブ筋の定着要領は、中空スラブ標準仕様書 8 を参照。																										
記号	wVS1, eVS1	wVS2, eVS2								wVS3, eVS3								wVS4, eVS4										
パイプ	φ-200x100 #325	φ-200x100 #325																										
方向	主筋方向				配力筋方向				主筋方向				配力筋方向				主筋方向				配力筋方向							
位置	外端		中央		内端		両端		中央		両端		中央		外端		中央		内端		両端		中央		両端		中央	
断面	(A)	(C)	B	D	A	C	D	(C)	C	B	(A)	A	A	B	A	B	A	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A
上端筋	2-D13	2-D13	1-D13	1-D13	3-D13	3-D13	2-D13	1-D13	3-D13	3-D13	1-D13	1-D13	1-D10+1-D13	1-D13	2-D13	2-D13	1-D13	1-D13	3-D13	3-D13	2-D13	1-D13	3-D13	3-D13	1-D13	1-D13	1-D10+1-D13	1-D13
下端筋	2-D13	2-D13	1-D10+2-D13	1-D10+2-D13	1-D13	1-D13	1-D13	1-D10+1-D13	1-D13	1-D13	2-D13	2-D13	1-D13	1-D10+1-D13	1-D10+1-D13	1-D10+1-D13	2-D10+1-D13	2-D10+1-D13	1-D13	1-D13	1-D13	1-D10+1-D13	1-D13	1-D13	1-D10+1-D13	1-D10+1-D13	1-D13	1-D10+1-D13



項目	特記事項																																																																																																																																																																
【外構工事】	■1章 一般共通事項■																																																																																																																																																																
1.1.1 適用範囲	<p>1. この特記事項以外は下記に準拠する。ただし、本工事に関係のない事項は適用しない。 1) 愛知県財務規則 2) 工事請負契約書 3) 公共住宅事業者等連絡協議会編集 公共住宅建設工事共通仕様書（平成28年度版） 4) 関係法令及び諸工事基準 5) 愛知県建築工事品質管理要領</p> <p>2. 特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のない場合は、※印のついたものを適用する。 ○印と、○で囲まれた※印のある場合は、共に適用する。</p> <p>3. 本工事に使用する資材は、「電気設備工事指定資材」及び「機械設備工事指定資材」による。</p> <p>4. 設計図書は、優先順位は、次の1)から5)までの順番のとおりとする。 1) 質問回答書（2)から5)に対するもの） 2) 現場説明書 3) 特記仕様書 4) 図面 5) 公共住宅建設工事共通仕様書（「機材の品質・性能基準」を含む。）</p>																																																																																																																																																																
1.1.3 官公署等への届出手続等	* 工事の着手、施工、完成に当たり、関係官公署その他の関係組織への必要な届出手続等を遅滞なく行う。																																																																																																																																																																
1.1.4 工事実績情報の登録	* 請負代金額が500万円以上の工事は、(財)日本建設情報総合センター(JACIC)の工事実績情報システム(CORINS)に、工事実績情報の登録を、その内容について監督職員の確認を（JACICの様式「登録のための確認のお願い」に従って）受けた上、行う。（受注時、変更時、竣工時）また、登録後にJACICが発行する「登録内容確認書」を、監督職員へ提出する。																																																																																																																																																																
1.1.7 別契約の関連工事	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="6">工事区分</th> </tr> <tr> <th>建</th> <th>電</th> <th>給</th> <th>ガ</th> <th>外</th> <th>汚</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機 械 用 基 礎</td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>排 水 管 共</td> <td>※</td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>堅 樋 (横 引 き 管 共)</td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>フロアードレイン・ルーフドレイン</td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>照 明 器 具 穴 明 及 び 補 強</td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>化 粧 キ ャ ビ ネ ッ ト</td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク ー ラ ー 用 ス リ ー プ</td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>居 室 ・ 浴 室 ・ 換 気 レ ジ ス タ ー</td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>杭 頭 処 理 及 び 補 強</td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設 備 ス リ ー プ 箱 入</td> <td></td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td></td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>設 備 ス リ ー プ 構 造 体 補 強</td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>設 備 ス リ ー プ 防 水 処 理</td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>水 槽 (高 架 , 受 水) 架 台</td> <td>※</td> <td></td> <td>※</td> <td></td> <td>※</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設 備 関 係 取 合 せ 部 内 装 穴 開</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td></td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>機 械 室 床 の 穴 明 け 及 び 穴 埋 め 工 事</td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>液 面 電 極 棒 フ ロ ー ト ス イ ッ チ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>同 上 用 リ レ ー 及 び 盤</td> <td></td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>水 道 用 集 中 検 診 配 管 配 線</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>同 上 結 線 及 び 調 整</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エレベーター関連工事（建築）*1</td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エレベーター関連工事（建築）*2</td> <td></td> <td>※</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>この項に該当しないもの及び明らかに区分されるものは別途協議する。 *1：昇降路築造工事、各階出入口の穴明けけ工事、乗場関係機器取付後の出入口壁床仕上工事、ピット内防水工事及び排水設備工事のことをいう。 *2：動力用照明用の電源引込み工事及び結線工事昇降路ピット内点検用コンセント設備工事、昇降路の煙感知器設置工事、遠隔監視メンテナンス用電話配管・配線工事のことをいう。</p>	項目	工事区分						建	電	給	ガ	外	汚	機 械 用 基 礎	※					※	排 水 管 共	※	※			※	※	堅 樋 (横 引 き 管 共)	※					※	フロアードレイン・ルーフドレイン	※					※	照 明 器 具 穴 明 及 び 補 強	※						化 粧 キ ャ ビ ネ ッ ト			※				ク ー ラ ー 用 ス リ ー プ	※						居 室 ・ 浴 室 ・ 換 気 レ ジ ス タ ー	※						杭 頭 処 理 及 び 補 強	※						設 備 ス リ ー プ 箱 入		※	※	※		※	設 備 ス リ ー プ 構 造 体 補 強	※					※	設 備 ス リ ー プ 防 水 処 理	※					※	水 槽 (高 架 , 受 水) 架 台	※		※		※		設 備 関 係 取 合 せ 部 内 装 穴 開	※	※	※	※		※	機 械 室 床 の 穴 明 け 及 び 穴 埋 め 工 事	※					※	液 面 電 極 棒 フ ロ ー ト ス イ ッ チ				※			同 上 用 リ レ ー 及 び 盤		※					水 道 用 集 中 検 診 配 管 配 線				※			同 上 結 線 及 び 調 整				※			エレベーター関連工事（建築）*1	※						エレベーター関連工事（建築）*2		※				
項目	工事区分																																																																																																																																																																
	建	電	給	ガ	外	汚																																																																																																																																																											
機 械 用 基 礎	※					※																																																																																																																																																											
排 水 管 共	※	※			※	※																																																																																																																																																											
堅 樋 (横 引 き 管 共)	※					※																																																																																																																																																											
フロアードレイン・ルーフドレイン	※					※																																																																																																																																																											
照 明 器 具 穴 明 及 び 補 強	※																																																																																																																																																																
化 粧 キ ャ ビ ネ ッ ト			※																																																																																																																																																														
ク ー ラ ー 用 ス リ ー プ	※																																																																																																																																																																
居 室 ・ 浴 室 ・ 換 気 レ ジ ス タ ー	※																																																																																																																																																																
杭 頭 処 理 及 び 補 強	※																																																																																																																																																																
設 備 ス リ ー プ 箱 入		※	※	※		※																																																																																																																																																											
設 備 ス リ ー プ 構 造 体 補 強	※					※																																																																																																																																																											
設 備 ス リ ー プ 防 水 処 理	※					※																																																																																																																																																											
水 槽 (高 架 , 受 水) 架 台	※		※		※																																																																																																																																																												
設 備 関 係 取 合 せ 部 内 装 穴 開	※	※	※	※		※																																																																																																																																																											
機 械 室 床 の 穴 明 け 及 び 穴 埋 め 工 事	※					※																																																																																																																																																											
液 面 電 極 棒 フ ロ ー ト ス イ ッ チ				※																																																																																																																																																													
同 上 用 リ レ ー 及 び 盤		※																																																																																																																																																															
水 道 用 集 中 検 診 配 管 配 線				※																																																																																																																																																													
同 上 結 線 及 び 調 整				※																																																																																																																																																													
エレベーター関連工事（建築）*1	※																																																																																																																																																																
エレベーター関連工事（建築）*2		※																																																																																																																																																															
1.1.8 疑義に対する協議等	* 設計図書に関する疑義は、原則として、入札執行前に質問書の提出によって確かめる。 * 設計図書について監督職員と協議を行った結果、設計図書の訂正又は変更を行う場合の措置は、契約書の規定によるほか「愛知県建設部設計変更事務取扱要領」（平成28年4月1日改正）に定めるところによる。 (http://www.pref.aichi.jp/kensetsu-kikaku/gijyutsu/H28sekkeihenkouyouryou.pdf)																																																																																																																																																																
<工事関係図書>																																																																																																																																																																	
1.2.1 実施工程表	* 概成工期： ・有（ 年 月 日） ※ 無																																																																																																																																																																
1.2.4 工事の記録	<p>A. 本工事は電子納品の対象工事とする。</p> <p>B. 対象となる成果品の作成については、「愛知県電子納品運用ガイドライン(案)」及び「愛知県デジタル写真管理情報基準(案)」(http://www.pref.aichi.jp/site/cals/densinohin.htmlを参照)に基づく。ただし、電子納品チェックリストについては、他の書類と同様の内容を記載した場合、省略できるものとする。</p> <p>C. 成果品の提出部数については、電子媒体（CD-R又はDVD-R）2部とする。</p> <p>D. 受注者は、電子納品に必要なハード及びソフト環境の整備を行なう。また、受注者は、検査時（中間検査、完了検査）に写真情報の閲覧機器を準備する。</p> <p>E. その他、電子納品に関する詳細な取扱いについては、発注者、受注者協議の上、決定する。</p> <p>F. 工事写真の撮影時期、内容、枚数等は下記のとおりとする。 1) 着工前：工事に先立ち、敷地及び周辺の道路、建築物、工作物の現況を撮影する。 2) 工事中：①黒板（白板）に所定事項を明記し、工事の進捗状況を撮影記録すると共に、特に施工後隠べい又は埋設される部分は、被写体に幅広テープを添えて撮影する。 記載事項：件名（工事名）、名称（工程）、位置、工程、備考、撮影年月日 ②監督職員の指示により、適宜提出する。 3) 竣工時：カラーで撮影し、箇所、枚数は監督職員指示による。 ※ デジタルカメラの撮影素子の有効画素数は100万画素を標準とする。</p>																																																																																																																																																																
<工事現場管理>																																																																																																																																																																	
1.3.1 施工管理	* 主任技術者・監理技術者の設置その他の主任技術者・監理技術者に関する制度の運用については、「監理技術者制度運用マニュアル」（平成28年12月19日付け国土建第352号国土交通省土地・建設産業局建設業課長通知）によるものとする。																																																																																																																																																																
1.3.3 電気保安技術者	* 電気保安技術者： ・適用する ※適用しない																																																																																																																																																																

項目	特記事項									
1.3.5 施工条件	<p>* 施工時間 時間制限： ・無 ※有（ 午前8時から午後5時 ） * 部位別の施工順序： ※無 ○有（ 図面による ） * 工事車両の駐車場所 駐車制限： ※有（ 図面による ） ・無 * 資機材置場所 置場制限： ※有（ 図面による ） ・無 * その他：（ ）</p>									
1.3.11 発生材の処理等	<p>* 大気汚染防止法に基づき、適正に対応すること。 * 発注者に引渡しを要するもの：PCBを使用している機器材料 特別管理産業廃棄物： ・有（処理方法： ） ※ 無 現場において再利用を図るもの： * 引渡しを要するものは、監督職員の指示する場所に整理し、リスト表を作成し、監督職員に引渡す。 * 引渡しを要しないものは、すべて場外に搬出し、関係法規に従い適正に処理する。 * PCBを使用している機器材料は、適切な容器に収めた上で引渡しを要する。撤去した機器のメーカー名・型番・製造年月日を記載したリストを作成して発注者へ提出する。 * 次の物品はPCBの混入が疑われるため、専門の分析機関に依頼し、その有無を確認する。 昭和47年以前の建築物：ポリサルファイド（チオコール）系コーキング 平成元年以前の製造機器：蛍光灯安定器、コンデンサ、リアクトル、コンデンサ用放電コイル、 変圧器、 （絶縁油中の濃度0.5mg/kg以下のものは対象外） 上記以外においても、PCB混入の恐れがある場合は、監督職員と協議の上、確認すること。</p>									
引渡し等	<p>1. 解体材、発生材等の処理については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」及び「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」、その他、関係法令の規定を遵守し、「愛知県建設副産物リサイクルガイドライン実施要綱」（以下「リサイクルガイドライン」という。http://www.pref.aichi.jp/kensetsu-kikaku/recycle/recycle.htmlを参照。）に基づき適正に行う。 2. 施工計画書に添えて(工事完了時に)、「リサイクルガイドライン」により次の計画書(実施書)を監督職員に提出する。なお、1)と2)の実施書については電子データを提出する。 1)再生資源利用計画書(実施書)(CREDAS打ち出し様式1) 2)再生資源利用促進計画書(実施書)(CREDAS打ち出し様式2) 3.建設リサイクル法第9条第1項の対象建設工事に該当する工事は、再資源化等が完了したとき、同法第18条第1項に基づく報告として、監督職員に「再資源化等報告書」を提出すること。 4.マニフェスト集計表を作成し、監督職員に提出する。また、マニフェスト伝票は整理して保管し、必要に応じて検査員等に提示する。マニフェスト集計表は任意様式とし、交付した全てのマニフェストについて、交付年月日、交付番号、車両ナンバー、廃棄物の内訳(tまたはm)、マニフェスト返却日(B2票、D票、E票)が記載され、受注者の社印を押したものとする。 5.本工事で発生する産業廃棄物のうち、愛知県内の最終処分場に搬入する産業廃棄物については、愛知県産業廃棄物税が課税されるので適正に取り扱うこと。 * 工事に伴い発生する建設廃棄物のうち、次のものは適正に再資源化施設へ搬出する。 ※コンクリート塊 ※アスファルトコンクリート塊 ※建設発生木材 ・その他（ ）</p>									
建設副産物	<p>* 以下の資料は次のHPから入手することができます。 ・愛知県建設副産物リサイクルガイドライン実施要綱、様式 http://www.pref.aichi.jp/kensetsu-kikaku/recycle/recycle.html、CREDAS打ち出し様式 http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/fukusanbutsu/credas/、愛知県あいくる材率先利用方針、あいくる材認定資材一覧 http://www.pref.aichi.jp/kensetsu-kikaku/gijyutsu/kentiku-tebiki290401.pdf、再資源化等報告書 http://www.pref.aichi.jp/kensetsu-kikaku/recycle/recycle_yoshiki.html</p>									
再資源化	<p>* 「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」（平成27年4月1日施行）に基づいて行うこと。 * 分別収集は、「リサイクルガイドライン」別表3の区分により実施する。 * 非飛散アスベスト処分 * 非飛散アスベスト建材の処分方法： ・指定しない ※指定する（処分方法： ）</p>									
<材 料>										
1.4.1 環境への配慮	* 「愛知県環境物品等調達方針」（http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/000009402.htmlを参照）別記2(24)に掲げられた一般資材、建設機械等の選定に当たっては、事業ごとの特性、必要とされる強度や耐久性、機能の確保、コスト等に留意しつつ、品目ごとの判断の基準を満足するものを使用するものとする。									
1.4.2 材料の品質等	* 本工事に使用する資材等は、品質が規格値を満足し、かつ価格が適正である場合には、県内産の優先使用に努めるものとする。									
再生資源の利用	<p>* リサイクル資材の率先利用を図るため、「愛知県あいくる材率先利用方針」（http://www.pref.aichi.jp/kensetsu-kikaku/recycle/H26yoryokaisei/H26sossennriyou.pdfを参照）を遵守し、あいくる材として認定されている資材の利用に努める。 * 「愛知県あいくる材率先利用方針」第3のAAグループ及びAグループの認定資材を優先的に使用する。あいくる材の指定があるものについて、それ以外のものを使用する場合は、監督職員の承諾を要する。 * 工事完了時に、あいくる材の使用実績を「リサイクルガイドライン」に定める次の様式に記入し、電子データを監督職員に提出する。 1) あいくる材使用状況報告書（様式8） 2) あいくる材使用実績集約表（様式9） * あいくる材認定資材一覧、愛知県あいくる材率先利用方針、その他提出書類の様式等の資料は次のHPから入手することができます。 http://www.pref.aichi.jp/kensetsu-kikaku/recycle/shizai.html</p>									
<完成図等>										
1.7.2 完成図	<p>A. 完成図の種類は次のとおりとし、工事完了前に、A1判又はA2判で作成し、監督職員に提出する。 1) 配置図 2) 平面図・求積図 3) その他〔 〕 B. 次の図面を監督職員の指示によりマイクロフィルム作成を行うと共に、第二原因（PPC用ポリエステルサンド和紙 同等品）A3版を作成し、監督職員に提出する。 1) 設計図（変更設計図を含む） 2) 完成図 C. 完成図のCADデータ ※提出する（ ・愛知県電子納品運用ガイドライン（案）に基づく ※監督職員との協議による） ・提出しない</p>									
1.7.3 保全に関する資料	* 保守指導書（共用部分）： ※提出する ・提出しない									
■その他■										
	<table border="1"> <tr> <td>一級建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一級建築士事務所登録 愛知県 い1627</td> <td>上郷住宅建築工事（第1工区）</td> <td>図面番号</td> </tr> <tr> <td>一級建築士登録番号 307737号 建築士氏名 安東 広晶 印</td> <td>縮尺 —</td> <td>No. EX-A</td> </tr> <tr> <td>検 図</td> <td>製 図</td> <td>設 計 H28年3月</td> </tr> </table>	一級建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一級建築士事務所登録 愛知県 い1627	上郷住宅建築工事（第1工区）	図面番号	一級建築士登録番号 307737号 建築士氏名 安東 広晶 印	縮尺 —	No. EX-A	検 図	製 図	設 計 H28年3月
一級建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一級建築士事務所登録 愛知県 い1627	上郷住宅建築工事（第1工区）	図面番号								
一級建築士登録番号 307737号 建築士氏名 安東 広晶 印	縮尺 —	No. EX-A								
検 図	製 図	設 計 H28年3月								
	愛知県建設部建築局公営住宅課									

特記仕様書	項目	特記事項
	提出書類	* 次の書類を監督職員に提出する。 1) 使用資材（機材）一覧 2) 建築工事事務の手引等によるもの
	火災保険等	* 保険の期間は、工事の目的物の引渡し日までとする。（特に定めのない限り契約上の完成期日経過後14日間とする。）保険の種類は「愛知県建築工事に係る火災保険等の加入方法」により、保険金受取人（被保険者）は受注者とする。
	常備図書	* 工事現場には次の図書を常備する。 公共住宅建設工事共通仕様書〔平成28年度版〕（「機材の品質・性能基準」を含む。）
	建設業退職金共済制度	* この制度の趣旨に該当しない場合は、その旨を監督職員に文書により通知し承諾を得て、建設業共済組合への加入及び掛金収納書の提出を省くことができる。
	施工体系図の掲示	* 下請契約を締結する場合においては、下請金額に関わらず施工体系図を作成し、工事現場の工事関係者及び公衆が見やすい場所（仮囲いなど）に掲示する。
	各種調査への協力	* 本工事が、公共事業労務調査、共通費実態調査等の対象工事となった場合は必要な協力をする事。 * 本工事における木材利用状況に関する調査に協力すること。
	工事中の安全管理	* 工事中の建築物その他工作物又は施設については、東海地震注意情報が発表された場合、安全対策を講じた上で、原則として工事を中止する。
	工事コスト調査の協力	* 本工事が低入札価格調査制度の調査対象工事となった場合は、工事完了時に県が行なう工事コスト調査に協力しなければならない。なお、コスト調査における作業内容等については別途、監督職員の指示による。また、本工事の一部を下請けする場合は、下請負者についても工事コスト調査等の協力を得ること。
	光熱水費	* 施設管理開始までの電気、水道、ガス等の料金（基本料金を含む）は、協議の上、各工事受注者が負担する。
	特定住宅瑕疵担保責任	* 「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保に関する法律」に基づく、保険への加入又は保証金の供託： ・要する ※要しない
	工程表・工事費内訳明細書	* 愛知県公共工事請負契約約款第3条第1項に規定する工事費内訳明細書及び工程表は、発注者から請求があった時に提出すること。
	騒音・振動対策	* 「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針（建設大臣官房技術審議官通達）」及び関連法規の規定を厳守し施工する。また、騒音規制法、振動規制法の規制の対象となる作業（特定建設作業）及び下記に指定した建設機械については、「低騒音型、低振動型建設機械の指定に関する規程」（建設大臣告示）により指定された建設機械を使用する。 作業名： 建設機械名： 作業名： 建設機械名：
	排出ガス対策型建設機械	* 排出ガス対策型建設機械の適用： ※ 有り ・ なし （対象機種：バックホウ、車輪式トラクターショベル、ブルドーザー、発動発電機、空気圧縮機、油圧ユニット、ローラー類、ホイールクレーン（いずれもディーゼルエンジン出力7.5～260KW）） （対象規制値：排出ガス対策型建設機械指定要領（国土交通省総合政策局）の別表1（1次基準値））
	貨物自動車等の車種規制	* 貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制等に関する要綱 (http://www.pref.aichi.jp/kankyo/taiki-ka/car/yoko/)
	特定特殊自動車の燃料	* 工事場所が「自動車NOx・PM法」の規制対象地域内においては、「貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制等に関する要綱」（愛知県）に基づき、対象地域外からの流入車も含め、車種規制非適合車の使用抑制に努めるものとする。 * 受注者は、軽油を燃料とする特定特殊自動車の使用にあたって、燃料を購入して使用するときは、当該特定特殊自動車の製作等に関する事業者または団体が推奨する軽油（ガソリンスタンド等で販売されている軽油をいう）を選択しなければならない。また、監督職員から特定特殊自動車に使用した燃料の購入伝票を求められた場合、提示しなければならない。なお、軽油を燃料とする特定特殊自動車の使用にあたっては、下請負者等に関係法令等を遵守させるものとする。
	工事の下請負	* 受注者は、下請負に付する場合には、次の各号に掲げる要件をすべて満たさなければならない。 1) 受注者が、工事の施工につき総合的に企画、指導及び調整するものであること。 2) 下請負者は、当該下請負工事の施工能力を有すること。 3) 下請負者は、建設業法に基づく営業停止の期間中でないこと。 4) 下請負者が愛知県の競争入札参加資格者である場合には、愛知県建設工事等指名停止取扱要領に基づく指名停止期間中でないこと。 5) 下請負者は、「愛知県が行う調達契約からの暴力団排除に関する事務取扱要領」に掲げる排除措置の措置要件に該当しない者であること。
	施工体制	* 施工体制については「施工体制の適正化に向けての現場点検の手引き（案）」によること。 * 建設業法第24条の7第1項の規定により作成した施工体制台帳（同項の規定により記載すべきものとされた事項に変更が生じたことに伴い新たに作成されたものを含む。）の写しを監督職員に提出すること。 （公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律第15条）
	現場代理人 事故報告	* 現場代理人においては、受注者との直接的な雇用関係があること。 * 工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通報するとともに、事故発生報告書を監督職員に速やかに提出すること。
	<縄張り、遣方、足場その他> 2.2.4 足場その他	■2章 仮設工事■ * この節は、公共住宅建設工事共通仕様書(建築編)2章「仮設工事」による。 * 定置する足場、栈橋、リフト等の設置：○建築工事 ・本工事 ・別契約工事 足場：（幅：・0.9 ※1.2 m）手すり先行工法 * 工事で設置する足場については、「公共住宅建設工事共通仕様書(建築編)」の「2.2.4足場その他」の(b)の規定のほか、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年4月）により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 * 屋根面からの墜落事故防止対策として、必要に応じて、JIS A8971(屋根工事用足場及び施工方法)に基づき、建方作業台、渡り廊下、墜落防護さく等を設置する。 * 仮囲い： ※設置する ・設置しない 仮囲いの構造 ○※成型鋼板(H=3.0m) ○波型カラー鉄板(H=1.8m) 仮囲いの位置： 図面による * 工事用道路、工事用水、排水及び特殊仮設：
	<仮設物> 2.3.1 監督職員事務所等	A. 監督職員事務所 * 監督職員事務所： ・設ける ※設けない * 規模： ・10 ※20 ・35 ・65 ・100 m ² 程度 * 標準仕上げ 1) 床： 合板張り又はビニル床シート張り 2) 壁、天井： 合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョインペイント塗り * 設備、備品等 監督職員の指示を受け、電灯、給排水その他の設備を設け、必要に応じて次の備品を置く。 1) 標準備品： 机、いす、書棚、行事予定表、ゴム長靴、雨合羽、保護帽、懐中電灯、寒暖計、安全帯、衣類ロッカー、受注者加入の電話子機、冷暖房機器、消火器、湯沸器、掃除具

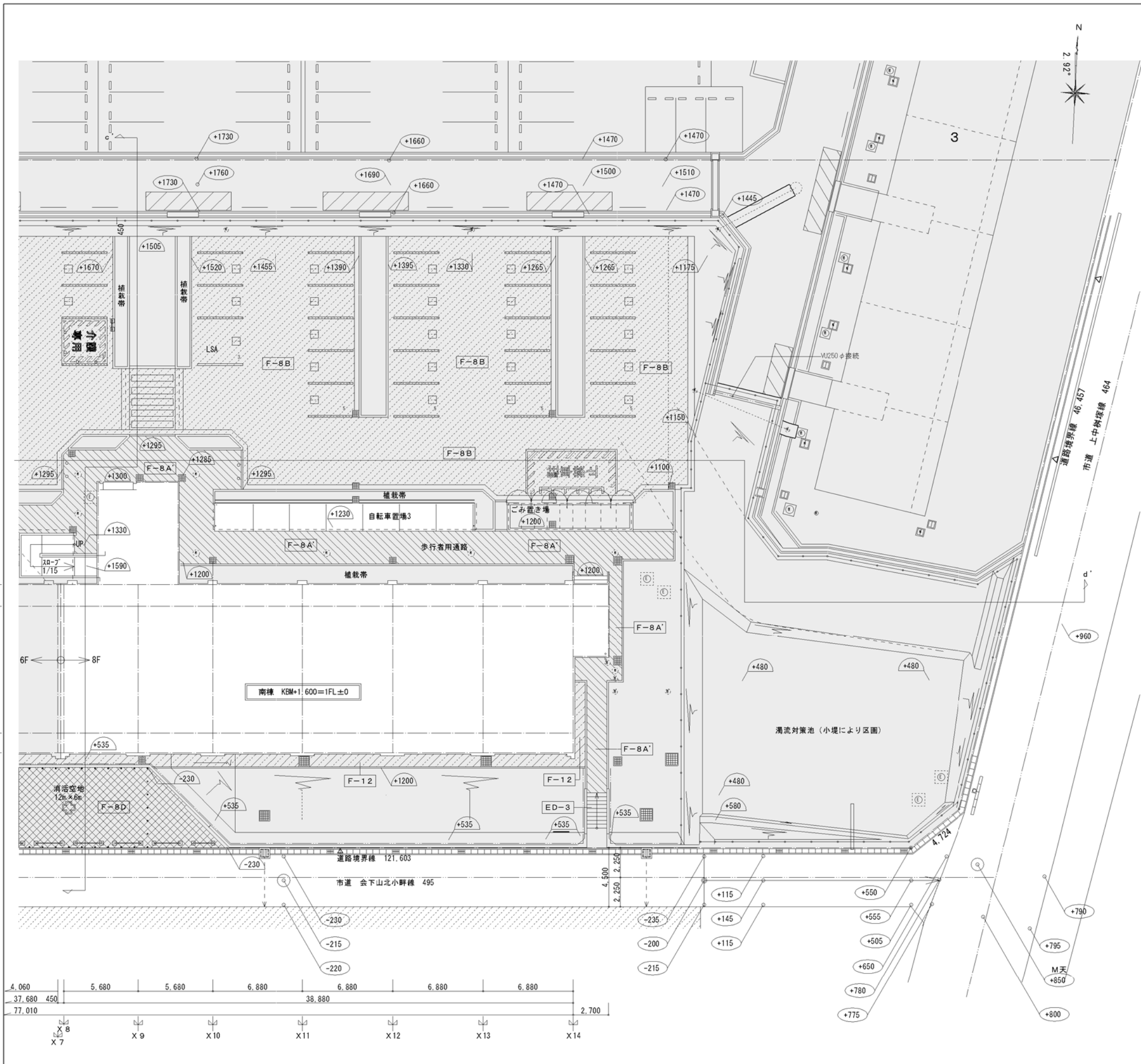
項目	特記事項												
建設現場標識の設置	2) 選択備品： ・パソコン ・プリンター ・FAX ・複写機 ・インターネット設備 * 監督職員事務所の電気、水道、ガス及び電話の使用料並びに便所の清掃料などは受注者の負担とする。 B. 受注者事務所その他 * 建設に係る区域内に、受注者の仮設事務所、現場作業所及び仮設便所等を設置できる。設置する場所は、仮設建物の位置、規模及び設置期間について仮設計画図に記入の上、事前に監督職員の承諾を受ける。 * 工事PR看板（愛知県建設部「PR看板設置要綱」による）： ・設置する ※設置しない * 設置にあたっては「公営住宅建設工事に係るPR看板設置について」により、設置状況について報告書を監督職員に提出する。 * 建設現場標識： ※設ける ・設けない ・他工事と共同設置 《建設現場標識 例》 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>工事名</td> <td>○○住宅建築工事(第○工区) ○○住宅電気工事(第○工区) …………… ……………</td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td>平成○年○月○日から 平成○年○月○日まで</td> </tr> <tr> <td>発注者</td> <td>愛知県建設部建築局公営住宅課</td> </tr> <tr> <td>工事監理者</td> <td>○○○○○</td> </tr> <tr> <td>工事施工者</td> <td>○○建設株式会社 ○○設備株式会社 …………… ……………</td> </tr> </table>	工事名	○○住宅建築工事(第○工区) ○○住宅電気工事(第○工区) …………… ……………	工期	平成○年○月○日から 平成○年○月○日まで	発注者	愛知県建設部建築局公営住宅課	工事監理者	○○○○○	工事施工者	○○建設株式会社 ○○設備株式会社 …………… ……………		
工事名	○○住宅建築工事(第○工区) ○○住宅電気工事(第○工区) …………… ……………												
工期	平成○年○月○日から 平成○年○月○日まで												
発注者	愛知県建設部建築局公営住宅課												
工事監理者	○○○○○												
工事施工者	○○建設株式会社 ○○設備株式会社 …………… ……………												
<根切り及び埋め戻し等> 3.2.3 埋戻し及び盛土	■建築編 3章 土 工 事■ * 埋め戻し及び盛土： ※発生土の中の良質土 ・山砂 * 建設発生土の利用指定： ※無 ・有（ ）からの建設発生土を利用する												
3.2.5 建設発生土の処理	・構内処理 ※構外搬出（処分地の指定：※無（自由処分） ・有〔 〕に搬出し、利用する） * 処分にあたっては「リサイクルガイドライン」に基づき、適正に処理する。												
<材 料> 5.2.1 鉄筋	■建築編 5章 鉄 筋 工 事■ * 異形鉄筋棒鋼の種類： ※SD295A (D16以下) ※ SD345 (D19～D25) ※SD390 (D29以上) * 高強度せん断補強筋の種類、使用部位及び加工： 図面による												
5.2.2 溶接金網 <加工及び組立>	* 網目の形状、寸法及び鉄線の径： 図面による * 加工及び組立ては、公共住宅標準詳細設計図集及び(社)日本建築学会(JASS5)による。												
5.3.2 加 工	* 90°未満の折曲げ内径直径：												
5.3.4 継手及び定着	* 鉄筋継手： ※ 重ね継手 (D16以下) ※ガス圧接継手 (D19以上) ・機械式継手又は溶接継手 * 鉄筋の定着方法： ※折り曲げ定着方法 ※図面による ・機械式定着 ・（ ） * 加工及び組立ては、公共住宅標準詳細設計図集及び(社)日本建築学会(JASS5)による。												
5.3.5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	* 土に接する部分の軽量コンクリートのかぶり厚さ： * 耐久性上不利な箇所（塩害の受けるおそれのある部分等）のかぶり厚さ： * 機械式継手及び溶接継手の場合のあき：												
<ガ ス 圧 接> 5.4.9 圧接完了後の試験	* 抜取試験： ・超音波探傷試験 ※引張試験												
<一 般 事 項> 6.1.2 基本要品品質	■建築編 6章 コンクリート工事■ 受注者は、レディーミクストコンクリートを用いる場合の工場選定は以下による。 (1) J I Sマーク表示認証製品を製造している工場（工業標準化法の一部を改正する法律（平成16年6月9日 公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により製品に J I S マーク表示する認証を受けた製品を製造している工場）で、かつ、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者（コンクリート主任技士等）が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる、全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場（以下「◎マークを取得した工場」という。）から選定し、JIS A 5308 (レディーミクストコンクリート) に適合するものを用いなければならない。 (2) J I Sマーク表示認証製品を製造し、◎マークを取得した工場が工事現場近くに見当たらない場合は、使用する工場について、設計図書に指定したコンクリートの品質が得られることを確かめたうえ、その資料により監督職員の確認を得なければならない。なお、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者（コンクリート主任技士等）が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場から選定しなければならない。												
<コンクリートの種類及び品質> 6.2.1 コンクリートの種類	* 気乾単位容積質量による種類： ※普通コンクリート ・軽量コンクリート * 適用箇所及び施工時期： ※図面及び監督職員と協議による * 国土交通大臣認定コンクリート（建築基準法第37条第2号）：												
6.2.2 コンクリートの強度	*設計基準強度 (Fc)： ・普通コンクリート（ ）N/mm ² ・軽量コンクリート（ ）N/mm ² ・図面による												
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2">一級建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一級建築士事務所登録 愛知県 い1627</td> <td>上郷住宅建築工事（第1工区）</td> <td>図面番号</td> </tr> <tr> <td colspan="2">一級建築士登録番号 307737号 建築士氏名 安東 広晶 印</td> <td>縮尺 —</td> <td>No. E X - B</td> </tr> <tr> <td>検 図</td> <td>製 図</td> <td>設 計 H28年3月</td> <td>愛知県建設部建築局公営住宅課</td> </tr> </table>	一級建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一級建築士事務所登録 愛知県 い1627		上郷住宅建築工事（第1工区）	図面番号	一級建築士登録番号 307737号 建築士氏名 安東 広晶 印		縮尺 —	No. E X - B	検 図	製 図	設 計 H28年3月	愛知県建設部建築局公営住宅課
一級建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一級建築士事務所登録 愛知県 い1627		上郷住宅建築工事（第1工区）	図面番号										
一級建築士登録番号 307737号 建築士氏名 安東 広晶 印		縮尺 —	No. E X - B										
検 図	製 図	設 計 H28年3月	愛知県建設部建築局公営住宅課										

項目	特記事項
6.2.4 カービリティ及スラブ	* コンクリートの荷卸し地点によるスラブ： ※表6.2.2による ・（ ）
6.2.5 構造体コンクリートの仕上 <コンクリートの材料及び調査>	* 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げの種別： ・A種 ※B種 ・C種 [表6.2.4]
6.3.1 コンクリートの材料	* 骨材の使用 フェロニッケルスラグ細骨材： ・有り ※なし 銅スラグ細骨材： ・有り ※なし 電気炉酸化スラグ骨材： ・有り ※なし 再生骨材H： ・有り ※なし * 混和材料 ※適用する（種類： ・A E剤 ※A E減水剤 ・高性能A E減水剤） ・適用しない * セメントの種類： ・普通ポルトランドセメント ※高炉セメント(B種) ・高炉セメントA種 ・シリカセメントA種 ・フライアッシュセメントA種 * 適用箇所 高炉セメントB種： （すべて） フライアッシュセメントB種： （ ） * 骨材の使用 フェロニッケルスラグ細骨材： ・使用する ※使用しない 銅スラグ細骨材： ・使用する ※使用しない 電気炉酸化スラグ骨材： ・使用する ※使用しない 再生骨材H： ・使用する ※使用しない * 砕石、砕砂、細骨材、骨材のアルカリシリカ反応性による区分： ※A ・B * 混和材 種類： ・フライッシュ(I種) ・フライッシュ(II種) ・フライッシュ(IV種) ・高炉スラグ微粉末 ・シカフーム ・膨張剤
6.3.2 コンクリートの調査 <レディミクストコンクリートの発注等>	* 6.3.2(2)(vi)①～③以外の混和材料： 種類（ ） 使用方法（ ） 使用量（ ）
6.5.4 塩化物量及びアルカリ総量 <コンクリートの工事現場内運搬等>	* アルカリ総量 3.0kg/m ³ 以下とする。
6.6.3 打継ぎ <養生>	* 目地寸法：（ ）mm
6.7.2 湿潤養生 <型枠>	* セメントの種類が普通エコセメントの場合の湿潤養生の期間：（ ）日以上
6.8.2 一般事項	* 外部に面するコンクリート打放し仕上げ（仕上塗材、塗装等の仕上げを行う場合を含む）の打増し厚さ： ※ 図面による * ひび割れ誘発目地： 位置（ ） 形状（ ） 寸法（ ）mm
6.8.3 材料	* せき板の種別： ・合板(6.8.3(b)(1)によるもの) ※合板(6.8.3(b)(2)によるもの) ・（ ） * 合板の厚さ： ※12mm ・（ ）mm * 断熱材を兼用した型枠材： ・使用する（使用箇所：（ ）） ・使用しない * MCR工法用シート： ・使用する（使用箇所：（ ）） ※使用しない
<軽量コンクリート>	
6.10.1 一般事項	* 軽量コンクリートの適用箇所： ※図面による * 常時土又は水に直接接する部分（ ） * 軽量コンクリートの種類 ・1種 ・2種 [表6.10.1による]
6.10.2 材料及び調査 <寒中コンクリート>	*スラブ ※21cm ・（ ）
6.11.1 一般事項	*適用期間 ※JASS5による「打込日を含む旬の平均気温が4℃以下の期間」 ・（ ）
6.11.2 材料及び調査 <無筋コンクリート>	*積算温度を元に定める場合（ ）
6.14.1 一般事項	*設計基準強度 ※18N/mm ² ・（ ） *スラブ ※15cm ※18cm ・（ ） *適用箇所 ※6.14.1(e)(1)～(5) ・（ ）
<屋外雨水排水>	
21.2.1 材料	■建築編 21章 排水工事■ *材種、管の種類、呼び径等： ○図面による *材種・種類： ・遠心力鉄筋コンクリート管 ・硬質ポリ塩化ビニル管（VP ・VU ・RS-VU） ・硬質ポリ塩化ビニル管継手 *呼び径（ ）mm *マンホール側塊の形状、寸法： ○図面による ・（ ） *排水樹の種類等： ○図面による ・（ ） *排水樹ふたの種類等： ○図面による ・（ ） * 鋳鉄製ふたの場合 名称、種類、適用荷重： ○図面による *グレーチングの材質、用途、適用荷重、メインバーピッチ等： ○図面による ・（ ） *地業材料 ※21.2.1(g)(1)、(2)による ・（ ） *コンクリート： ※6章14節[無筋コンクリート]による ・（ ） 設計基準強度： ※18N/mm ² ・（ ） *凍上抑制層の材料（ ） *砂の粒度試験 ・行う ○行わない *埋戻し材料種別： ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ※発生土の中の良質土 [表3.2.1]
21.2.2 施工	*遠心力鉄筋コンクリート管 基床の厚さ、種類： ・図面による ・（ ） *硬質ポリ塩化ビニル管 基床の厚さ、種類： ○図面による ・（ ） 継手： ※接着剤 ・ゴム輪 *車両の通行が多い場合及び軟弱地盤に管路を敷設する場合の工法は図面による
<街きよ、縁石及び側溝>	
21.3.1 材料	*コンクリート縁石の形状、寸法等： ○図面による ・（ ） 側溝の形状、寸法等： ○図面による ・（ ） *地業の材料： ○図面による ・4.6.2(a)による ・（ ）
21.3.2 施工	*砂利地業の厚さ： ・100mm ○図面による ・（ ）
<路床>	
22.2.2 路床の構成及び仕上り	■建築編 22章 舗装工事■ *路床 (1) 凍上抑制層 ・適用する（厚さ：（ ）） ※適用しない (2) 透水性舗装に用いるフィルター層 ※適用する（厚さ：50mm,100mm） ・適用しない (3) 路床安定処理 ・適用する（厚さ：（ ） 方法：（ ）） ※適用しない
22.2.3 材料	*盛土種別： ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ※発生土の中の良質土 [表3.2.1] *砂の粒度試験： ・実施する ※実施しない *路床安定処理用材料： ※普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰特号 ・生石灰1号 ・消石灰特号 ・消石灰1号

項目	特記事項												
22.2.5 試験	*ジオテキスタイル： ・適用する（品質：（ ）） ※適用しない *路床土の支持力比（CBR）試験： ・実施する ※実施しない *路床締固め度試験： ・実施する（埋戻し及び盛土部は原則実施） ※実施しない												
<路盤>													
22.3.2 路盤の厚さ及び仕上り	*路盤の厚さ： ○図面による ・（ ）												
22.3.3 材料	*路盤材料： ※RC-40（透水性舗装除く） ・C-40 ・CS-40 ・（ ） [表22.3.2]												
<アスファルト舗装>													
22.4.2 舗装の構成及び仕上り	*アスファルト舗装の構成及び厚さ： ○図面による ・（ ） *平坦性： ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・（ ）												
22.4.4 配合その他	*表層の加熱アスファルト混合物等の種類： ・密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13) ※再生密粒度アスファルト混合物(13) ・再生細粒度アスファルト混合物(13) *基層の加熱アスファルト混合物等の種類： ・粗粒度アスファルト混合物(20) ※再生粗粒度アスファルト混合物(20) [表22.4.4]												
22.4.5 施工	*シーリングの施工 ・行う ※行わない												
22.4.6 試験 <コンクリート舗装>	*アスファルト混合物等の抽出試験： ・実施する ※実施しない												
22.5.2 舗装の構成及び仕上り	*コンクリート舗装等の構成及び厚さ、寒冷地の縁部立上り寸法等： ※図面による ・（ ）												
22.5.3 材料	*コンクリートの設計基準強度、スラブ、粗骨材の最大寸法： ・図面による ○表22.5.1による ・（ ） *寒冷期施工で早強セメントを用いる場合のコンクリートの設計基準強度、スラブ、粗骨材の最大寸法： 図面による *注入目地材： ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ [表22.5.2]												
22.5.4 施工	*コンクリート版の目地の種類及び間隔： ・図面による ○表22.5.3による目地を設ける ・（ ） *目地の構造： ・図面による ○図22.5.1による ・（ ）												
<カラー舗装>													
22.6.2 舗装の構成及び仕上り	*構成及び厚さ： ・図面による 結合材による種類： ※アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物 車道部の基層の適用： ※適用する ・適用しない *種類： ・加熱系 ・常温系 *加熱系カラー舗装の構成及び厚さ： ※図面による ・（ ） *常温系カラー舗装 着色部の下部： ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装												
22.6.3 材料	*加熱系混合物に添加する着色骨材又は自然石： ・図面による ・（ ）												
22.6.4 配合その他	*加熱系混合物 結合材に石油樹脂を使用の場合の顔料の添加量： *ニート工法、塗布工法の配合等：												
<透水性アスファルト舗装>													
22.7.2 舗装の構成及び仕上り	*舗装構成： ※図面による ・（ ） 平坦性： ※著しい不陸がないこと ・（ ）												
<ブロック系舗装>													
22.8.2 舗装の構成及び仕上り	*コンクリート平板舗装の目地材 ※砂 ・モルタル *舗石舗装の基層 ・アスファルト混合物 厚さ ※50mm ・（ ） ・コンクリート版 厚さ ※70mm ・（ ） *平坦性 ※平板等間の段差3mm以内 ・（ ）												
22.8.3 材料	*コンクリート平板 種類： ※N300 ・（ ） 寸法： ・（ ） ・図面による *インターロッキングブロックの種類、形状、寸法、表面加工等 車道部： ※曲げ強度5.0N/mm ² の普通ブロック、厚さ80mm ・（ ） ・図面による 歩道部： ※曲げ強度3.0N/mm ² の普通ブロック、厚さ60mm ・（ ） ・図面による *舗装に用いる石材の種類、形状、寸法： ・図面による ・（ ） *ジオテキスタイル ・適用する（品質（ ）） ※適用しない												
<砂利敷き>													
22.9.2 材料	*種別 通路： ※A種 ・B種 建物周囲その他： ・A種 ※B種 [表22.9.1] ■建築編 23章 植栽、屋上緑化、その他施設整備等工事■												
23.1.3 植栽地の確認等	*土壌の水素イオン濃度（pH）試験： ・行う ※行わない *電気伝導度（EC）試験： ・行う ※行わない *その他の試験： ・行う（試験方法：（ ）） ※行わない												
<植栽基盤>													
23.2.2 植栽基盤一般	*植栽基盤整備工法（芝及び地被類を除く）： ・適用する ※適用しない *有効土層 整備面積： ※図面による ・（ ） 厚さ： ※表23.2.1による ・（ ） *機盤に浸透した雨水排水のための暗渠、開渠、排水層、縦穴排水等： ※設置しない ・設置する（図面による） *植栽基盤整備工法の種別 樹木 ※A種 ・B種 ・C種 ・D種 [表23.2.2] 芝、地被類 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 *土壌改良材： ・使用する ※使用しない												
23.2.3 材料	*植込み用土： ※客土 ・現場発生土（良質土） *客土の材料（1m ³ 当たり） さば土： 0.84m ³ … 雑物を含まない山さば土の良品 人工堆肥： 150kg … 有機質（樹木の皮葉等）のものを換気発酵 固形肥料： 1kg … 窒素・りん酸・カリ肥料を6：4：3の割合としたもの *土壌改良材の種類：												
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">一級建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一級建築士事務所登録 愛知県 い1627</td> <td>上郷住宅建築工事（第1工区）</td> <td>図面番号</td> </tr> <tr> <td colspan="2">一級建築士登録番号 307737号 建築士氏名 安東 広晶 印</td> <td>縮尺 —</td> <td>No. E X - C</td> </tr> <tr> <td>検 図</td> <td>製 図</td> <td>設 計 H28年3月</td> <td>愛知県建設部建築局公営住宅課</td> </tr> </table>	一級建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一級建築士事務所登録 愛知県 い1627		上郷住宅建築工事（第1工区）	図面番号	一級建築士登録番号 307737号 建築士氏名 安東 広晶 印		縮尺 —	No. E X - C	検 図	製 図	設 計 H28年3月	愛知県建設部建築局公営住宅課
一級建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一級建築士事務所登録 愛知県 い1627		上郷住宅建築工事（第1工区）	図面番号										
一級建築士登録番号 307737号 建築士氏名 安東 広晶 印		縮尺 —	No. E X - C										
検 図	製 図	設 計 H28年3月	愛知県建設部建築局公営住宅課										

特記仕様書	項目	特記事項
	<植樹> 23.3.2 材料	*樹木の樹種、寸法、株立数：※図面による ・（ ） 刈込みもの： ・適用する（数量： ） ※適用しない *支柱材 ※丸太 ・（ ） 丸太の防腐処理方法 ※加圧式防腐処理（ ） *幹巻き用材料 ※幹巻き用テープ ・わら、こも
	23.3.3 新植の工法	*支柱：○図面による ・添え柱形 ・鳥居形 ・八ツ掛け形 ・ワイヤ掛け形 ・地価埋設形
	23.3.4 新植樹木の枯補償	*新植樹木の枯補償期間： ※引渡日から1年間 ・（ ）
	23.3.6 移植樹木の枯損処置	*移植樹木の枯損処置期間： ※引渡日から1年間 ・（ ）
	<芝張り、吹付けは種及び地被類> 23.4.2 材料	*芝の種類 ※コウライシバの類 ・ノシバの類 ・図面による *吹付けは種用種子等 種類： ・洋芝類（23.4.2 (c)(1)(ii)による） ・（ ） ・図面による 量：図面による *地被類 樹種、芽立数、コンテナ径、単位面積当たりのコンテナ数：図面による
	23.4.3 芝張りの工法	*コウライシバ等の客土及び目土：次による 1) 厚さ： ・20 ・50 ※100 mm 2) 目地張りの目地幅： ・0 ・20mm ※30mm ・50mm *芝張り工法 平地 ※目地張り ・べた張り 法面 ・目地張り ※べた張り
	23.4.7 芝張り等の枯補償	*芝張り、吹付けは種及び地被類の枯補償期間 ※引渡日から1年間 ・（ ）
	<屋上緑化> 23.5.2 植栽基盤	*土壌層の厚さ： ※図面による ・（ ）
	23.5.3 材料	*排水層： ※適用しない ・適用する（軽量骨材の層の厚さ： ） *植込み用土： ・人工軽量土 ※改良土 *樹木の樹種、寸法、株立数： ※図面による ・（ ） 刈込みもの： ・適用する（数量： ） ※適用しない *見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等： ※図面による ・（ ）
	23.5.4 工法	*風圧力（平成12年5月31日付建設省告示第1458号）に対応した固定工法： *支柱の設置、形式： ・図面による ・有（形式 ） ・無 *かん水装置の設置、種類： ・図面による ・有（種類 ） ・無
	<ウォール・擁壁> 23.6.2 一般事項	*支持力試験： ・実施する（方法：図面による） ※実施しない *石材の種類： *裏込めに使用する透水材料及び伸縮目地の材料、厚さ：図面による *水抜きパイプの口径： ※75 ・100 *水抜きパイプの設置条件： 3㎡に1カ所以上
	23.6.6 石積（張）擁壁	*材料 割石： ・花こう岩（規格： ） ・安山岩（規格： ） 雑割石： ・花こう岩（規格： ） ・安山岩（規格： ） *工法一般 目地仕上げ方法（雑割石積み、野面石積みの練積みの場合）：（ ） *水抜きパイプの口径： ※75 ・100
	<修景施設> 23.7.3 四つ目垣 <遊戯施設及びサービス施設> 23.8.2 一般事項	*柱の防腐処理： *木材の防腐処理方法： メーカー仕様による *木材の防腐剤： *遊具の構造、強度、材料、寸法、安全領域： ・図面による ・（ ）
	23.8.3 遊具組立設置	*材料 *コンクリート工作物の品質： ※図面による ・（ ） *木製遊戯器具などの木材の規格、樹種など： ※図面による ・（ ） *木材その他の工作物の木材の規格、樹種など： ※図面による ・（ ） *切石などの仕上げ： ※図面による ・（ ）
	<管理施設> 23.9.2 柵工	*材料 ネットフェンスの構成部材の種類、寸法等：図面による ひし形金網の種類、寸法等：図面による
	<建築施設組立> 23.10.2 自転車置場	*材料 品質、及び性能：図面による 材質、収納台数：図面による
	23.10.3 物置ユニット	*主要部材の材質：図面による *強度区分の種類： ・120型 ・300型 ・450型 ・図面による 寸法、形状等：図面による
	<グラウンド舗装> 23.11.2 一般事項	*材料 荒木田土：図面による グラウンドのライン：図面による *工法（クレー舗装） 荒木田土の高さ、厚さ：図面による 表層安定剤の量：図面による
	<塗装工事> 2.7.1 一般事項	■電気編 2章 共通工事■ *金属管の塗装箇所： 屋内見えがかり部分（機械室、EPS等は除く）の屋内露出配管及び屋外露出配管は原則として塗装する *溶融亜鉛めっきの種類： ※HDZ35 ・（ ）
	<耐震処置> 1.5.1 耐震処置	*設計用標準震度：

項目	特記事項												
	■電気編 2編 電力設備工事■ ■電気編 1章 機材■ <電線保護物類> 1.4.2 構造一般 * 照明用ポール 配線用遮断器（引外し装置なし）： ・設ける ・設けない カットアウトスイッチ（素通しヒューズ）： ・設ける ・設けない <分電盤> 1.8.3 キャビネット * 屋内用キャビネット種別： ※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・図面による その他、特に腐食等を考慮すべき場所での使用：（ ） * 接地端子座の形状等： ・図面による ・（ ） 1.8.6 器具類 * 積算計器 計量法による検定付き： ※適用する ・適用しない * 低圧用SPD 低圧用SPDクラスⅡの性能： ※表1.8.10による ・（ ） 低圧用SPDクラスⅠの性能： ※図面による ・（ ） <電気自動車用充電装置> 1.15.1 一般事項 * 装置種別： ・電気自動車用急速充電装置 ・電気自動車用普通充電装置（定格電圧 ） 1.15.4 電力変換装置 * 定格直流電圧： ※図面による ・（ ） 1.15.8 状態警報表示項目 <接地> 1.18.1 接地端子箱 * 形式等： ※図面による ・（ ） ■電気編 2章 施工■ <共通事項> 2.1.10 電線等の防火区画等の貫通 * 金属ダクトが防火区画等を貫通する場合の詳細： ※図面による ・（ ） 2.1.11 延焼防止処置を要す床貫通 * 延焼防止処置を要する箇所： ※図面による ・（ ） <バスダクト配線> 2.9.2 バスダクトの敷設 <地中配線> 2.12.3 マンホール等の敷設 * マンホール、ハンドホールの構造及び性能： ・標準図（電力68～70）による ・図面による ・（ ） 鉄蓋の構造及び性能：中耐重型（ただし、道路又は駐車場では重耐重型とする） * ふたの材質： 鋳鉄製 2.12.4 管路等の敷設 * 管と建物との接続部： ※図面による ・（ ） * 架空配線からの引込み： ※図面による ・（ ） * 地中配線（高圧及び低圧幹線以外）の標識シート等： ※設置する ・設置しない * 標識シート： ※低圧幹線、高圧又は特別高圧の地中配線に設ける ・低圧幹線、高圧又は特別高圧以外の地中配線に設ける 2.12.5 ケーブルの敷設 * 埋設標の敷設： ※図面による ・（ ） 1.2.2.2 インバータ制御、操作盤 * インバータ制御を行う場合の制御及び操作盤： ・1.2.2.2を適用する ・適用しない ・（ ） ■機械編 2章 配管工事■ <配管材料> * 管材： 図面による * 継手の種類： 図面による <配管付属品> 2.2.1 一般用弁及び栓 * 仕切弁（ポンプに付属するものを含む）： ※JIS 10K ・（ ） * 屋外埋設の弁（呼び径75A以上のもの）の使用区分： ※水道用仕切弁 ・水道用グライ铸铁仕切弁 ・水道用フットシル仕切弁 ・水道用合成樹脂製フットシル弁 ・図面による ・（ ） 2.2.23 水栓柱 * 本体： ※塩ビ製 ・合成樹脂製 ・人造石とぎ出し製 ・アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼製 * 寸法： ・約70mm角で全長約1,300mm ・（ ） <配管施工の一般事項> 2.4.1 一般事項 * 建築物導入部分で不動沈下のおそれのある部分（排水、通気配管 除く）の施工： ・図面による ・標準図（施工4）による ・（ ） * 建築物エキスパンションジョイント部の配管要領： ・標準図（施工7）による ・図面による ・（ ） * 絶縁継手： ※図面による ・（設置箇所、仕様） <管の接合> 2.5.3 塩ビライニング鋼管等 * 塩ビライニング鋼管のフランジ接合の場合で、フランジを現場取付けする場合： ・標準図（施工2）による ・（ ） 2.5.6 ステンレス鋼管 * フランジの接合方法： ・標準図（施工2）による ・（ ） 2.5.10 ビニル管 * 給水管の接合： ※接着接合 ・ゴム輪接合 * 排水管の接合： ※接着接合 ・ゴム輪接合 2.5.11 ポリエチレン管 * 接合方法： ・電気融着接合 ・メカニカル接合 2.5.12 架橋ポリエチレン管 * 接合方法： ・電気融着接合 ※メカニカル接合 2.5.13 ポリブテン管 * 接合方法： ・熱融着接合 ・電気融着接合 ※メカニカル接合												
	<table border="1"> <tr> <td>一級建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一級建築士事務所登録 愛知県 い1627</td> <td>上郷住宅建築工事（第1工区）</td> <td>図面番号</td> </tr> <tr> <td>一級建築士登録番号 307737号 建築士氏名 安東 広晶 印</td> <td>外構工事特記仕様書4</td> <td>No. EX-D</td> </tr> <tr> <td>検 図</td> <td>製 図</td> <td>設 計 H28年3月</td> </tr> <tr> <td colspan="3">愛知県建設部建築局公営住宅課</td> </tr> </table>	一級建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一級建築士事務所登録 愛知県 い1627	上郷住宅建築工事（第1工区）	図面番号	一級建築士登録番号 307737号 建築士氏名 安東 広晶 印	外構工事特記仕様書4	No. EX-D	検 図	製 図	設 計 H28年3月	愛知県建設部建築局公営住宅課		
一級建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一級建築士事務所登録 愛知県 い1627	上郷住宅建築工事（第1工区）	図面番号											
一級建築士登録番号 307737号 建築士氏名 安東 広晶 印	外構工事特記仕様書4	No. EX-D											
検 図	製 図	設 計 H28年3月											
愛知県建設部建築局公営住宅課													



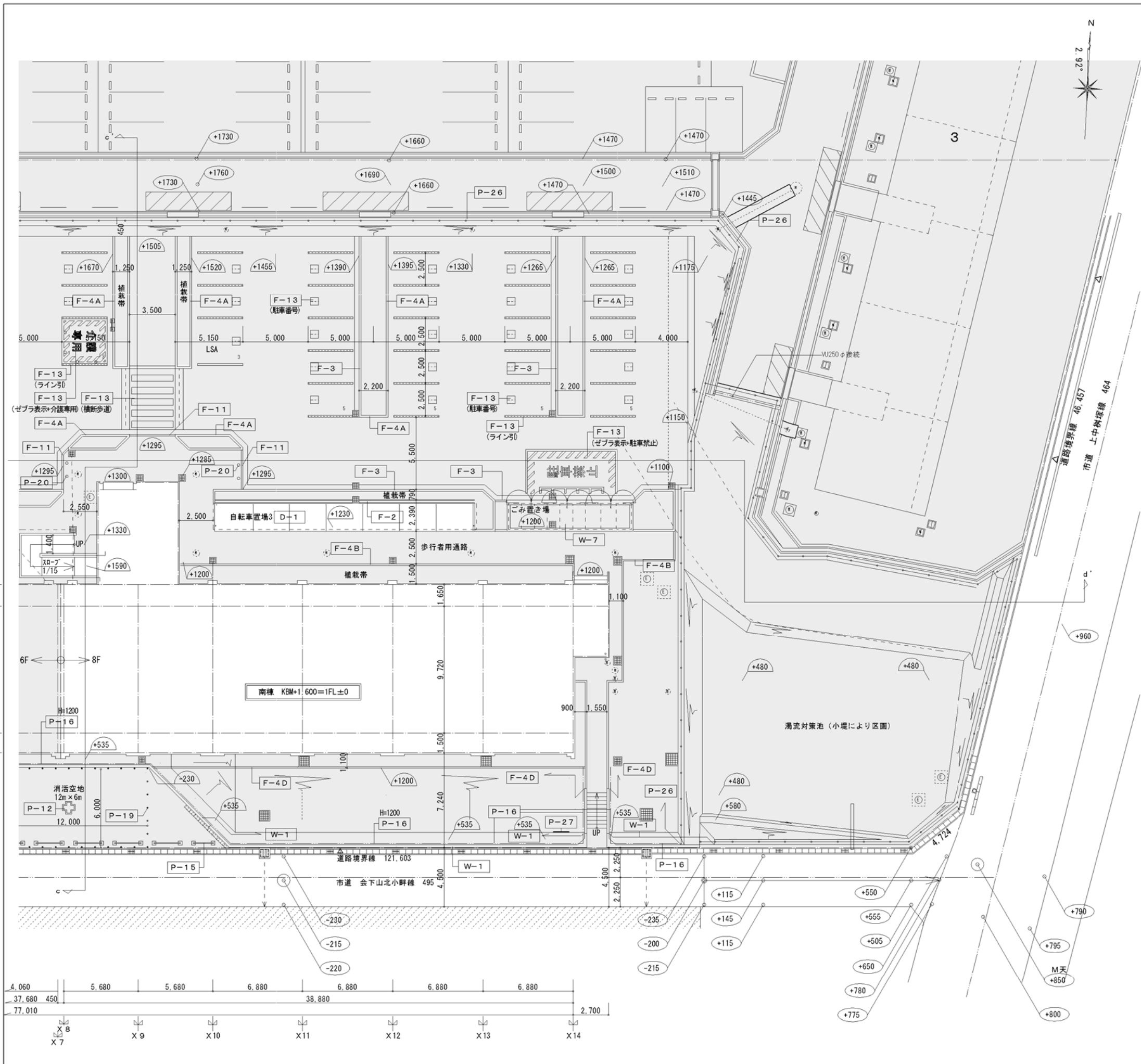
<特記事項>
 1) 第1工区建築工事のうち外構工事の範囲は、
 ・自転車置場3の新設工事：土間、基礎含む。
 U字溝設置は別途工事（第2工区）
 ・スロープB（ED-2）の新設工事
 ・本体建物堅壁は、20レベルまでを第1工区とし、20以下の土中縦管並びに第1層までの横引き管及び築き込みは、第2工区とする。
 2) 本体建物周囲の地盤埋戻し高さは、原則完成時舗装路盤下レベルまでとするが、事前に両工区の施工者間で埋戻し高さを協議のうえ決定すること。

記号	名称	凡例
F-5A	コンクリート舗装 厚100	[Symbol]
F-5B	コンクリート舗装 厚120	[Symbol]
F-8A	アスファルトコンクリート舗装(透水性舗装) 厚30	[Symbol]
F-8A'	アスファルトコンクリートカラー舗装(透水性舗装) 厚30	[Symbol]
F-8B	アスファルトコンクリート舗装(透水性舗装) 厚50(駐車場)	[Symbol]
F-8B'	アスファルトコンクリートカラー舗装(透水性舗装) 厚50(駐車場)	[Symbol]
F-8D	アスファルトコンクリート舗装 厚50(消防用活動空地)	[Symbol]
F-8E	道路内アスファルトコンクリート舗装(豊田市道路仕様。詳細図による)	[Symbol]
F-12	砂利敷き整地	[Symbol]
ED-1	スロープA	[Symbol]
ED-2	スロープB	[Symbol]
ED-3	屋外階段	[Symbol]

- <凡例>
1. [Symbol] 集水樹新設(蓋、樹仕様等は樹リストによる)を示す
 2. [Symbol] 及び [Symbol] 汚水樹を示す(給排水工事)
 3. [Symbol] ハンドホールを示す(電気工事)
 4. [Symbol] 内数値はKBM±0からの計画地盤高さを示す
 5. [Symbol] 内数値はKBM±0からの現況地盤高さを示す
 6. [Symbol] 今回工事範囲外を示す

一般建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一般建築士事務所登録 愛知県 L1627		上郷住宅建築工事(第1工区) 外構配置図(舗装)	図面番号 No. E-X-01
一般建築士登録 307737号 安楽 広品	設計 H28年3月	縮尺 A1: 1/150 A3: 1/300	
検 査 製 図		愛知県建設部建築局公営住宅課	





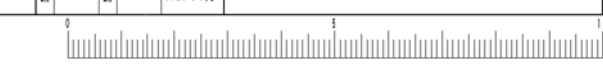
<特記事項>
 1) 第1工区建築工事のうち外構工事の範囲は、
 ・自転車置場3の新設工事：土間、基礎含む。
 U字溝設置は別途工事（第2工区）
 ・スロープB（E-D-2）の新設工事
 ・本体建物壁幅は、20レベルまでを第1工区とし、20以下の土中縦管並びに第1樹までの横引き管及び繋ぎ込みは、第2工区とする。
 2) 本体建物周囲の地盤埋戻し高さは、原則完成時舗装路盤下レベルまでとするが、事前に両工区の施工者間で埋戻し高さを協議のうえ決定すること。

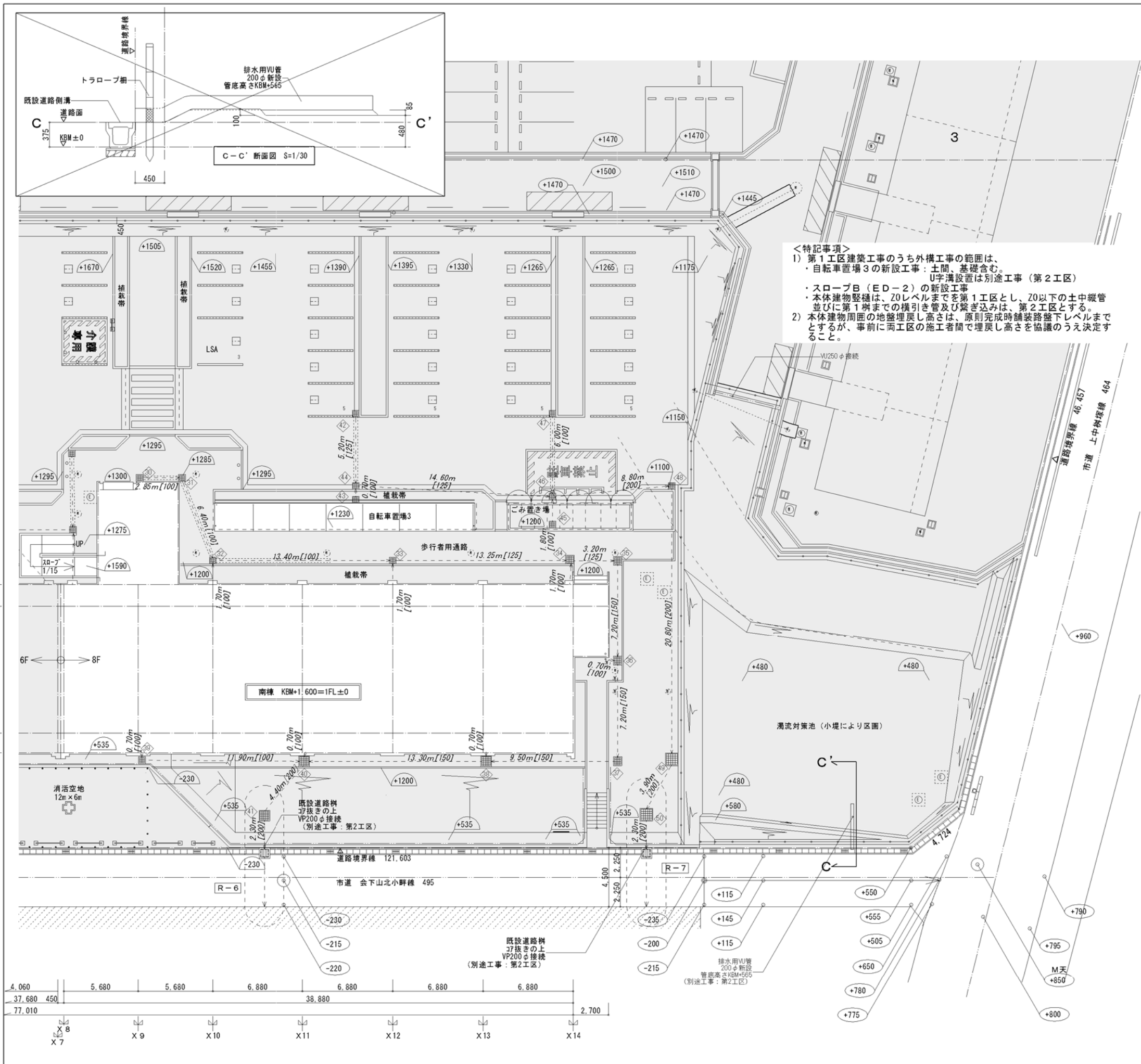
記号	名称	凡例
F-1	L型側溝	
F-2	U字側溝 (PU-1) (U-180)	
F-2A	現場打側溝	
F-2B	現場打集水溝	
F-2C	U字側溝 (PU-2) (U-300B)	
F-2D	U字側溝 (PU-3) (U-300C)	
F-3	街渠	
F-4A	歩車道境界ブロック (特記なき限りブロックAとする)	
F-4B	地先境界ブロック	
F-4C	歩車道境界ブロック (特記なき限りブロックAとする)	
F-4D	地先境界ブロック	
F-11	マウントアップブロック	
F-13	ライン引き (ライン引(≒150)・矢印サイン・「止まれ」・停止線 駐車番号・横断歩道・ゼブラ表示+「駐車禁止」(黄色) ゼブラ表示+「介護専用」(黄色))	
P-11	消防用活動スペース標識	
P-12	消防用空地板	
P-15	車止め(可動式) L=2000	
P-16	メッシュフェンス H=1200	
P-17	メッシュフェンス H=1800	
P-17a	メッシュフェンス扉 W=2000 H=1800 門、南京錠、フランス落とし共	
P-18	車止 タイプA (可動)	
P-19	消防活動用空地表示旗	
P-20	錠石車止 φ250	
P-26	トラロープ張り	
P-27	認定一団地区区域標識板 (参考図)	
W-1	RC土留めA	
W-2	RC土留めB	
W-3	RC土留めC	
W-4	RC土留めD	
W-5	RC土留めE	
W-6	RC土留めF	
W-7	ゴミステーション	
D-1	自転車置場	

<凡例>

1. 集水溝新設 (蓋、樹仕様等は樹リストによる) を示す
2. 汚水樹を示す (給排水工事)
3. ハンドホールを示す (電気工事)
4. 内数値はKBM±0からの計画地盤高さを示す
5. 内数値はKBM±0からの現況地盤高さを示す
6. 今回工事範囲外を示す

一般建築士事務所 黒野建設設計事務所 一般建築士事務所登録 愛知県 L1627 一般建築士登録 307737号 安楽 広島		上郷住宅建築工事 (第1工区) 外構配置図 (施設)	図面番号 No. E-X-02 縮尺 A1: 1/150 A3: 1/300
検定 製図 設計 H28年3月	愛知県建設部建築局公営住宅課		





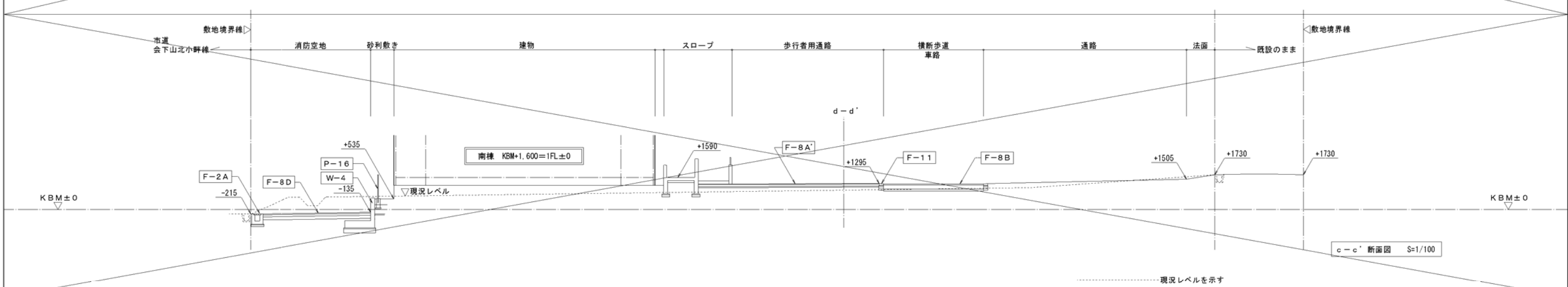
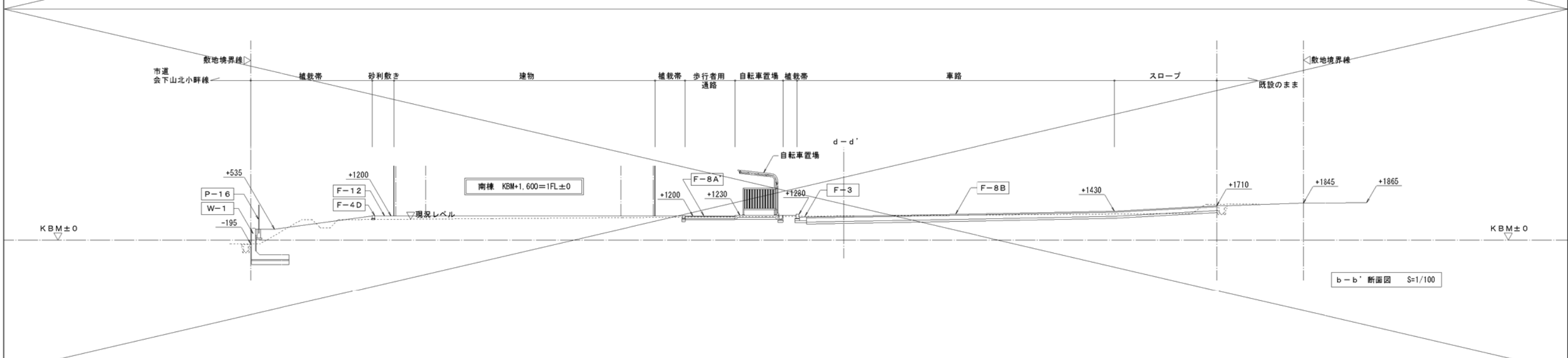
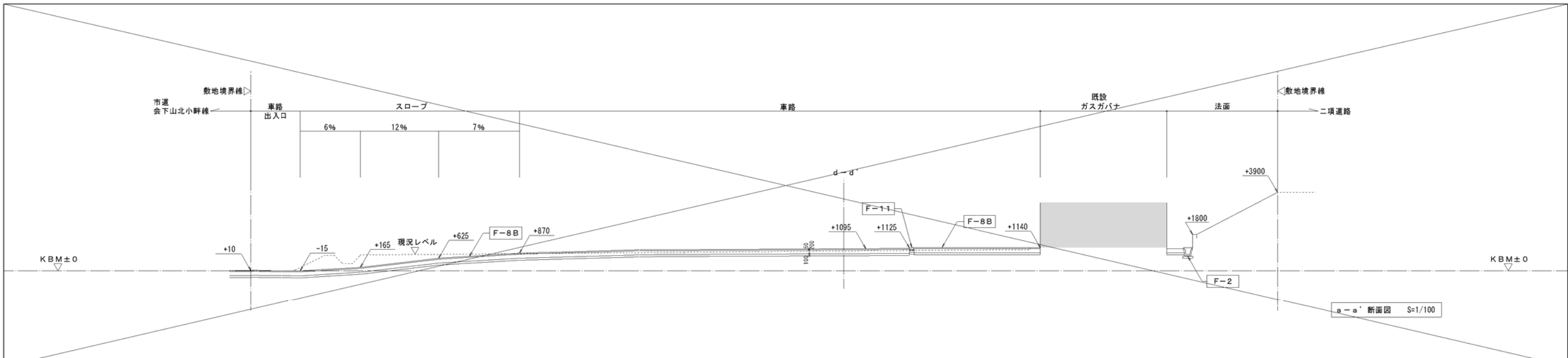
<特記事項>
 1) 第1工区建築工事のうち外構工事の範囲は、
 ・自転車置場3の新設工事：土間、基礎含む。
 U字溝設置は別途工事（第2工区）
 ・スロープB（ED-2）の新設工事
 ・本体建物壁は、20レベルまでを第1工区とし、20以下の土中縦管
 並びに第1樹までの横引き管及び築き込みは、第2工区とする。
 2) 本体建物周囲の地盤埋戻し高さは、原則完成時舗装路盤下レベルまでとするが、事前に両工区の施工者間で埋戻し高さを協議のうえ決定すること。

樹リスト (単位: mm)						
樹番号	樹種類	樹天端高	樹深さ	流入管底	流出管底	備考
1	C-1	-110	295	—	-405	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-2)
2	C-1	1,295	300	—	995	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-2)
3	C-1	1,275	380	905	895	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-2)
4	C-1	1,230	400	840	830	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-2)
5	C-1	1,200	460	750	740	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-2)
6	C-1	1,200	600	610	600	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-2)
7	C-2	1,200	745	465	455	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-2)
8	C-2	1,200	795	415	405	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-2)
9	C-2	1,200	875	335	325	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-2)
10	C-3	1,200	965	245	235	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-2)
11	C-3	1,200	1,075	135	125	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-2)
12	C-1	535	270	275	265	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-2)
13	C-1	1,200	270	940	930	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-2)
14	C-4	715	1,165	10	-450	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-2)
15	欠番	—	—	—	—	
16	C-1	1,330	350	—	980	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-14)
17	C-1	1,290	375	925	915	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-14)
18	C-1	1,270	350	—	920	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-14)
19	C-1	1,230	300	—	930	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-2)
20	C-1	1,245	490	765	755	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-14)
21	C-1	1,190	350	—	840	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-14)
22	C-1	1,230	300	—	930	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-2)
23	C-1	1,160	565	605	595	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-14)
24	C-1	1,140	575	575	565	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-2)
25	C-2	1,135	625	520	510	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-14)
26	C-2	1,100	670	440	430	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-14)
27	C-2	1,050	665	395	385	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-14)
28	C-2	915	610	345	305	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-14)
29	欠番	—	—	—	—	
30	C-1	1,300	300	—	1,000	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-2)
31	C-1	1,285	330	965	955	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-2)
32	C-1	1,200	325	885	875	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-2)
33	C-1	1,200	475	735	725	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-2)
34	C-2	1,200	625	585	575	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-2)
35	C-2	1,200	675	535	525	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-2)
36	C-2	1,200	765	445	435	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-2)
37	C-2	1,200	855	355	345	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-2)
38	C-3	1,200	965	245	235	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-2)
39	C-1	535	270	275	265	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-2)
40	C-3	1,200	1,115	95	85	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-2)
41	C-3	715	1,315	35	-600	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-2)
42	C-1	1,245	550	—	695	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-14)
43	C-1	1,230	300	—	930	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-2)
44	C-1	1,215	585	640	630	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-14)
45	C-1	1,200	300	—	900	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-2)
46	C-2	1,175	705	480	470	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-14)
47	C-1	1,200	550	—	650	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-14)
48	C-2	1,100	735	375	365	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-14)
49	C-3	1,200	1,060	150	140	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-2)
50	C-3	715	1,315	95	-600	雨水樹 (ケレチン) 蓋、T-2)
51	欠番	—	—	—	—	

- <凡例>**
- 集水樹新設 (蓋、樹仕様等は樹リストによる) を示す
 - 雨水排水管 (VP管) 新設を示す (○、○m: 樹間距離、[□□]: 管径を示す)
 - 汚水樹を示す (給排水工事)
 - ハンドホールを示す (電気工事)
 - 内数値はKBM±0からの計画地盤高さを示す
 - 内数値はKBM±0からの現況地盤高さを示す
 - 今回工事範囲外を示す
- <註記>**
- 樹リスト内の「樹天端高」、「流入管底」、「流出管底」は、KBM±0からの高さを示す
 - 樹リスト内「樹深さ」は、樹天端高から流出管底までの深さを示す (泥溜除く)

一般建築士事務所 株式会社 黒野建設設計事務所 一般建築士事務所登録 愛知県 L1527		上郷住宅建築工事 (第1工区) 外構配置図 (排水)		図面番号 No. E-X-03
一般建築士登録 307737号 安楽 広品	設計 H28年3月	縮尺 A1: 1/150 A3: 1/300	愛知県建設部建築局公営住宅課	

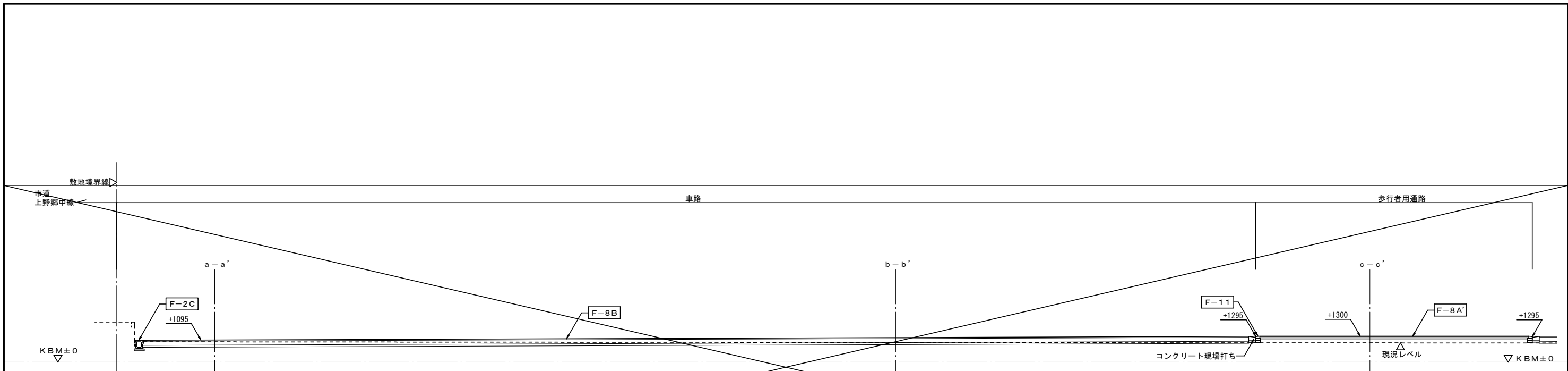




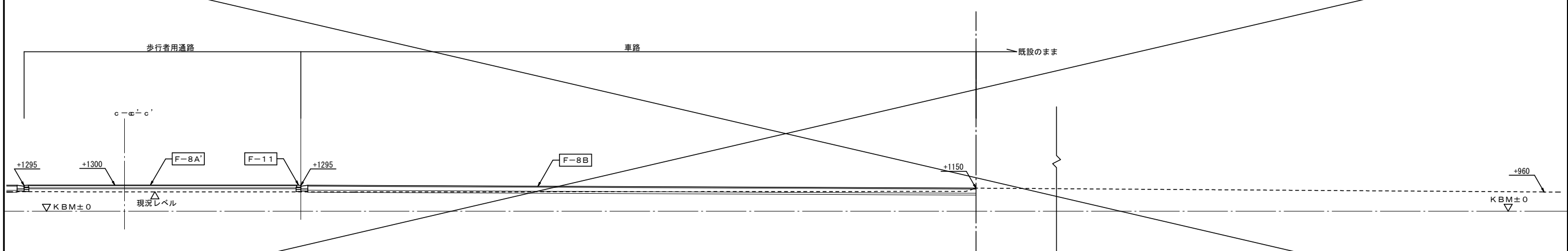
..... 現況レベルを示す

一般建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一般建築士事務所登録 愛知県 L1627		上郷住宅建築工事（第1工区） 宅地断面図(1)		図面番号 No. E X-04
一般建築士登録 307737号 安永 広品		縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200		
校 図	製 図	設計 H28年3月	愛知県建設部建築局公営住宅課	





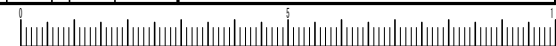
d-d' 断面図(西側) S=1/100

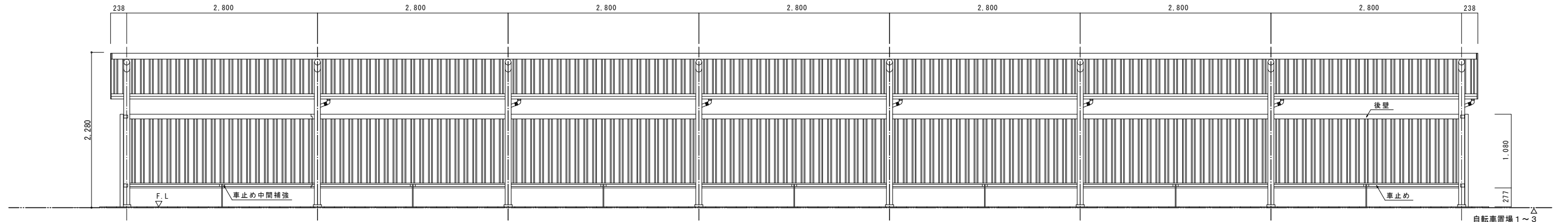


d-d' 断面図(東側) S=1/100

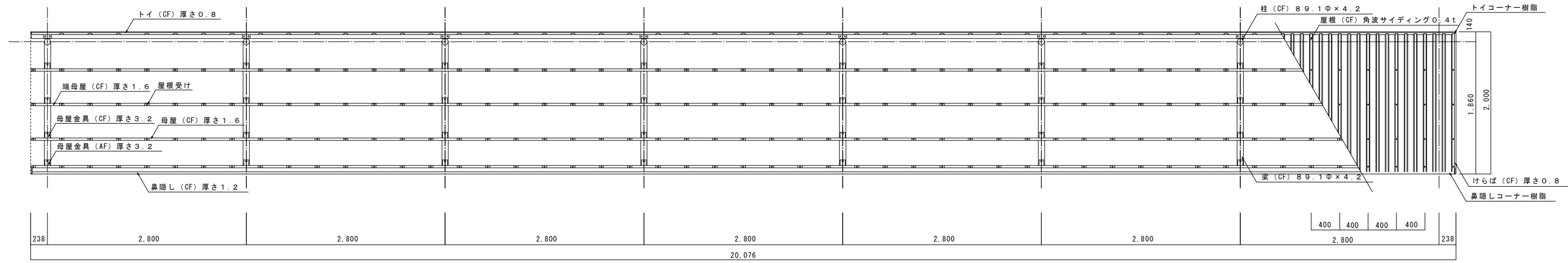
----- 現況レベルを示す

<small>一級建築士事務所</small> 株式会社 黒野建築設計事務所 <small>一級建築士事務所登録 愛知県 L1627</small>		上郷住宅建築工事(第1工区)		図面番号
<small>一級建築士登録 307737号</small> 安東 広品		宅地断面図(2)		縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200
概 図	製 図	設 計 H28年3月	愛知県建設部建築局公営住宅課	

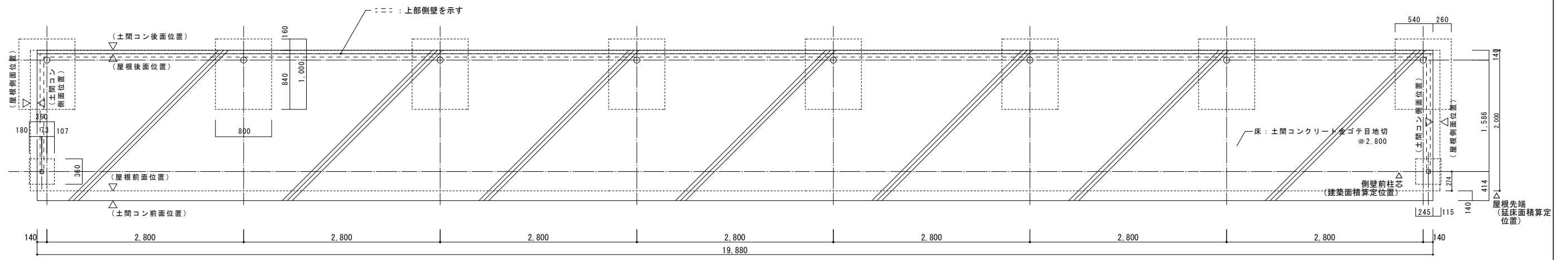




南立面図 S=1/30



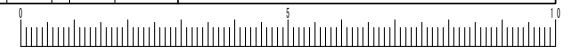
屋根伏図 S=1/30

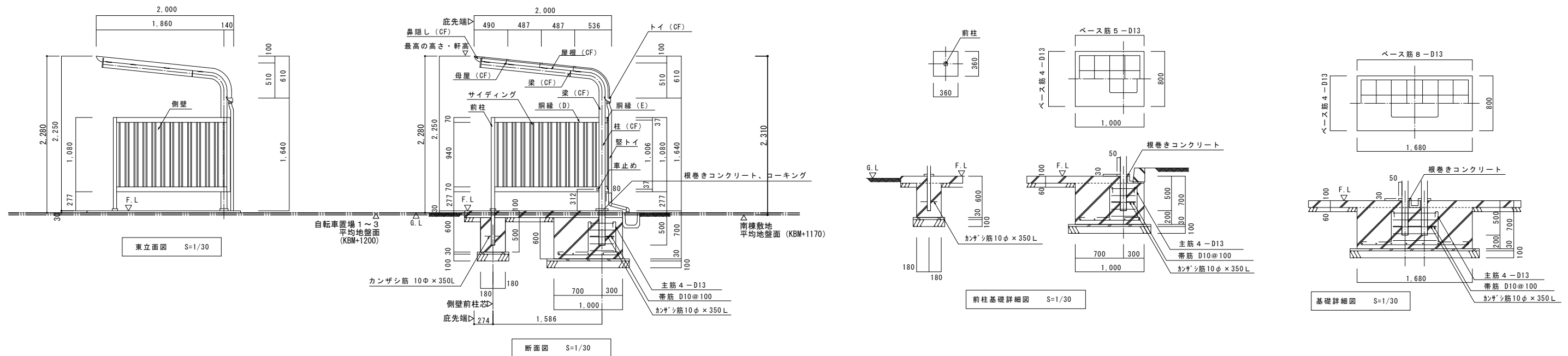


基礎伏図兼平面図 S=1/30



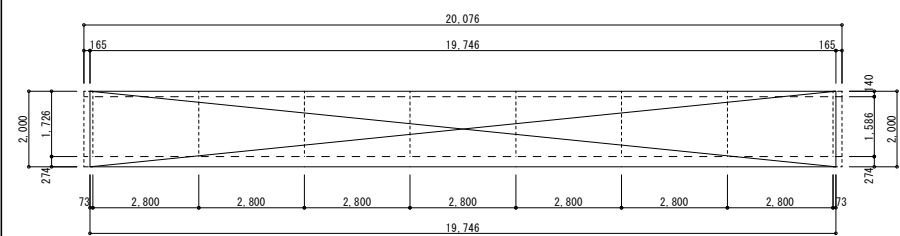
一級建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一級建築士事務所登録 愛知県 L1627	上郷住宅建築工事 (第1工区)	図面番号 No. E-X-06
一級建築士登録 307737号 安東 広品	自転車置場詳細図 (参考図) (1)	縮尺 A1: 1/30 A3: 1/60
概図 製図 設計 H28年3月	愛知県建設部建築局公営住宅課	



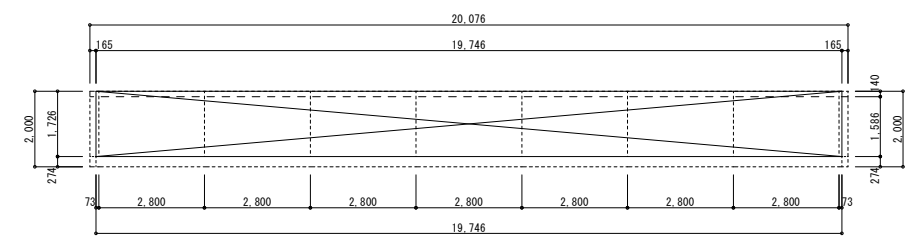


自転車置場 1, 2, 3 求積図・面積表

S=1/100



床面積 求積図 S=1/100



建築面積 求積図 S=1/100

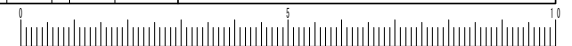
主仕様		
部材名	形状	材質・仕上げ
柱	丸パイプ 89.1φ×4.2	塗装用溶融亜鉛めっき鋼管 ポリエステル系塗料焼付塗装
梁	丸パイプ 89.1φ×4.2	塗装用溶融亜鉛めっき鋼管 ポリエステル系塗料焼付塗装
母屋	□-65×33×1.6	塗装用溶融亜鉛めっき鋼管 ポリエステル系塗料 2コート2ペーク
鼻隠し	┌-75×100×1.2	
トイ	┌-80×95×0.8	
屋根	角波サイディング 山高16 ㊦0.4	
側縁 (D)E	┌-70×48×1.6	
サイディング	角波サイディング 山高16 ㊦0.4	
車止め	□-32×32×1.6	
壁トイ	42φ	塩ビ押出材
前柱	□-50×50×1.6	塗装用溶融亜鉛めっき鋼管
ポルトナット		ステンレス

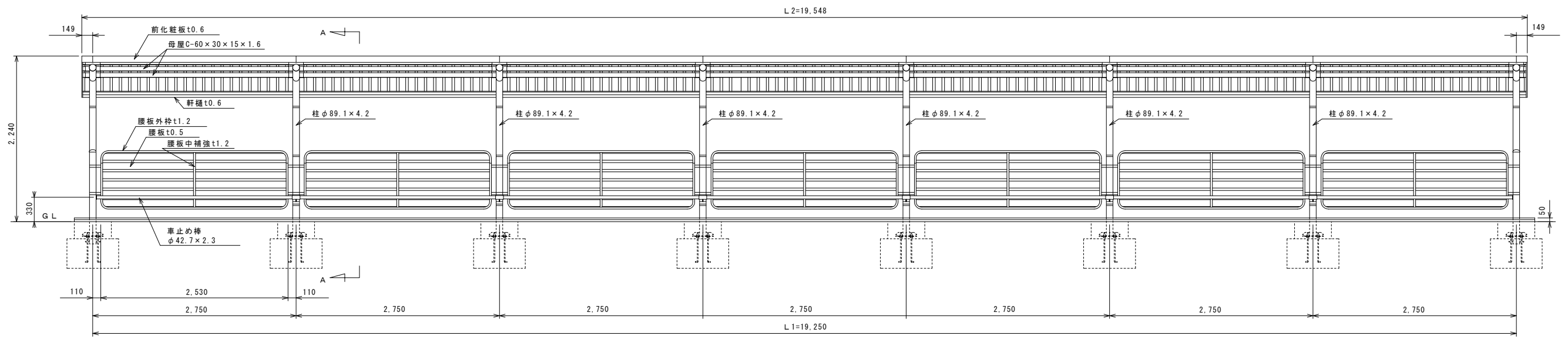
※ コンクリート強度 捨てコンクリート 188B/mm²
土間コンクリート 188B/mm² ワイヤメッシュφ6-150×150打込み
基礎コンクリート 21N/mm²
砕石 RC-40



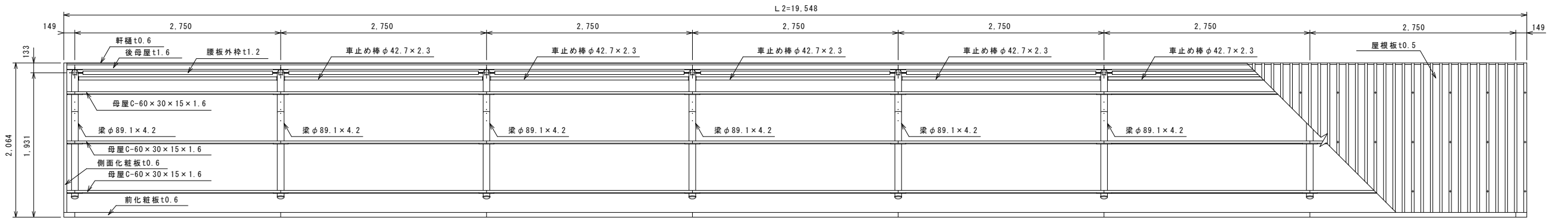
棟番号	棟名	総スパン数	駐輪台数	床面積	計算式	建築面積	計算式
2	自転車置場1	7スパン	35台	39.49m ²	19.746*2.000	34.08m ²	19.746*1.726
3	自転車置場2	7スパン	35台	39.49m ²	19.746*2.000	34.08m ²	19.746*1.726
4	自転車置場3	7スパン	35台	39.49m ²	19.746*2.000	34.08m ²	19.746*1.726

一般建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一級建築士事務所登録 愛知県 L11627	上郷住宅建築工事 (第1工区)	図面番号 No. E-X-07
一級建築士登録 307737号 安東 広品	自転車置場詳細図 (参考図)(2)	縮尺 A1: 1/100, 1/30 A3: 1/200, 1/60
概図 製図 設計 H28年3月	愛知県建設部建築局公営住宅課	

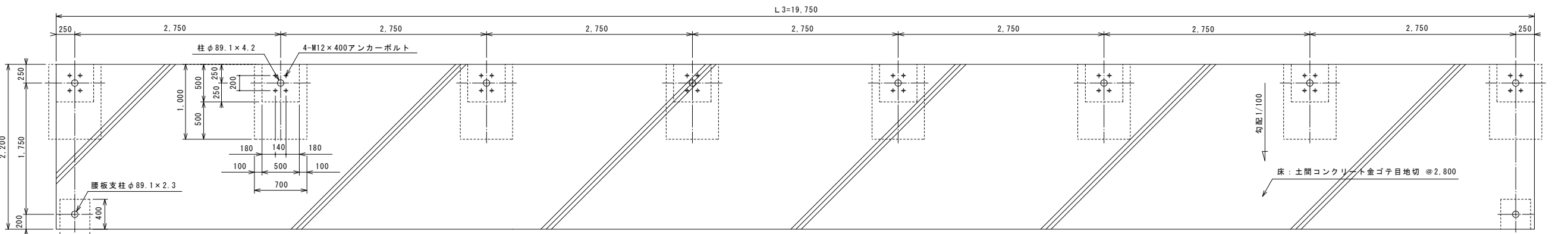




正面図 S=1/30



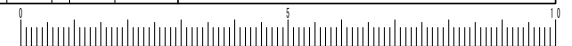
平面図 S=1/30

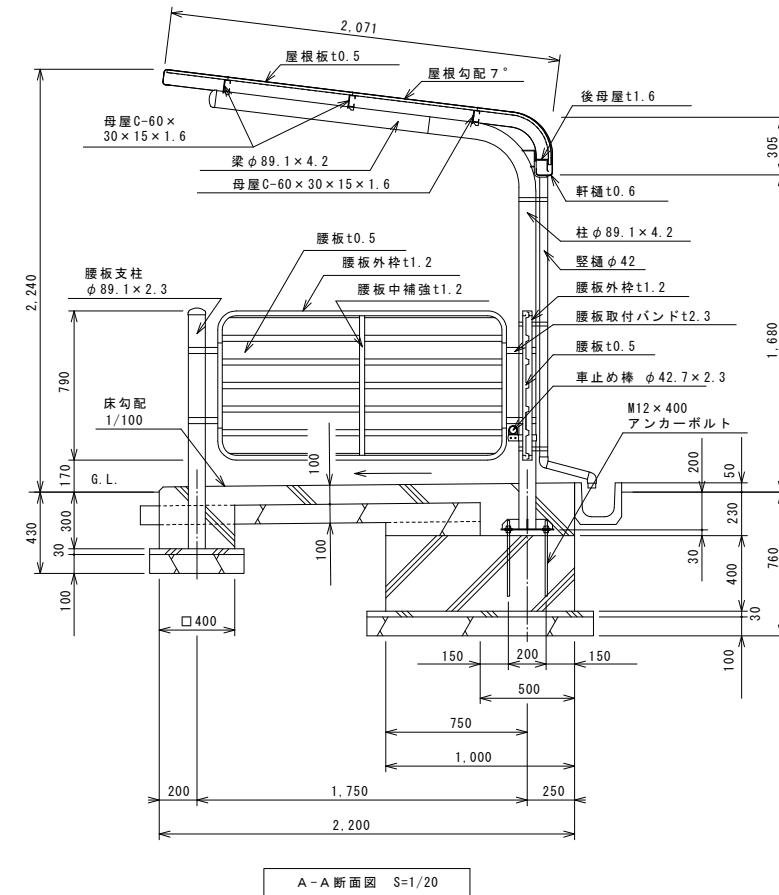
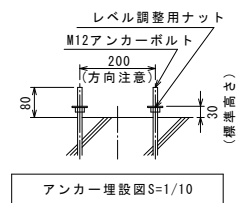
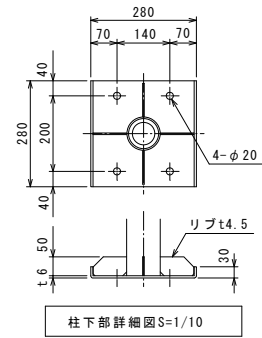
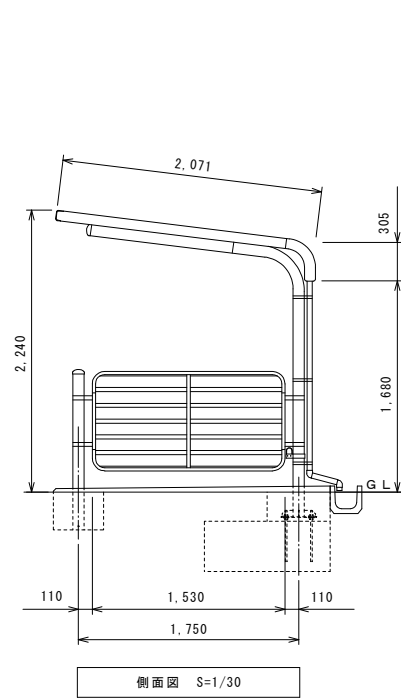


基礎伏図 S=1/30



一級建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一級建築士事務所登録 愛知県 L11627	上郷住宅建築工事 (第1工区) 自転車置場詳細図 (参考図) (3)	図面番号 No. E-X-08
一級建築士登録 307737号 安東 広品	設計 H28年3月	縮尺 A1: 1/30 A3: 1/60
愛知県建設部建築局公営住宅課		





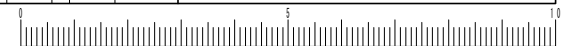
仕様大要 (本体)			
品名	サイズ	材質	仕上げ
柱	φ89.1 x 4.2	亜鉛-アルミ -マグネシウム合金めっき鋼管	ポリエステル系樹脂塗装
梁	φ89.1 x 4.2	"	"
車止め棒	φ42.7 x 2.3	"	"
母屋	□ 60 x 30 x 15 x 1.6	Z A M	"
化粧板	t 0.6	"	"
軒樋	t 0.6	"	"
屋根板	t 0.5	ガルバリウム鋼板	"
後母屋	t 1.6	Z A M	"
縦樋	φ42 x 1.0	塩化ビニール	"
組立ボルト・ナット	M5, M6, M8, M10	軟鋼	ラスパート処理
アンカーボルト	M12	"	"

仕様大要 (腰板)			
品名	サイズ	材質	仕上げ
腰板支柱	φ89.1 x 2.3	亜鉛-アルミ -マグネシウム合金めっき鋼管	ポリエステル系樹脂塗装
腰板外枠	t1.2	Z A M	"
腰板中補強	t1.2	"	"
腰板	t0.5	ガルバリウム鋼板	"
腰板取付バンド	t2.3	Z A M	"
組立ボルト・ナット	M6, M8	軟鋼	ラスパート処理

※ コンクリート強度 基礎コンクリート Fc=18N/mm²

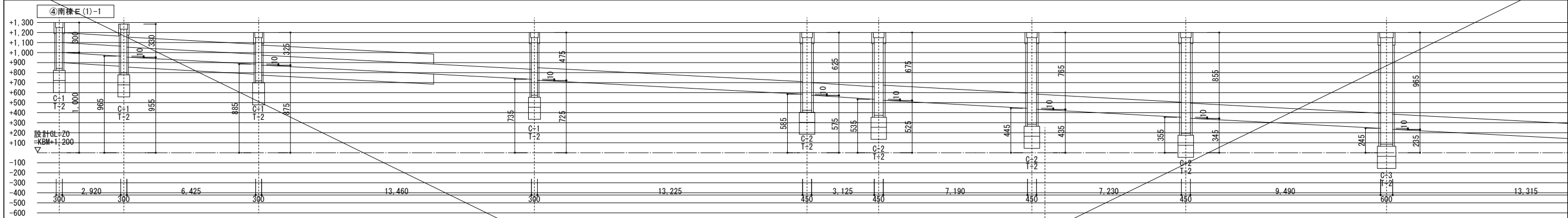
連棟寸法表 (mm)			
スパン数	L1 (柱間長さ)	L2 (屋根長さ)	L3 (基礎長さ)
1	2,750	3,048	3,250
2	5,500	5,798	6,000
3	8,250	8,548	8,750
4	11,000	11,298	11,500
5	13,750	14,048	14,250
6	16,500	16,798	17,000
⑦	19,250	19,548	19,750
8	22,000	22,298	22,500
9	24,750	25,048	25,250
10	27,500	27,798	28,000
n	2,750 x n	(2,750 x n) + 298	(2,750 x n) + 500

一級建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一級建築士事務所登録 愛知県 L11627	上郷住宅建築工事 (第1工区)	図面番号 No. E X-09
一級建築士登録 307737号 安東 広品	自転車置場詳細図 (参考図) (4)	縮尺 A1: 1/30, 1/20, 1/10 A3: 1/60, 1/40, 1/20
校 図	製 図	設計 H28年3月 愛知県建設部建築局公営住宅課

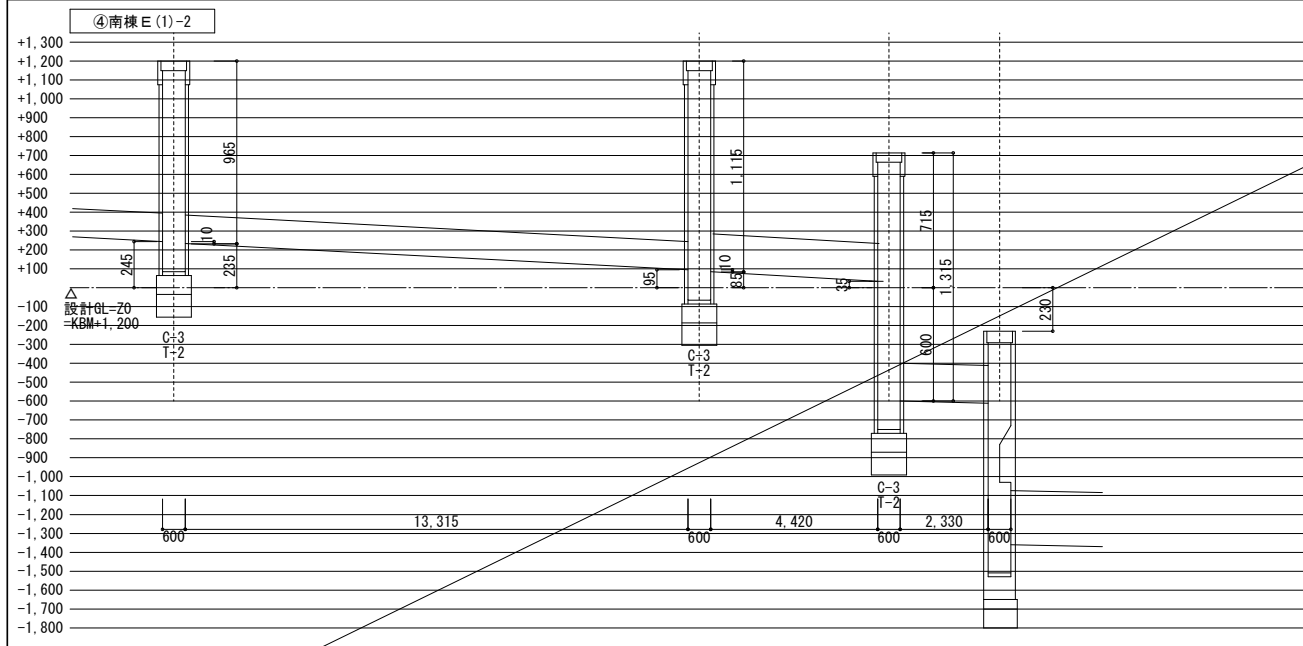


雨水排水設備 樹勾配 (1)

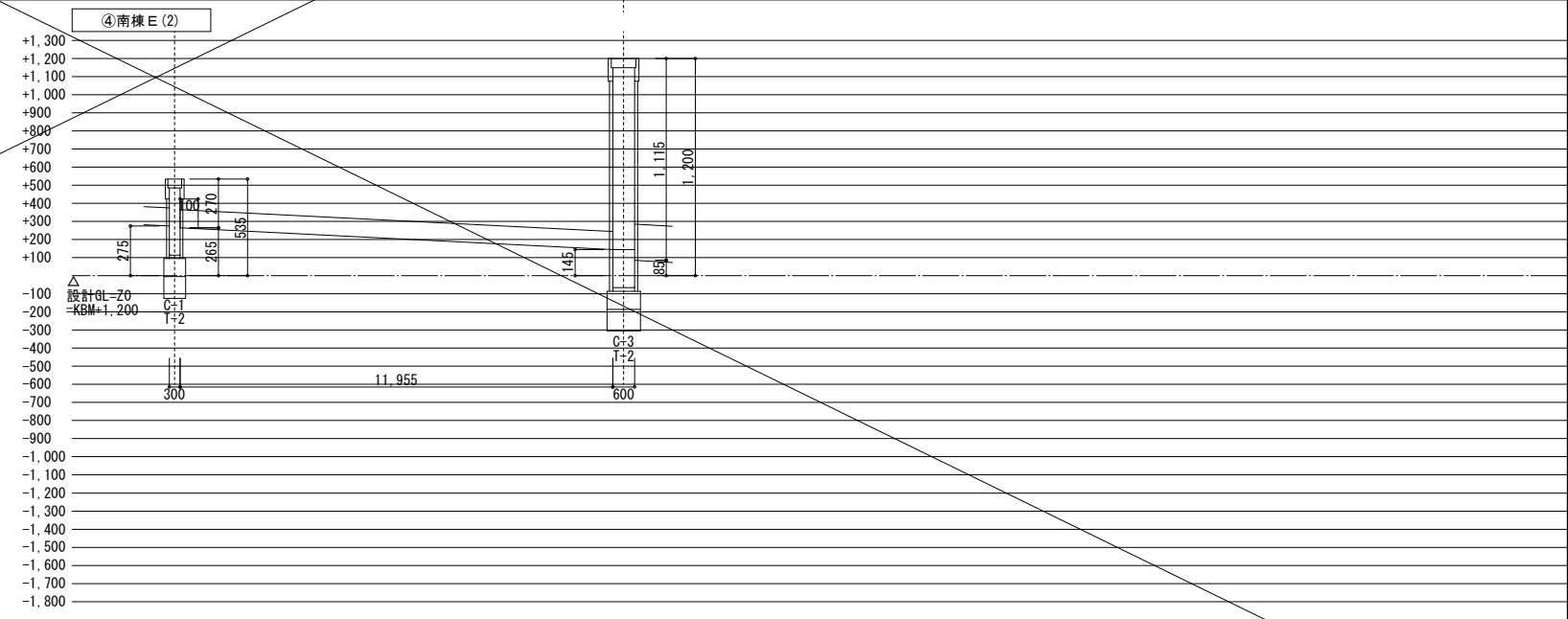
(Y方向) S=1/20, (X方向) S=1/100



樹番号	30	31	32	33	34	35	36	37	38
管口径 (φ)	VP100	VP100	VP100	VP125	VP125	VP150	VP150	VP150	VP150
計画地盤高 (mm)	+1,300	+1,285	+1,200	+1,200	+1,200	+1,200	+1,200	+1,200	+1,200
樹管底 (mm)	+1,000	+965	+875	+725	+575	+525	+435	+345	+235
区間距離 (m)	2.92	6.40	13.40	13.20	3.10	7.10	7.20	9.49	13.30
勾配	1/83	1/92	1/96	1/95	1/78	1/89	1/90	1/95	1/95

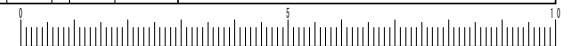


樹番号	38	40	41	既設樹
管口径 (φ)	VP150	VP200	VP200	
計画地盤高 (mm)	+1,200	+1,200	+715	-230
樹管底 (mm)	+235	+85	-600	-780
区間距離 (m)	13.30	4.40	2.30	
勾配	1/95	1/88	1/75	



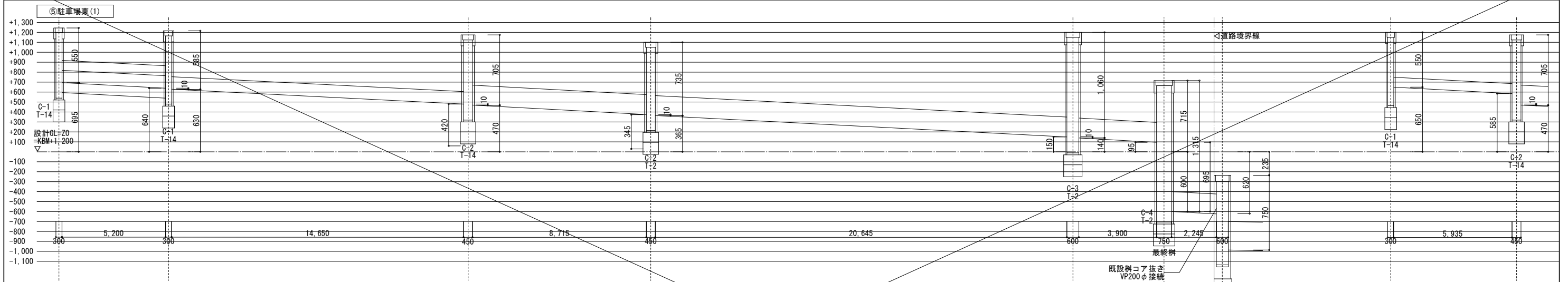
樹番号	39	40
管口径 (φ)	VP100	VP100
計画地盤高 (mm)	+535	+1,200
樹管底 (mm)	+265	+85
区間距離 (m)	11.96	
勾配	1/100	

一級建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一級建築士事務所登録 愛知県 L11627	上郷住宅建築工事 (第1工区)	図面番号 No. E-X-10
一級建築士登録 307737号 安東 広品	雨水排水設備 樹勾配(1)	縮尺 A1: 1/100, 1/20 A3: 1/200, 1/40
検 図	設 計 H28年3月	愛知県建設部建築局公営住宅課

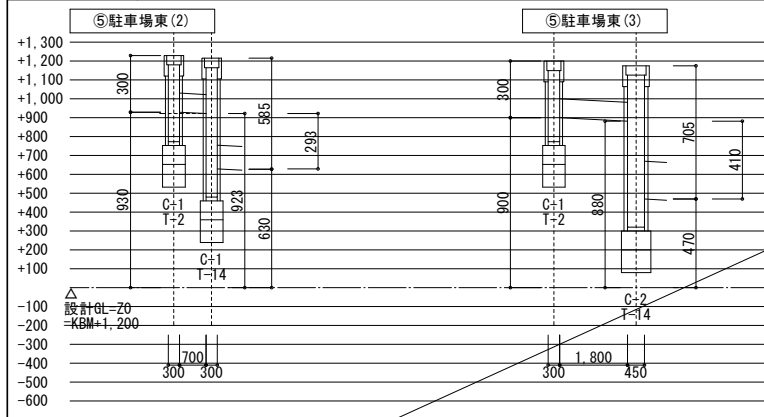


雨水排水設備 樹勾配 (2)

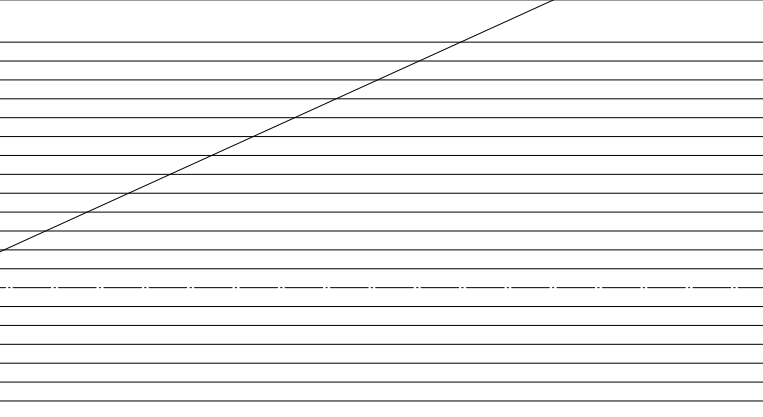
(Y方向) S=1/20、(X方向) S=1/100



樹番号	42	44	46	48	49	50	47	46
管口径(φ)	VP125	VP125	VP200	VP200	VP200	VP200	VP100	VP100
計画地盤高(mm)	+1,245	+1,215	+1,175	+1,100	+1,200	+1,200	+1,200	+1,175
樹管底(mm)	+695	+630	+470	+365	+140	-555	-	+470
区間距離(m)	5.20	14.65	8.72	20.65	3.90	2.25	5.935	5.34
勾配	1/95	1/98	1/92	1/96	1/82	1/75	1/91	1/91

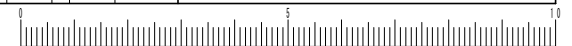


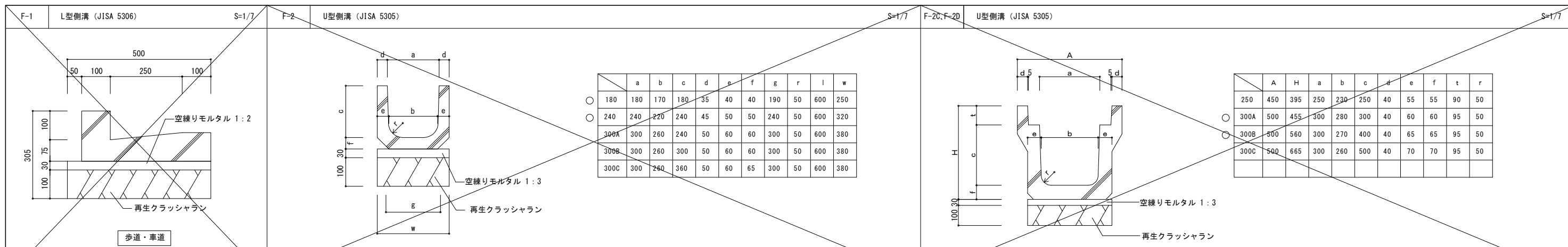
樹番号	43	44
管口径(φ)	VP100	VP100
計画地盤高(mm)	+1,230	+1,215
樹管底(mm)	+930	+630
区間距離(m)	0.70	1.80
勾配	1/100	1/100



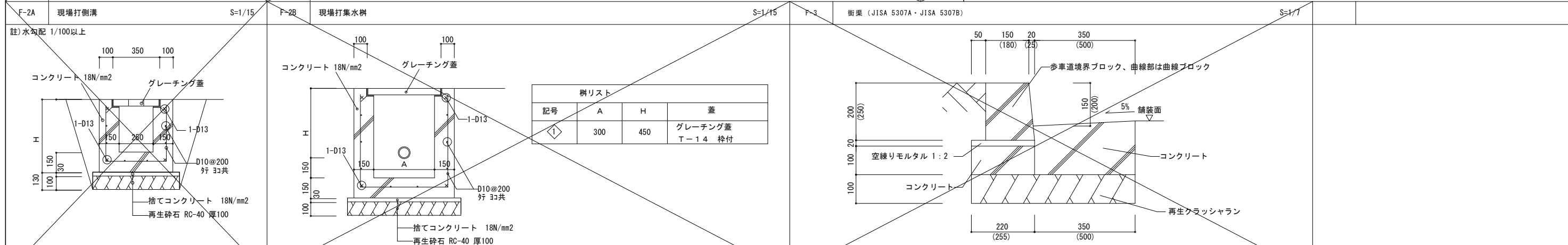
樹番号	45	46
管口径(φ)	VP100	VP100
計画地盤高(mm)	+1,200	+1,175
樹管底(mm)	+900	+470
区間距離(m)	1.80	1.80
勾配	1/100	1/100

一級建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一級建築士事務所登録 愛知県 L11627	上郷住宅建築工事 (第1工区)	図面番号 No. E-X-11
一級建築士登録 307737号 安東 広品	雨水排水設備 樹勾配(2)	縮尺 A1: 1/100, 1/20 A3: 1/200, 1/40
検 図	設計 H28年3月	愛知県建設部建築局公営住宅課

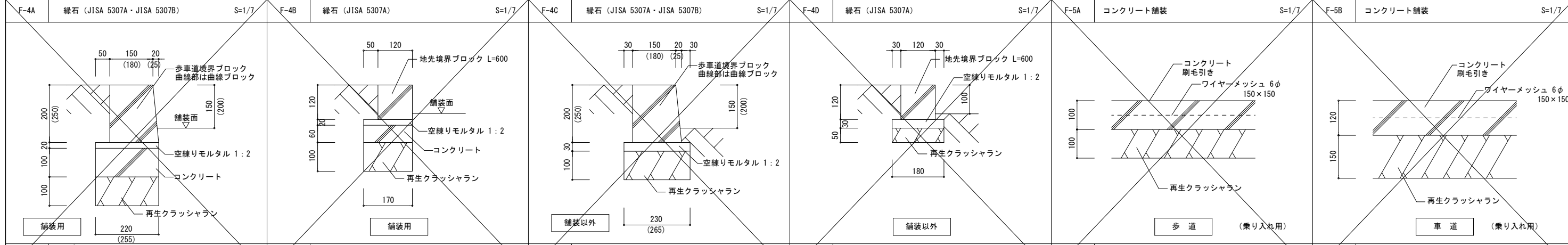




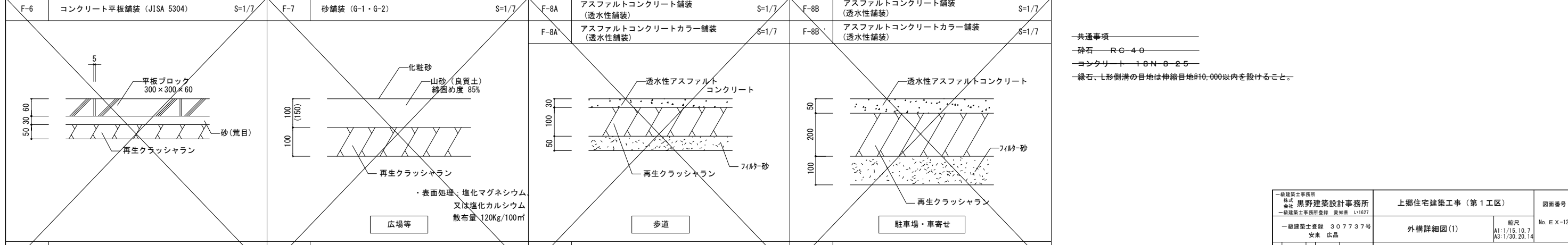
備考
 ・市道等については市の標準にあわせる。
 ・目地モルタルは目地厚10mmとする。



備考
 ・目地モルタルは目地厚10mmとする。
 ・ブロックA JISA 5307A
 ・ブロックB () 寸法 JISA 5307B
 ・目地モルタルは目地厚10mmとする。

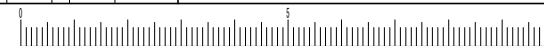


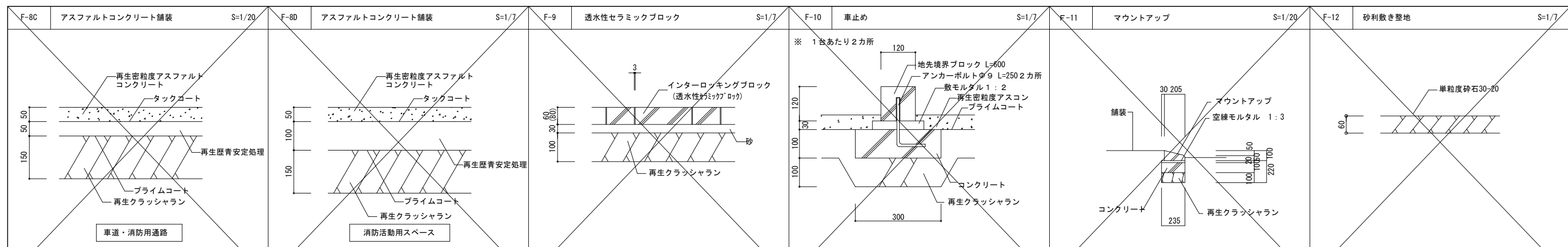
備考
 ・目地モルタルは目地厚10mmとする。



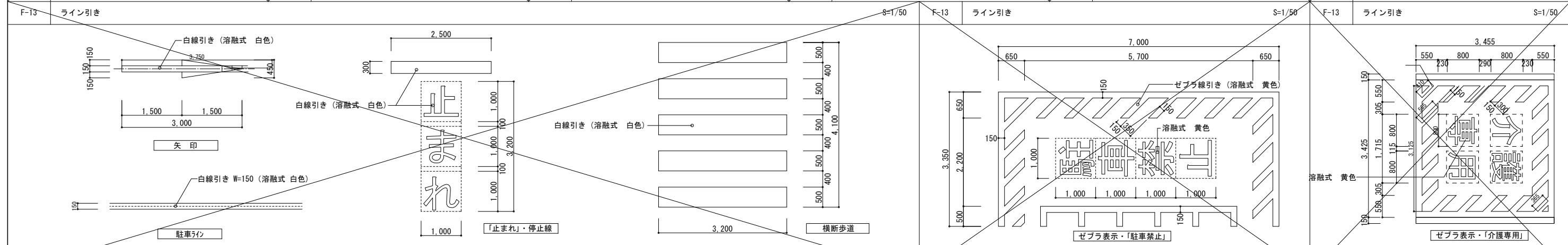
備考
 ・G-1
 ・()内は、G-2とする。

一級建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一級建築士事務所登録 愛知県 L11627	上郷住宅建築工事 (第1工区) 外構詳細図(1)	図面番号 No. E-X-12
一級建築士登録 307737号 安東 広品	縮尺 A1: 1/15, 10.7 A3: 1/30, 20.14	
校図 製図 設計 H28年3月	愛知県建設部建築局公営住宅課	

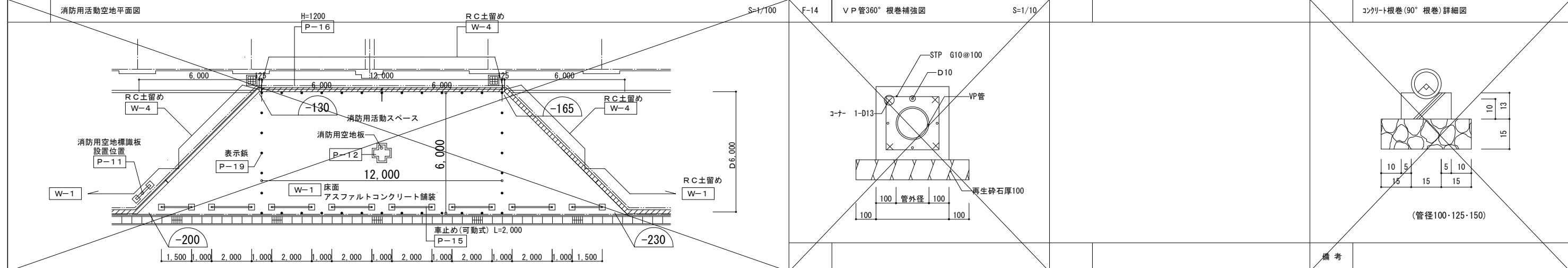




備考



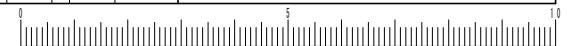
備考

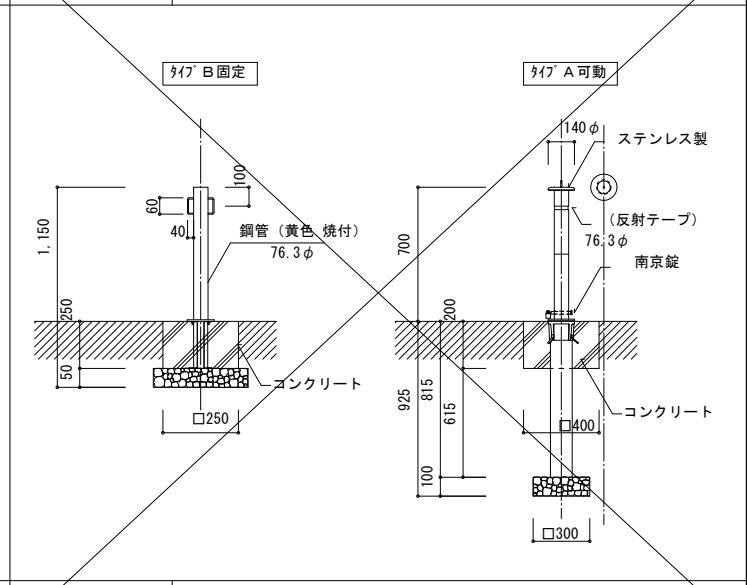
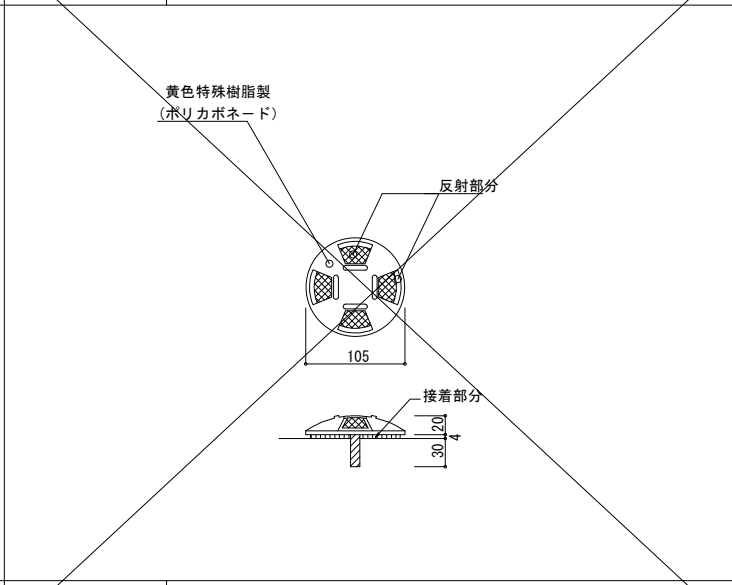
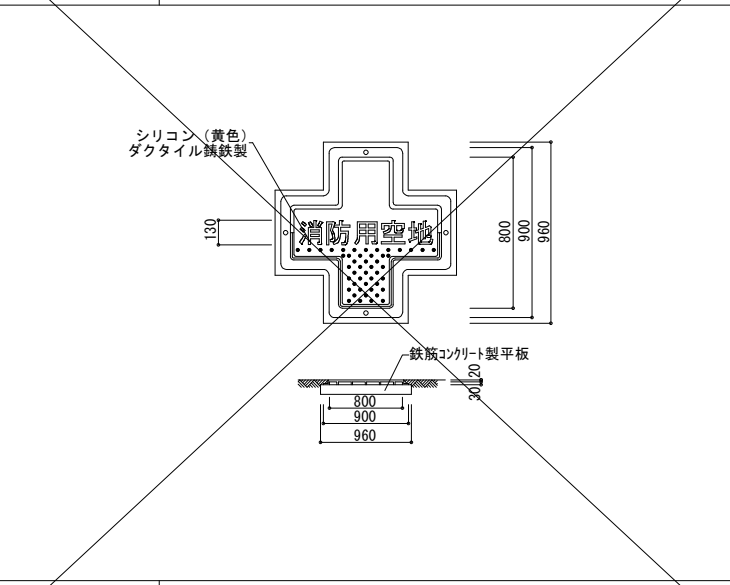
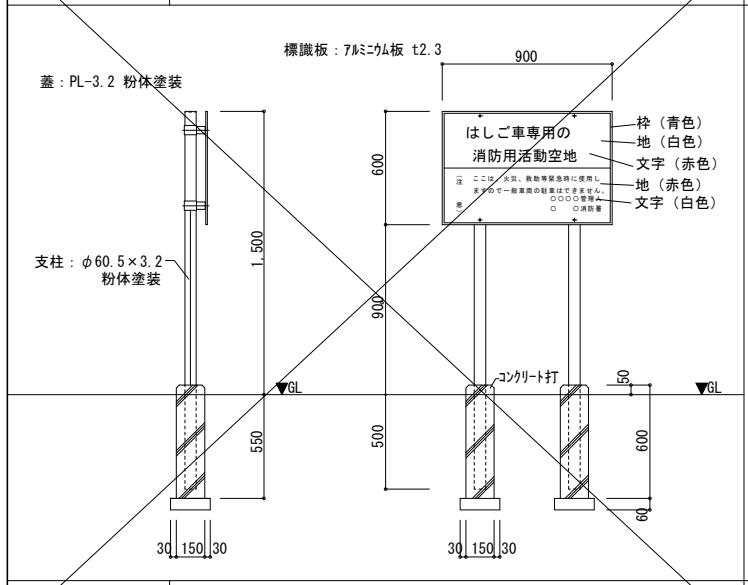


備考

- 共通事項
- 砕石 RC-40
 - コンクリート 18N-B-25
 - 緑石、L形側溝の目地は伸縮目地@10,000以内を設けること。

一級建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一級建築士事務所登録 愛知県 L11627	上郷住宅建築工事 (第1工区)	図面番号 No. E-X-13
一級建築士登録 307737号 安東 広品	外構詳細図(2)	縮尺 A1:1/100, 50, 20, 7 A3:1/200, 100, 40, 14
概図 製図 設計 H28年3月	愛知県建設部建築局公営住宅課	



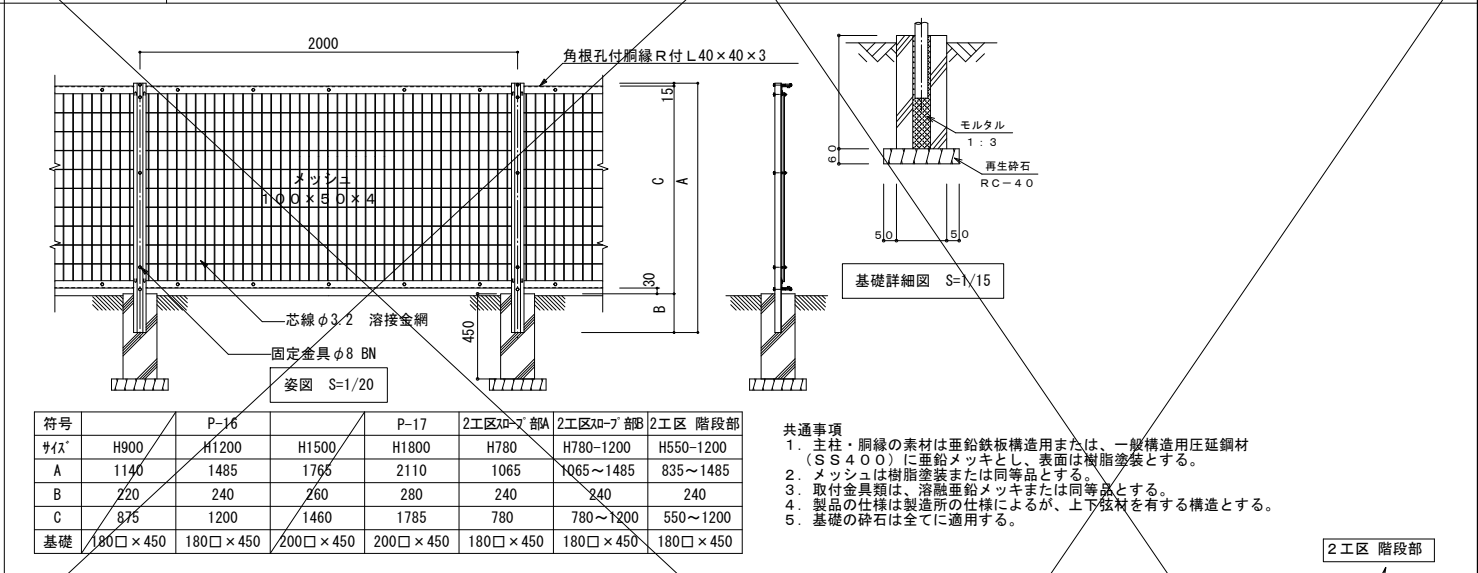
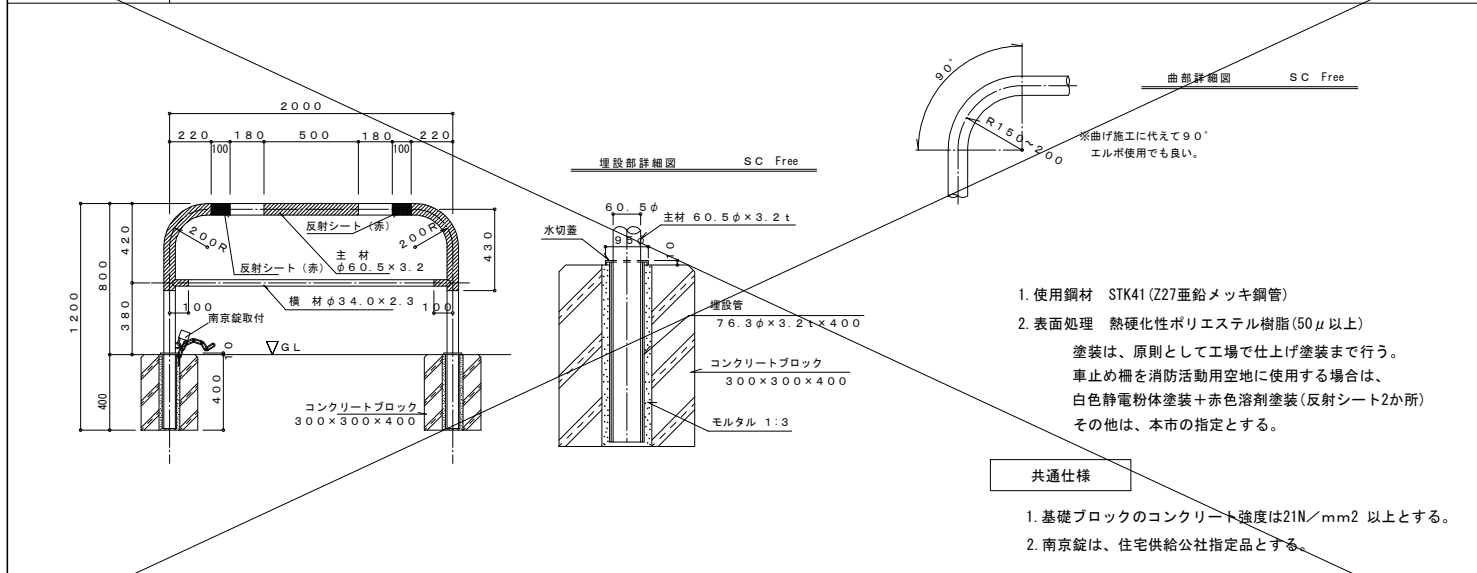


備考

備考

備考

備考

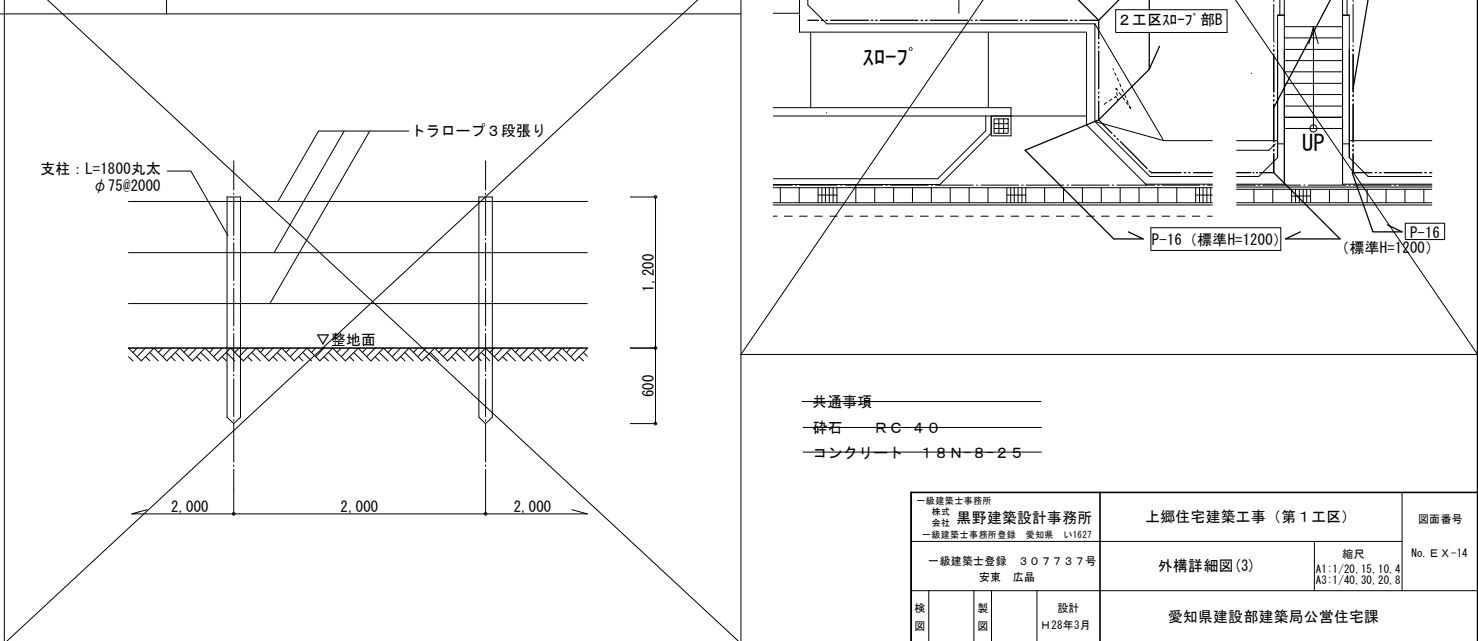
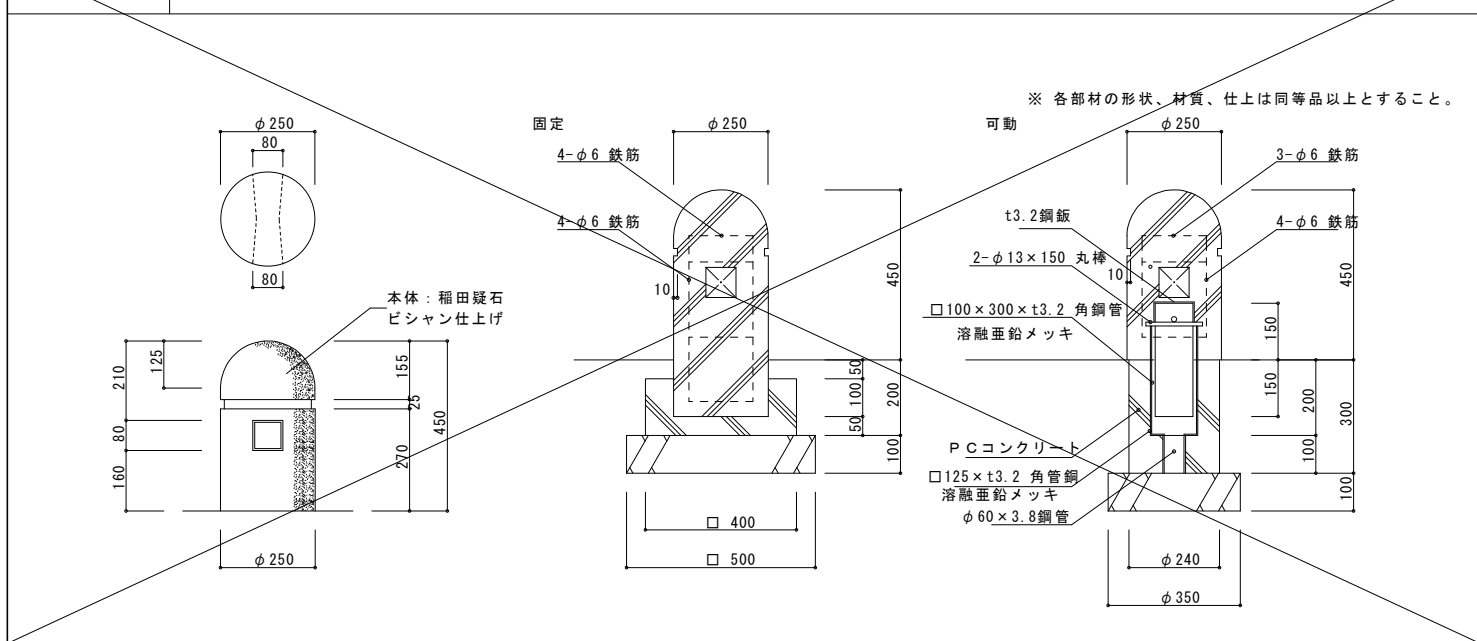


備考

備考

備考

備考

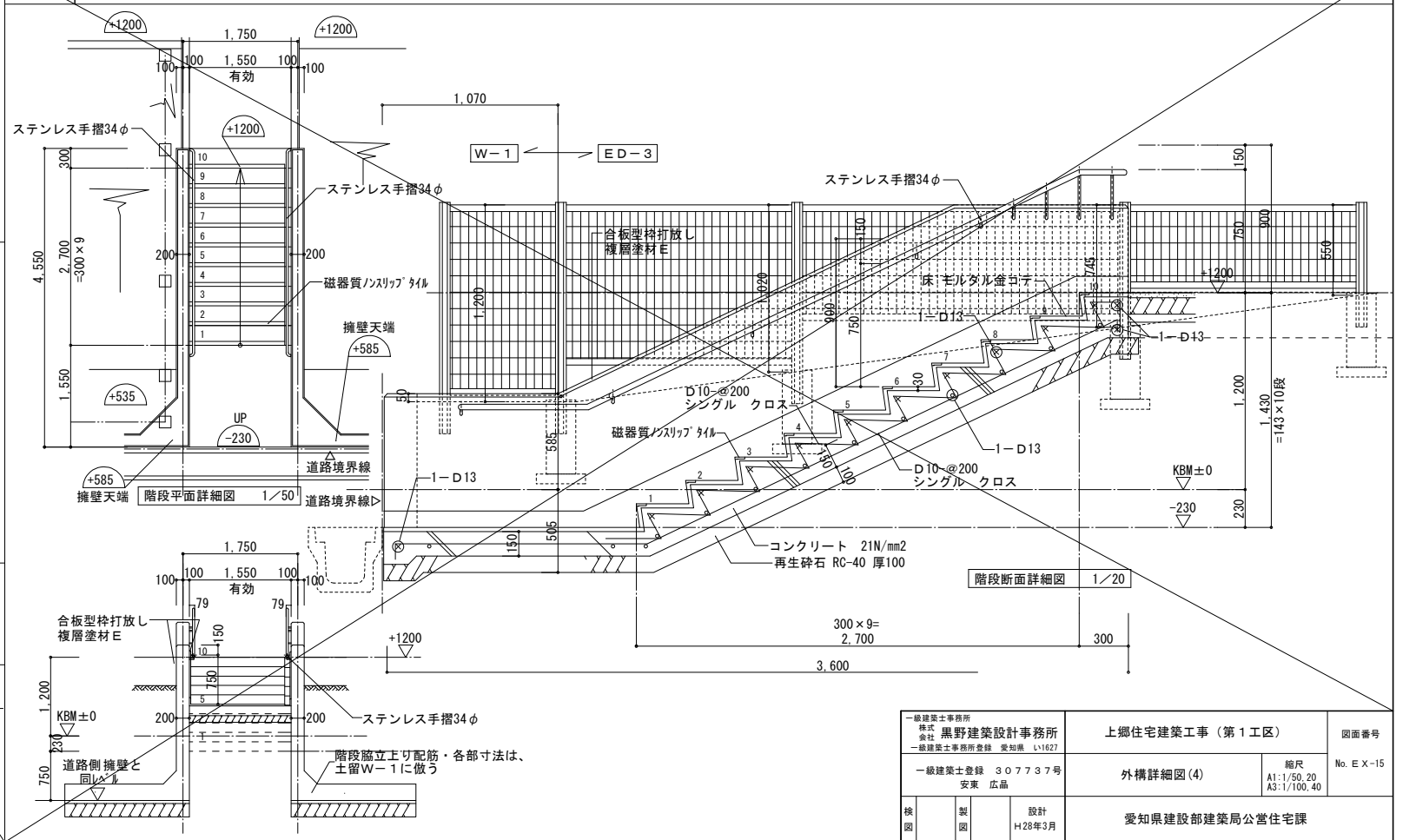
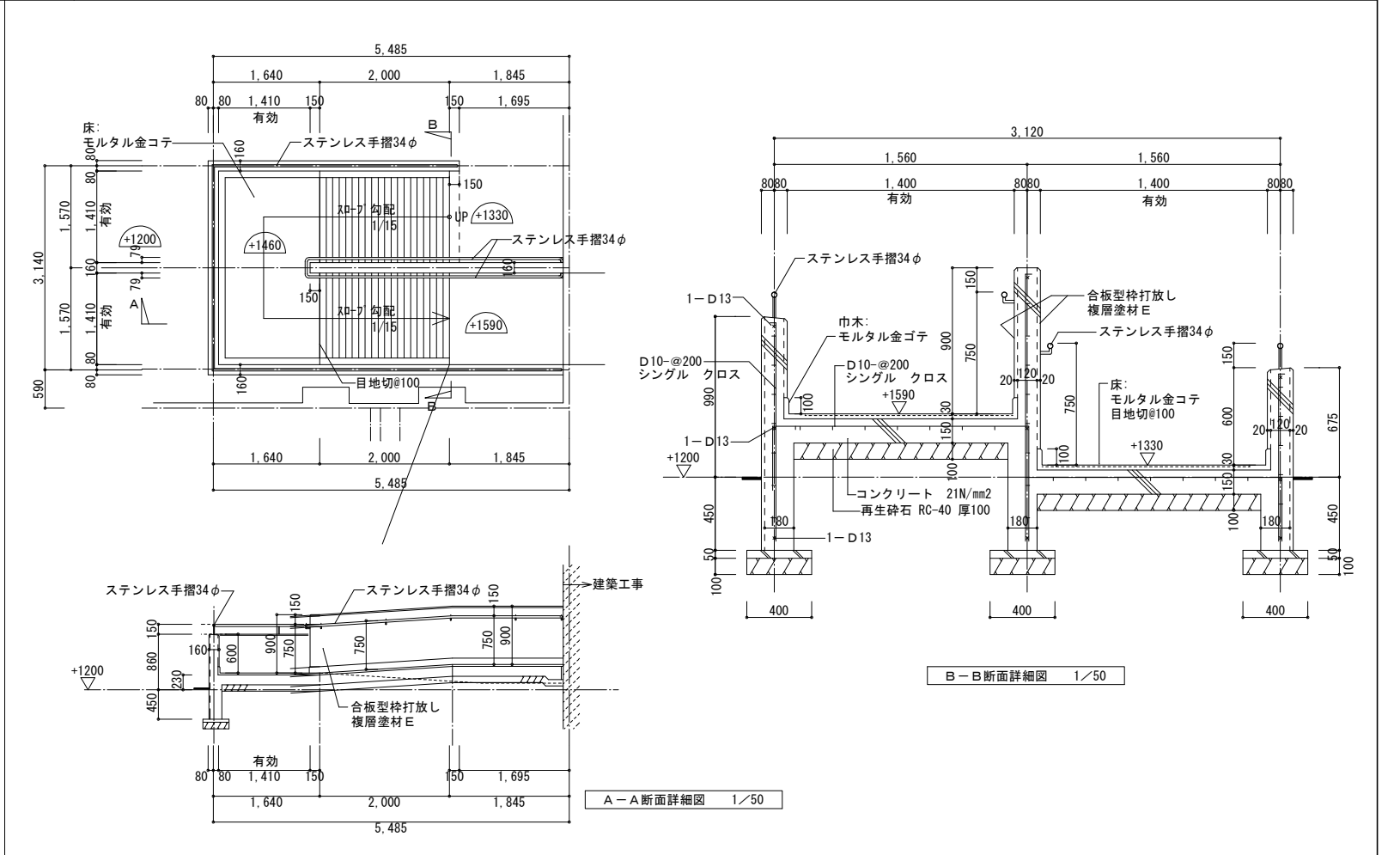
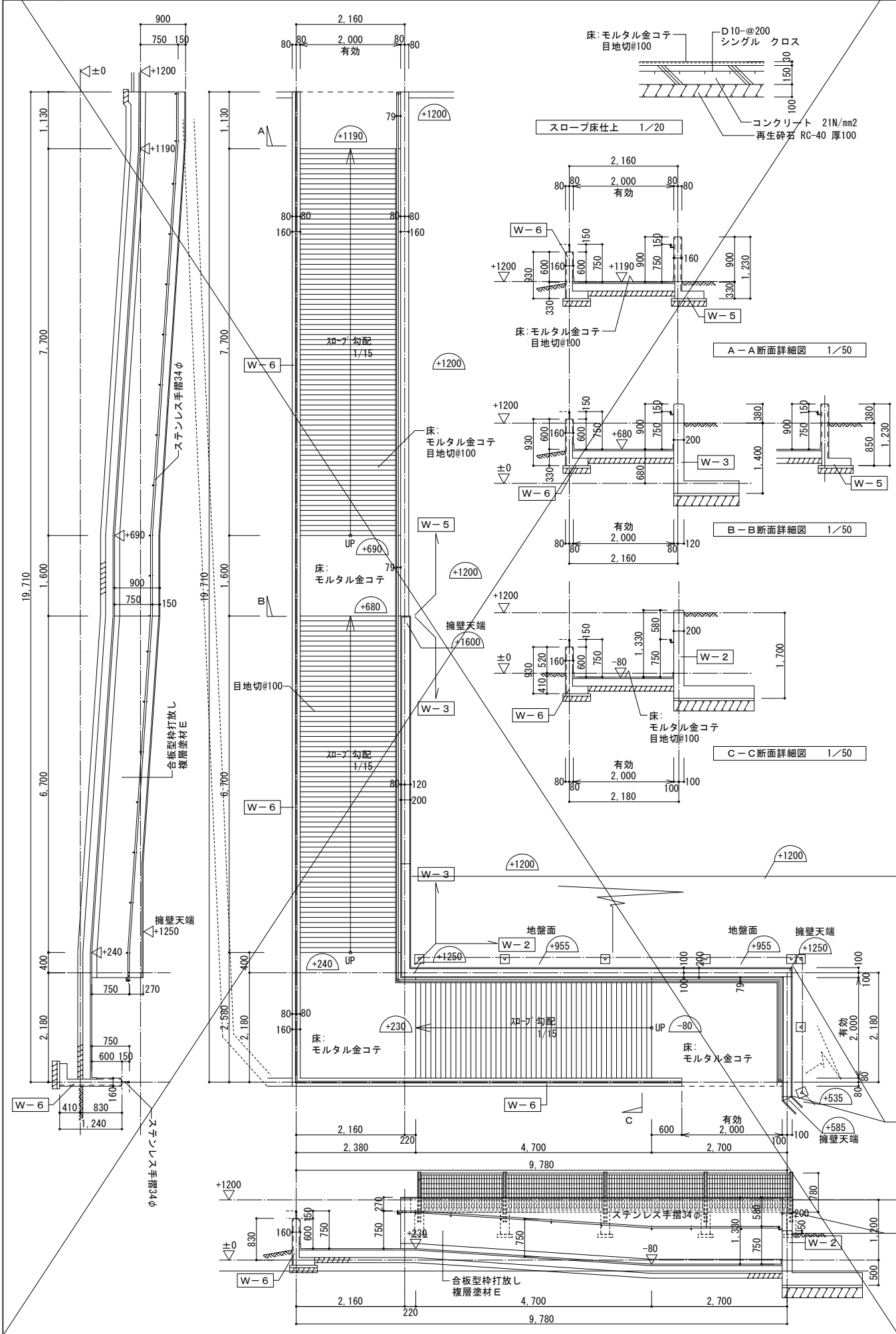


備考

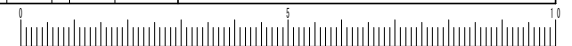
備考

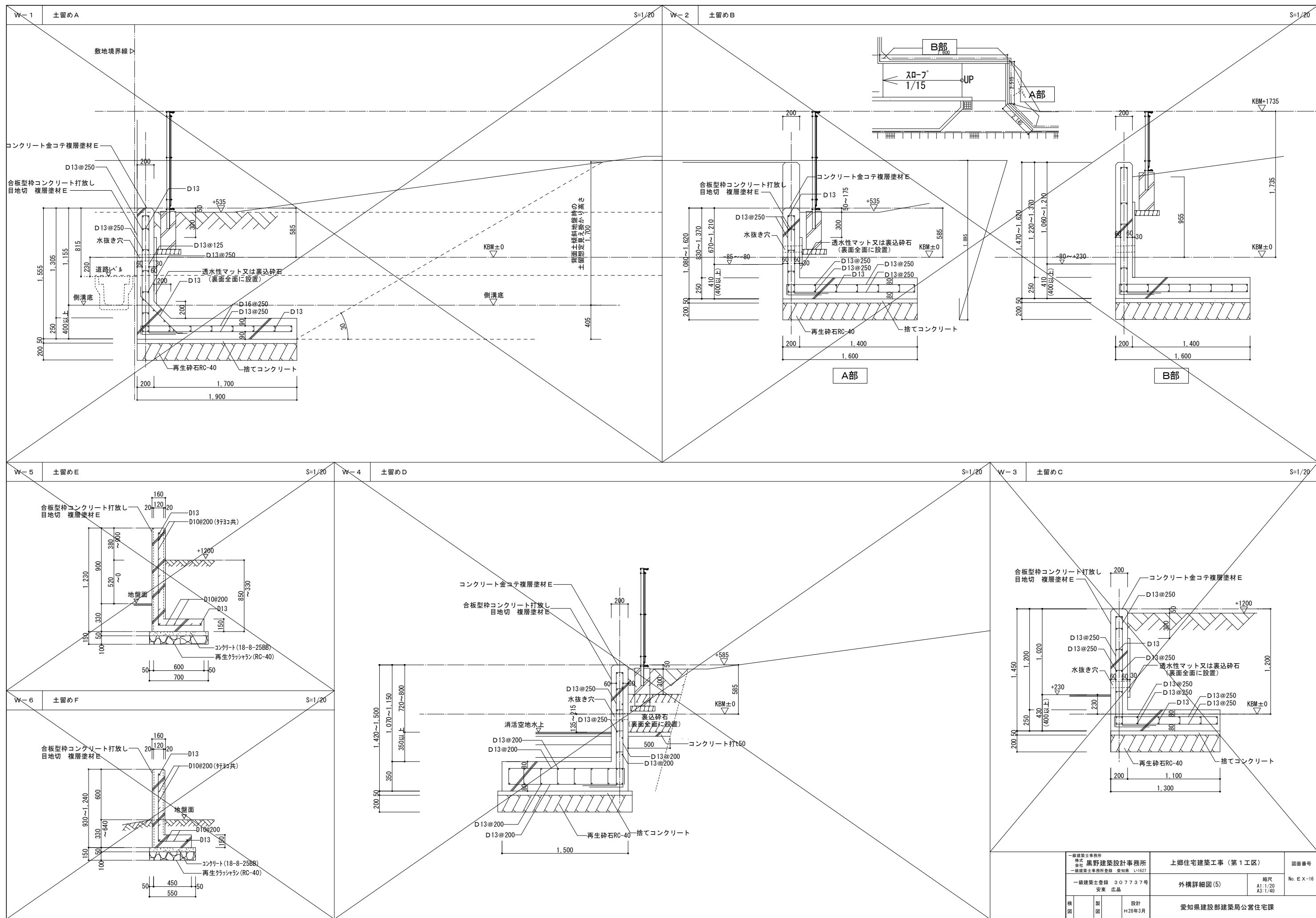
備考

備考



一級建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一級建築士事務所登録 愛知県 LV1627		上郷住宅建築工事 (第1工区)		図面番号 No. E-X-15
一級建築士登録 307737号 安東 広品		外構詳細図(4)		縮尺 A1:1/50, 20 A3:1/100, 40
概 略 図	設 計	愛知県建設部建築局公営住宅課 設計 H28年3月		





一般建築士事務所 株式会社 黒野建築設計事務所 一級建築士事務所登録 愛知県 L11627		上郷住宅建築工事 (第1工区)		図面番号 No. E-X-16
一級建築士登録 307737号 安東 広品		外構詳細図(5)		縮尺 A1: 1/20 A3: 1/40
概図 装 図	設計 H28年3月		愛知県建設部建築局公営住宅課	

